PUB. DIJ-166

Canon

DIGITAL VIDEO CAMERA

FV M100

使用説明書

はじめに

基本編

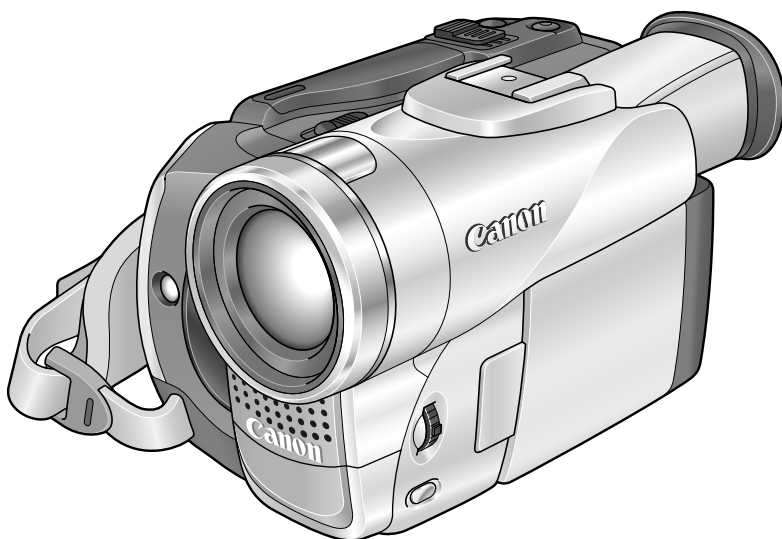
応用編

編集する

カードを使う

印刷する

画像転送する

その他

以下の説明書もあわせてご覧ください。

・Digital Video Software 使用説明書

・DV Network Software 使用説明書

もくじ

はじめに

基本編（自動で撮る／テレビで見る）

応用編（効果的に使う）

編集する

カードを使う

印刷する

画像転送する

その他（ご注意など）

本書の使いかた

このたびは、キヤノンFV M100をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用の前にこの「使用説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、大切に保管してください。

本書の構成は、次のとおりです。

本書の記載について

：操作するうえで、守っていただきたいことです。

：基本操作に加えて、知っておいていただきたいことです。

（📖 ○○）：（　）内の数字は参照ページです。

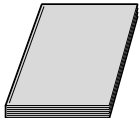
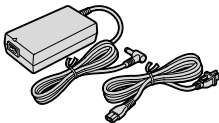
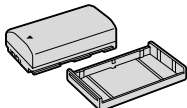
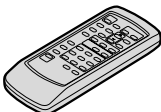
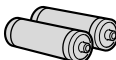
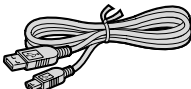
：表示の点滅を示しています。

動作モードです。

操作するボタンやスイッチです。

画面の表示です。

・文中の「画面」は、液晶画面またはファインダーの画面を表しています。
・文中の「カード」は、SDメモリーカードまたはマルチメディアカードを表しています。

動作モードについて

		電源スイッチの位置	テープ/カード切換スイッチの位置
カメラモード	カメラモード	カメラ	
再生（VTR）モード	再生(VTR)モード	再生（VTR）	
カードカメラモード	カードカメラモード	カメラ	
カード再生モード	カード再生モード	再生（VTR）	

動作モードによっては、使用できない機能があります。本書では、次のように表示しています。

カメラモード：使用できます。　カメラモード：使用できません。

付属品をお確かめください

本機をお使いになる前に、付属品をお確かめください。

FV M100 使用説明書	Digital Video Software 使用説明書	DV Network Software 使用説明書	コンパクトパワーアダプター CA-570 電源コード
バッテリーパック NB-2LH	コイン型リチウム電池 CR1616	リモコン (ワイヤレスコントローラー) WL-D83	リモコン用 単3乾電池　2本
レンズキャップ/レンズキャップ用ひも	ワイドアタッチメント WA-34	ショルダーストラップ SS-900	ステレオビデオケーブル STV-250N
USBケーブル IFC-300PCU	SDメモリーカード SDC-8M (サンプル画像入り)	ソフトウェアCD-ROM DIGITAL VIDEO SOLUTION DISK Windows 用 / Macintosh 用	

必ずお読みください

ためし撮り
必ず事前にためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。

記録内容の補償はできません。
万一、ビデオカメラやテープ、カードなどの不具合により記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

著作権について
あなたがビデオで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

本書内の写真について
機能や画面内の映像を説明するのに、スチルカメラによる写真を使っています。実際に見えるものとは異なります。

長時間録画モードについて
長時間録画（LP）モードは、標準（SP）モードの1.5倍の録画ができる機能です。長時間録画モードでの録画／再生は、テープの特性や使用環境に影響されやすく、再生時、画面にモザイク状のノイズが発生したり、音声が途切れたりする場合があります。大切な撮影にはSPモードをお使いください。

- Canonは、キヤノン株式会社の登録商標です。
- “Mini DV”ロゴは商標です。
- “SD”ロゴは商標です。
- Macintosh, Mac OSは、米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
- Windows®は、米国Microsoft社の米国および他の国における登録商標です。
- DCFロゴマークは、（社)電子情報技術産業協会（JEITA）の「Design rule for Camera File system」の規格を表す団体商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報処理装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

本機をDV端子付きのパソコンと接続するときは、別売のDVケーブルCV-150F/CV-250Fをお使いください。USB端子付きのパソコンと接続するときは、付属のUSBケーブルIFC-300PCUをお使いください。

安全上のご注意

ご使用の前に必ず「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

絵表示について：

この使用説明書および製品への表示では、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告（火災・感電・破裂）	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などによって、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。必ずお守りください。
煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに、電源プラグをコンセントから抜くか、バッテリーパックをはずしてください。 そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。 煙が出なくなるのを確認してから、ご購入になった販売店またはキヤノンサービスセンターに修理を依頼してください。 お客様による修理は危険ですからおやめください。	 プラグをコンセントから抜く
本機器を落としたり、外装を破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜くか、バッテリーパックをはずしてください。 ご購入になった販売店またはキヤノンサービスセンターに修理を依頼してください。 そのまま使用した場合、火災、感電の原因となります。	 プラグをコンセントから抜く
本機器内部に水、飲料水、海水などの液体が入ったり、濡らしたりしないようにご注意ください。または異物が入った場合は、すぐに、電源プラグをコンセントから抜くか、バッテリーパックをはずしてください。 そのまま使用した場合、火災、感電の原因となります。ご購入になった販売店またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。 特にお子様のいるご家庭では、ご注意ください。	 プラグをコンセントから抜く
風呂場、シャワー室など湿度の高い所に置いたり、使用したりしないでください。 水などが入ると、火災、感電、やけどの原因となります。	 風呂場、シャワー室での使用禁止
バッテリーパック内部に水、飲料水、海水などの液体が入ったり、濡らしたりしないようにご注意ください。 そのまま使用した場合、火災、感電、やけどの原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺、湿度の高い場所などでの使用は、特にご注意ください。	 水濡れ禁止
雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れないでください。 感電の原因となります。	 接触禁止

⚠警告 火災 感電 破裂 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などによって、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。必ずお守りください。

本機器を海外旅行者用の電子式変圧器や航空機、船舶、DC／ACコンバーターなどの電源に接続しないでください。また、表示された電源電圧や周波数以外では使用しないでください。
火災、感電、けがの原因となります。

海外で使用する場合は、その国の電圧、コンセントの形状をお調べください。
火災、感電の原因となります。

海外で、変換プラグアダプターをご使用の場合、電源プラグの刃を、根元まで入れてください。
根元まで入れない場合、感電の原因となります。

電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントに溜まったほこりや汚れを、乾いた布で拭き取ってください。
ほこり、湿気、油煙の多いところで、電源プラグを長期間差したままにすると、その周辺に溜まったほこりが湿気を吸って絶縁不良となり、火災の原因になります。

電源コードを傷つけないでください。
・加工したり、傷つけたりしないでください。
・無理に曲げたり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。
・熱器具に近づけたり、加熱したりしないでください。
電源コードが傷ついたり（芯線の露出、断線等）して、火災、感電の原因となります。コードが傷ついた場合、ご購入になった販売店またはキヤノンサービスセンターにご依頼ください。

本機器の外装をはずさないでください。
内部に高電圧の部分がありますので、感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は、ご購入になった販売店またはキヤノンサービスセンターにご依頼ください。

本機器を分解、改造しないでください。
発熱、火災、感電、けがの原因となります。

強い衝撃や振動を与えたり、投げつけないでください。
破損により、火災、やけど、けがの原因となります。特に、液晶画面は、ガラス製のため、画面に強い衝撃を与えると、割れてけがの原因となります。

⚠警告 火災 感電 破裂　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などによって、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。必ずお守りください。

指定された充電器を使用してください。
DCプラグの形状が同じでも、電圧や極性が異なる場合があるので、それ以外のものを使用すると、発熱や、変形して、火災、感電の原因となります。

強制

バッテリーパックは、指定された機器にご使用ください。
それ以外のものに使用すると、バッテリーパックの液漏れ、発熱、破裂の原因となります。

強制

バッテリーパックを、金属製のネックレス、キーホルダー、ヘアピンなどと一緒に、携帯や保管をしないでください。
バッテリーパックなどの「＋」と「－」の端子がショートされ、高熱や液漏れにより、やけど、けがの原因となります。
持ち運びや保存のときは、必ず付属のショート防止用端子カバーを取り付けてください。

禁止

本機器の内部や端子部に金属類を入れたり、ショートさせないでください。
火災、感電、けがの原因となります。

禁止

バッテリーパック、乾電池、コイン型リチウム電池などを、電子レンジ、オーブンなどで加熱したり、火の中へ投げ入れたりしないでください。
バッテリーパックの破裂により、やけど、けがの原因となります。

禁止

バッテリーパックから液漏れした時、皮膚や衣服につけたり、目に入れたり、火気に近づけたりしないでください。
皮膚の障害、失明、発火の原因となります。

禁止

バッテリーパックを電源コンセントや自動車のシガーライターソケットなどに直接接続しないでください。
バッテリーパックの液漏れ、発熱、破裂により火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

コイン型リチウム電池をお子様の手の届かないところへ置いてください。
万一、飲み込んだ場合、電池の金属ケースが壊れて、電池の液で胃、腸が損傷する恐れがありますので、ただちに医師と相談してください。

強制

お子様が使用のときには、保護者が正しい使用方法を充分に教えてください。また、使用中にもご注意ください。
感電、けがの原因となります。

強制

⚠警告 火災 感電 破裂 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などによって、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。必ずお守りください。

乳幼児の手の届かないところで、使用、保管してください。
感電、けがの原因となります。

自動車などの運転中に、運転者は本機器を操作しないでください。
交通事故の原因となります。

撮影しているときは、周囲の状況にご注意ください。
けがや交通事故の原因となります。

本機器をぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

ビデオカセットの挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込まないでください。
そのまま使用した場合、火災、感電の原因となります。

ワイドアタッチメントで、太陽や強い光源を直接見ないでください。
失明の原因となります。

本機器を、ストーブなどの熱器具に近づけないでください。
外装が変形したり、コードの被覆が溶けて、火災、感電の原因となることがあります。

直射日光下や発熱体のそばなど、60℃以上の高温の場所で使用や放置しないでください。
バッテリーパックの液漏れ、発熱、破裂により、火災、やけど、けがの原因となることがあります。

コンパクトパワーアダプター、バッテリーパック、ビデオカメラなどを使用中に、温度の高くなる部分に長時間触れないでください。
長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容です。必ずお守りください。

テーブルクロス、じゅうたん、ふとん、クッションなどをかけたまま使用しないでください。
内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。

禁止

指定されたバッテリーパックを使用してください。
それ以外のものを使用すると、バッテリーパックの破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚す原因となることがあります。

強制

濡れた手で、電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

電源プラグをコンセントから抜くときは必ずプラグを持って抜いてください。
電源コードを引っ張ると、コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

強制

使用しないときは、安全のために、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

プラグをコンセントから抜く

テレビは前面が重いので、アンテナコードやＡＶコードなどを接続するとき、転倒防止の処置をとってください。
テレビが転倒し、けがの原因となることがあります。

強制

コード類は正しく配置してください。
電源コード、DCケーブル、AVケーブルなどに足を引っ掛けたりして、転倒したり、ものが落ちたりして、けがの原因となることがあります。

強制

バッテリーパック、ショルダーストラップ、グリップベルトなどを確実に取り付けてください。
緩んで脱落すると、けがの原因となることがあります。

強制

湿気、油煙、ほこりなどの多い場所に保管しないでください。
火災、感電の原因となることがあります。

禁止

⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容です。必ずお守りください。
お子様がビデオカセットの挿入口から、手を入れないようにご注意ください。 けがの原因となることがあります。	 指をはさまれないよう注意
飛行機内で使用する場合は、乗務員の指示に従ってください。 機器から出る電磁波により、飛行機の計器に影響を与える恐れがあります。	 強制
コイン型リチウム電池を金属のピンセットなどでつかまないでください。 発熱により、やけどの原因となることがあります。	 強制
ワイドアタッチメントを取り付けるときは、確実にねじ込んでください。 緩んで脱落して割れると、ガラスの破片でけがの原因となることがあります。	 強制

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

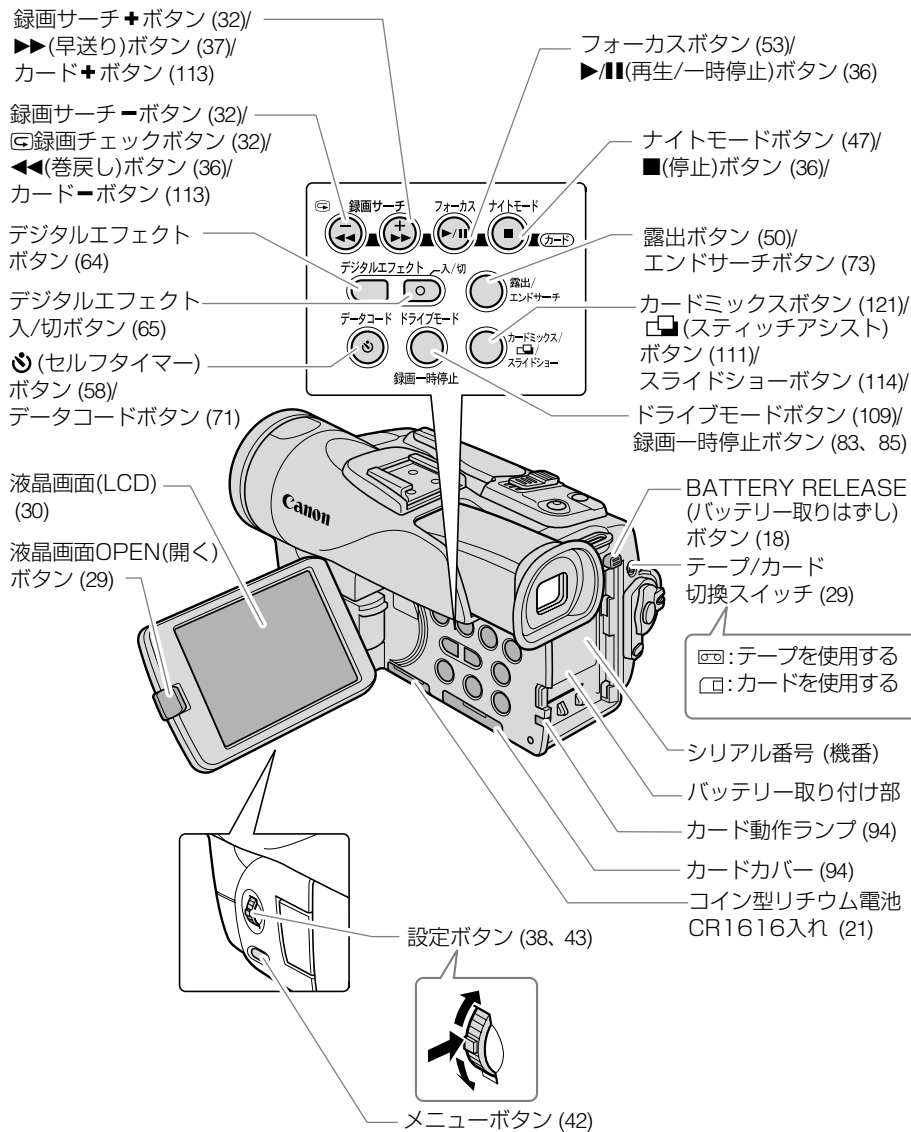
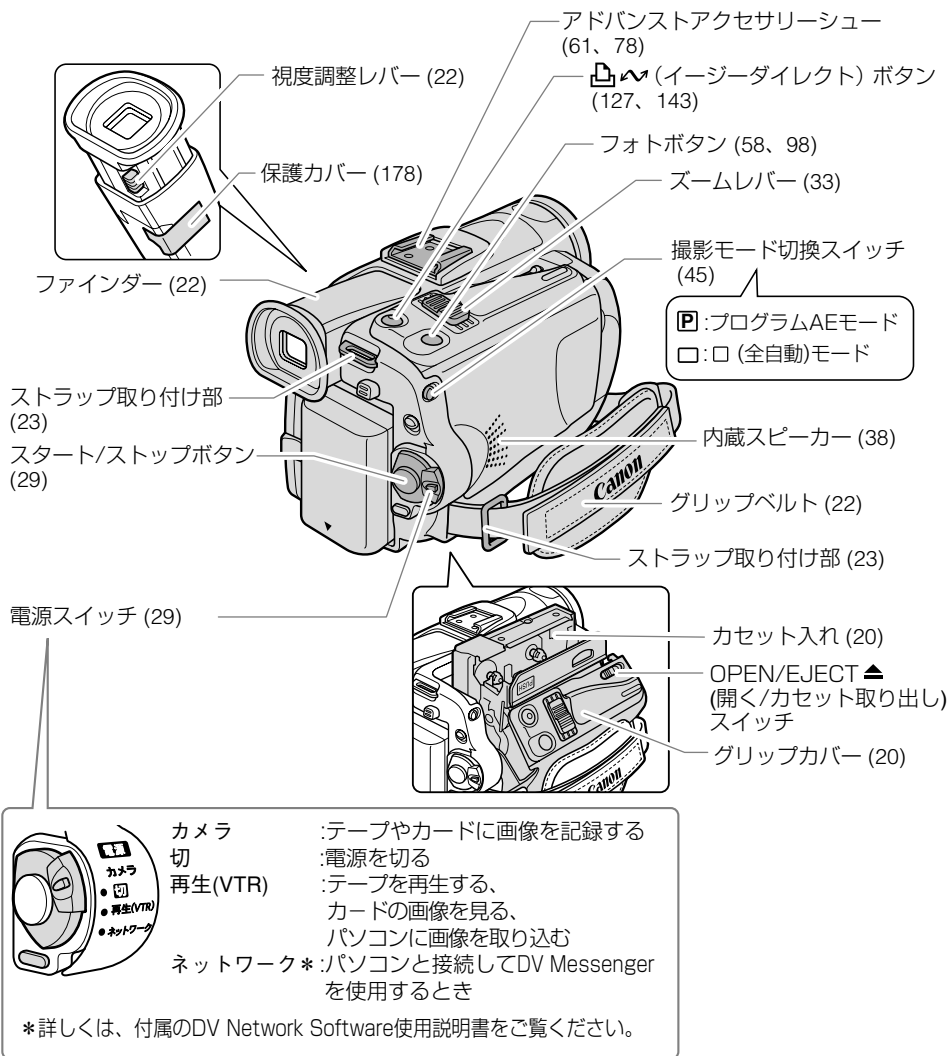
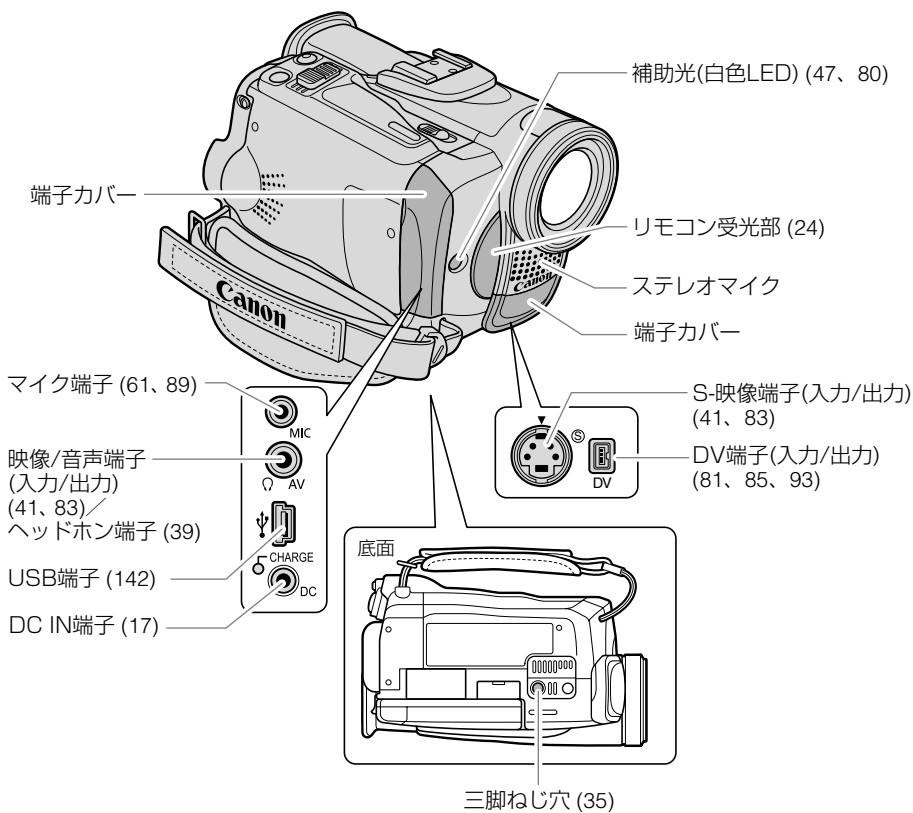
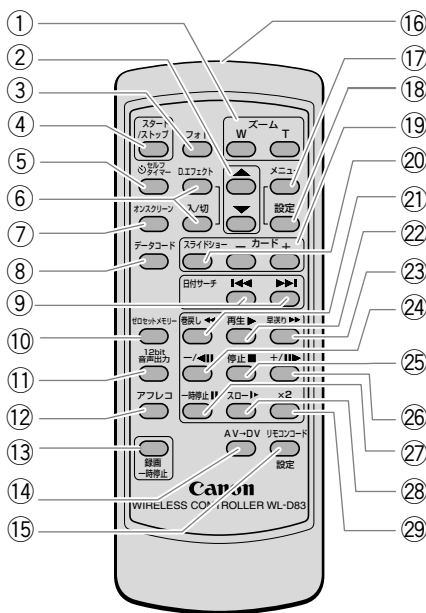
各部の名称

(　)内の数字は参照ページです。

本体

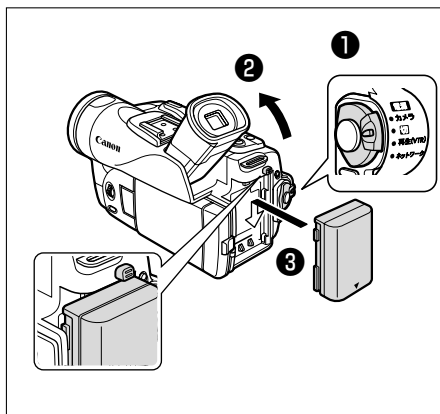
カメラ	:テープやカードに画像を記録する
切	:電源を切る
再生(VTR)	:テープを再生する、カードの画像を見る、パソコンに画像を取り込む
ネットワーク＊	:パソコンと接続してDV Messengerを使用するとき

＊詳しくは、付属のDV Network Software使用説明書をご覧ください。

補助光(白色LED) (47、80)
端子カバー
リモコン受光部 (24)
ステレオマイク
端子カバー
Canon
Canon
マイク端子 (61、89)
MIC
映像/音声端子
(入力/出力)
(41、83)／
ヘッドホン端子 (39)
AV
USB端子 (142)
CHARGE
DC
DC IN端子 (17)
S-映像端子(入力/出力)
(41、83)
DV端子(入力/出力)
(81、85、93)
DV
底面
三脚ねじ穴 (35)

リモコン WL-D83（📖24）

① ズームボタン (33)	⑯ 送信部 (24)
② ▲／▼ボタン (42)	⑰ メニューボタン (42)
③ フォトボタン (58、98)	⑱ 設定ボタン (38、43)
④ スタート/ストップボタン (29)	⑲ カード＋／カード－ボタン (113)
⑤ セルフタイマーボタン (58)	⑳ スライドショーボタン (114)
⑥ デジタルエフェクトボタン(64)、入/切ボタン(65)	㉑ 巻戻しボタン (36)
⑦ オンスクリーン (画面表示)ボタン (151)	㉒ 再生ボタン (36)
⑧ データコードボタン (71)	㉓ 早送りボタン (37)
⑨ 日付サーチボタン (75)	㉔ 逆方向コマ送り/逆方向再生ボタン (37)
⑩ ゼロセットメモリーボタン (74)	㉕ 停止ボタン (36)
⑪ 12bit音声出力ボタン (92)	㉖ 正方向コマ送り/正方向再生ボタン (37)
⑫ アフレコボタン (90)	㉗ 一時停止ボタン (37)
⑬ 録画一時停止ボタン (83、85)	㉘ スローボタン (37)
⑭ アナログ-デジタル変換ボタン (87)	㉙ ×2ボタン (37)
⑮ リモコンコード設定ボタン (77)	

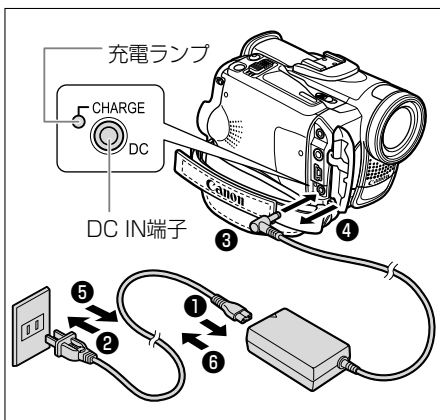
電源を準備する

バッテリーパックは、充電してから使います。

バッテリーパックを取り付ける

❶ 電源スイッチを「切」にする

❷ ファインダーを上げる

❸ バッテリーパックを押し付けながら、カチッとロックされるまで下にずらす

バッテリーパックを使うときは、ショート防止用端子カバーを取りはずします（🕮 172）。

バッテリーパックを充電する

❶ コンパクトパワーアダプターに電源コードを差し込む

❷ 電源プラグをコンセントに差し込む

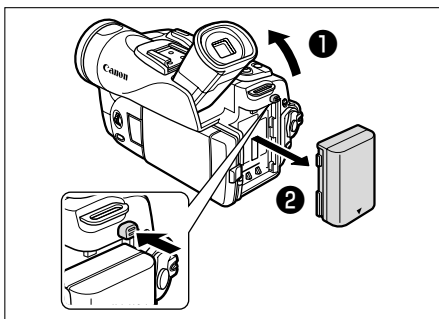
❸ DC IN端子にコンパクトパワーアダプターを差し込む

充電ランプが点滅し、充電が始まります。
充電が終わると、充電ランプが点灯します。

❹ コンパクトパワーアダプターを本機から抜く

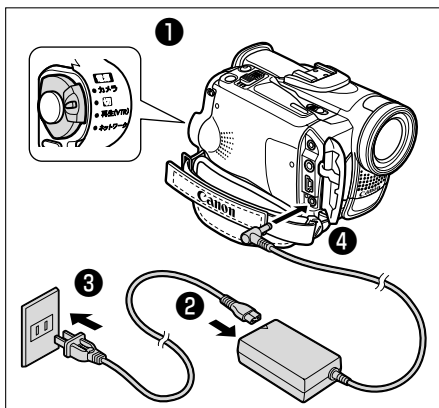
❺ 電源プラグをコンセントから抜く

❻ 電源コードをコンパクトパワーアダプターから抜く

バッテリーパックを取りはずす

❶ ファインダーを上げる

❷ BATTERY RELEASEボタンを押しながら、バッテリーパックを上にずらす

家庭用コンセントにつないで使う

本機を家庭用コンセントにつなぐと、バッテリーパックの残量を気にせずに使用できます。
コンパクトパワーアダプターを使うと液晶画面のバックライトが少し明るくなります。

❶ 電源スイッチを「切」にする

❷ コンパクトパワーアダプターに電源コードを差し込む

❸ 電源プラグをコンセントに差し込む

❹ DC IN端子にコンパクトパワーアダプターを差し込む

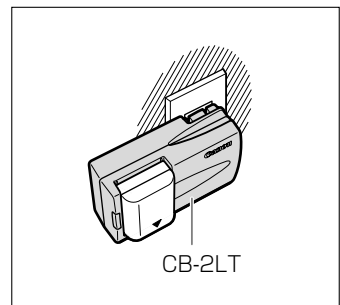
- ❍ コンパクトパワーアダプターを抜き差しするときは、必ずビデオカメラの電源を切ってください。
- ❍ テレビの近くでコンパクトパワーアダプターを使用すると、テレビ放送の画面にノイズが出ることがあります。コンパクトパワーアダプターをテレビやアンテナケーブルから離してください。
- ❍ DC IN端子には、指定された製品以外を絶対に接続しないでください。また、コンパクトパワーアダプターを指定された製品以外に接続しないでください。
- ❍ コンパクトパワーアダプターを使用中、音がすることがありますが、故障ではありません。
- ❍ バッテリーパックの充電中は、コンパクトパワーアダプターの電源コードを、コンセントから抜き差ししないでください。充電が停止したり、充電ランプが点灯しても正しく充電されていないことがあります。このような場合は、バッテリーパックを一度取りはずしてから取り付けてください。また、充電中に停電が起きた場合も、同様の手順で充電し直してください。

❍ コンパクトパワーアダプター、バッテリーパックに異常があるときは、充電ランプが早い連続した点滅（0.5秒間隔で1回）になり、充電を中止します。
❍ ランプの点滅／点灯が充電した目安の量（残量）を示します。
0〜50% ：約1秒間隔で1回ずつ点滅
50%以上：約1秒間隔で2回ずつ点滅
100% ：点灯
❍ バッテリーパックの充電時間とフル充電したバッテリーパックの使用時間は、次のとおりです。

バッテリーパック		NB-2LH	NB-2L（別売）	BP-2L12（別売）	BP-2L14（別売）
本機での充電時間		約115分	約110分	約180分	約210分
連続撮影時間	ファインダー使用時	約115分	約 95分	約200分	約240分
	液晶画面使用時	約 90分	約 75分	約150分	約190分
実撮影時間*	ファインダー使用時	約 65分	約 50分	約110分	約135分
	液晶画面使用時	約 50分	約 40分	約 85分	約105分
再生時間		約105分	約 85分	約175分	約220分

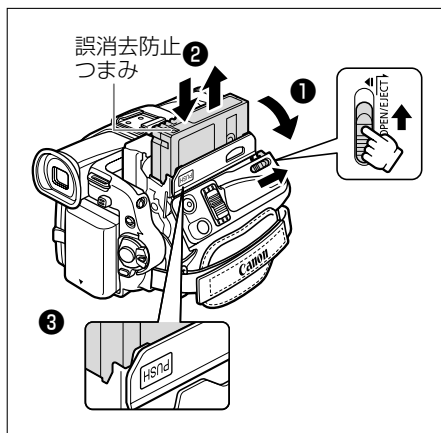
* 実撮影時間は、撮影、撮影一時停止、電源の入/切、ズームなどの操作をくり返したときの撮影時間の目安です。実際には、これよりも短くなることがあります。

❍ 10℃〜30℃の範囲で充電することをおすすめします。0℃未満、40℃以上では、充電ランプが早い連続した点滅になり、充電を中止します。
❍ 充電時間は周囲の温度や充電状態によって異なります。
❍ 低温下で使用したときには、使用時間は短くなります。
❍ 別売のバッテリーチャージャーCB-2LTを使って充電できます。詳しくは、バッテリーチャージャーの使用説明書をご覧ください。
バッテリーチャージャーを使用したときのバッテリーパックの充電時間は、次のとおりです。

バッテリーパック	充電時間
NB-2LH	約90分
NB-2L（別売）	約80分
BP-2L12（別売）	約150分
BP-2L14（別売）	約170分

❍ **バッテリーパックは、予定撮影時間の2〜3倍分をご用意ください。**
ビデオカメラの消費電力は、ズームなどの操作によって変化します。そのためバッテリーパックの実際の使用時間は、表記の時間より短くなります。撮影時には、予定撮影時間の2〜3倍のバッテリーパックを用意することをおすすめします。

基本編 準備

カセットを入れる／出す

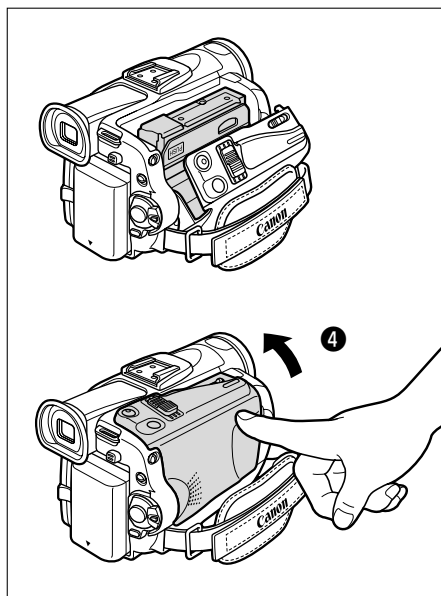
ビデオカセットは、MiniDVマークの付いたものをお使いください。

❶ **OPEN/EJECT▲スイッチを押しながら、グリップカバーを止まるまで開く**

カセット入れが自動的に開きます。

❷ **カセットを入れる／出す**

- カセットの透明な窓をグリップ側に向け、誤消去防止つまみを上にして入れます。
- カセットを出すときは、カセット入れからまっすぐに引き抜きます。

❸ **PUSH マークを押して、カセット入れを閉める**

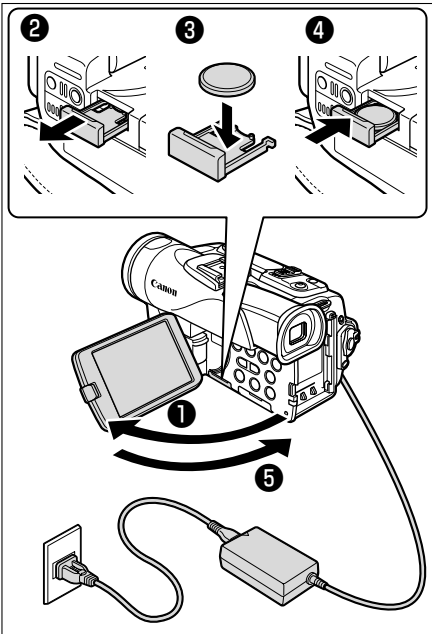
カセット入れが自動的に収納されます。

❹ **カセット入れが完全に収納されてから、グリップカバーを閉める**

❍ カセット入れが自動的に動いている間は、無理に押したり、動きを妨げたり、グリップカバーを閉じたりしないでください。故障の原因となります。

❍ グリップカバーを閉めるときは、指をはさまないようにご注意ください。

バッテリーパックなどの電源を取り付けていると、電源スイッチが「切」でも、カセットの出し入れはできます。操作が終わると自動的に電源が切れます。

コイン型リチウム電池を入れる

世界時計のエリアや日付、時刻（□ 25）などを記憶するには、コイン型リチウム電池が必要です。お使いになる前に付属のコイン型リチウム電池を入れてください。
電池を交換するときは、コイン型リチウム電池CR1616をお求めください。

❶ OPENボタンを押して液晶画面を開く

電池を交換するときは、日付などのデータを保持するため、コンパクトパワーアダプターなどの電源を取り付けておくことをおすすめします。

❷ 電池入れを引き抜く

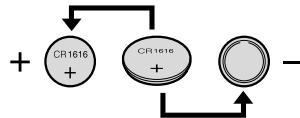
❸ 電池を入れる

電池の＋側を下にして、電池入れに入れます。

❹ 電池入れを取り付ける

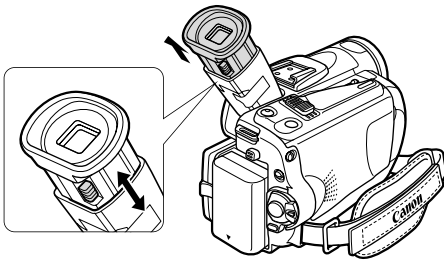
❺ 液晶画面を閉じる

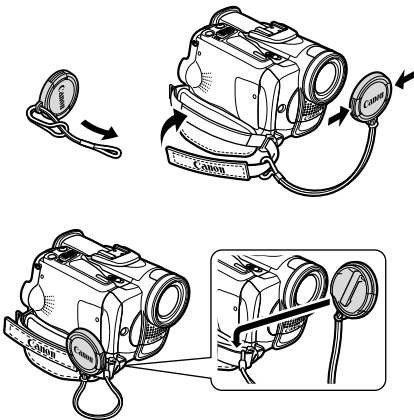
基本編

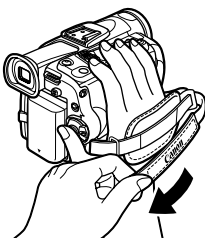
準備

コイン型リチウム電池の交換時期

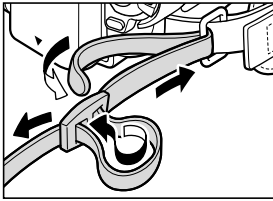
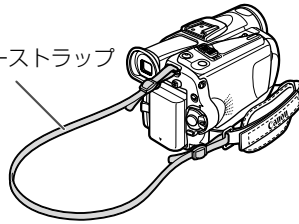
コイン型リチウム電池は約1年使用できます。電池が入っていなかったり、電池の容量が低下すると、「」が画面で赤く点滅し、電池の交換時期を知らせます。

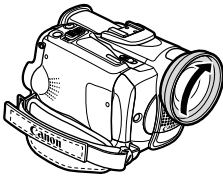
カメラの準備

ファインダーを調整する（視度調整）

電源を入れ、ファインダーを止まるところまでまっすぐ引き出します。ファインダー内の表示がはっきり見えるように、視度調整レバーを動かして調整します。
ファインダーを使用するときは、必ず液晶画面をカチッと音がするまでしっかりと閉じてください。
ファインダーを収納するときは、まっすぐ押し込んでください。

レンズキャップを取り付ける

付属のひもをレンズキャップの穴に通し、本体のグリップベルトに取り付けます。
レンズキャップを取り付け／取りはずしするときは、キャップのボタンを押します。
撮影中は、レンズキャップをグリップベルトに引っ掛けておくと便利です。

グリップベルトを調整する

右手で本体を持ちながら、親指でスタート/ストップボタン、人差し指でズームレバーが操作できるように、手の位置を決め、ベルトの長さを調整します。

ショルダーストラップを取り付ける

ワイドアタッチメントWA-34を使う

WA-34は、広角撮影を行うための倍率交換レンズで、ズームをワイド端（Wの端）にして使います（0.7倍）。

WA-34を、ビデオカメラのフィルター取り付けねじに完全にねじ込みます。

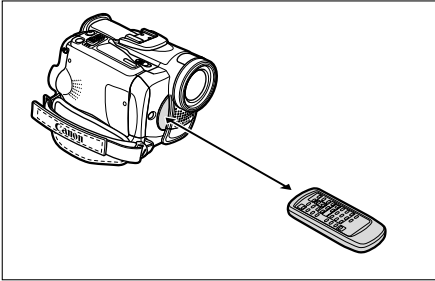
❍ ズームレバーをT側に動かすと、ピントが合いません。
❍ ご使用の前には、WA-34とビデオカメラのレンズ面のゴミをブロワーブラシなどで、完全に取り除いてください。また、WA-34には、指紋がつきやすいので、ご注意ください。表面のゴミや指紋にピントが合うことがあります。
❍ WA-34を湿度の高い場所で、長期間保管しないでください。カビが生えることがあります。

❍ WA-34をビデオカメラに取り付けると、リモコンの受光範囲が狭くなったり、フラッシュ／ビデオライトや補助光を使用時に影ができることがあります。
❍ WA-34とフィルターは同時に使用できません。

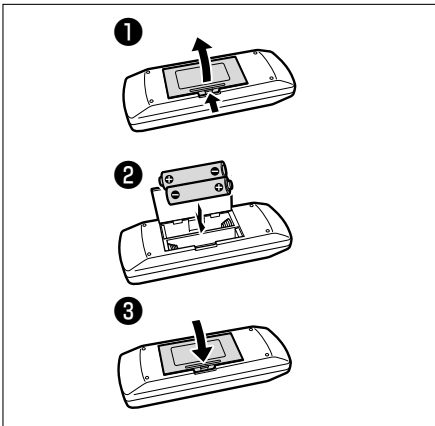
基本編

準備

リモコンを使う

リモコンの操作のしかた

リモコン受光部に向けて、リモコンのボタンを押す

電池の入れかた

リモコンは、2本の単3（R6）乾電池で動作します。

❶ つまみを押しながら、電池カバーを開ける

❷ ⊕、⊖を表示に合わせて正しく入れる

電池は2本とも新しいものと交換してください。

❸ 電池カバーを閉める

❍ 本機には2種類のリモコンコードがあります。リモコンで操作できないときは、必ず本体のリモコンコードを確認してください。電池を交換すると、リモコンコードは「設定1」に戻ります（🕮 77）。
❍ リモコンのボタンを押しても動作しなくなったり、本体に近づかないと動作しなくなったときは、電池を交換してください。
❍ リモコンの受光部に直射日光や照明などの強い光が当たっていると、正常に動作しないことがあります。

日時を設定する

はじめてお使いになる場合や、コイン型リチウム電池を交換した場合には、画面に「エリア／日時を設定してください」の表示が出ます。日付／時刻を設定する前に、世界時計のエリアを設定してください。

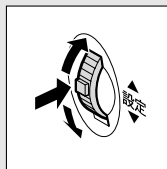
世界時計のエリアを選ぶ

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

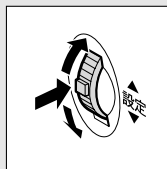
基本編

準備

1 メニューボタンを押す

- メニューが出ます。

2 「システム設定」を選ぶ

① 設定ボタンを上／下に押して、選択枠を「システム設定」に合わせます。

② 設定ボタンをまっすぐ押すと、「システム設定」サブメニューが出ます。

3 「エリア／サマータイム」を選ぶ

① 設定ボタンを上／下に押して、選択枠を「エリア／サマータイム」に合わせます。

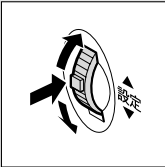
② 設定ボタンをまっすぐ押すと、「エリア／サマータイム」だけの表示になります。

- はじめてお使いになる場合は「トウキョウ」が最初に表示されます。

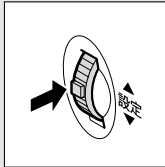
③ 設定ボタンをまっすぐ押すと、「システム設定」サブメニューに戻ります。

次のページへ

日付／時刻を設定する

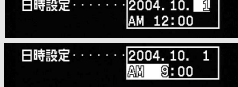
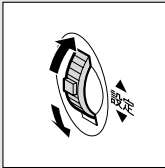
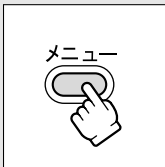
カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

4 「日時設定」を選ぶ

① 設定ボタンを上／下に押して、選択枠を「日時設定」に合わせます。

② 設定ボタンをまっすぐ押すと、「日時設定」だけの表示になります。

5 日付と時刻を設定する

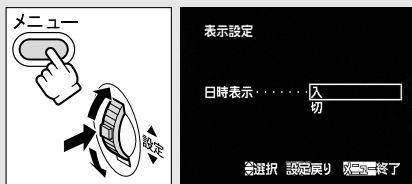
例：2004年10月1日午前9時20分に設定する

① 設定ボタンをまっすぐ押して、項目を選びます。選んだ項目が点滅します。
押すたびに、年→月→日→時→分と項目が変わります。

② 設定ボタンを上／下に押して、数字を選びます。

①と②の操作をくり返して設定します。

③ 時報に合わせて、メニューボタンを押します。内蔵時計が動き始めます。

撮影時に日時を表示する

本機では、撮影中に現在の日時を画面の左下に表示できます。

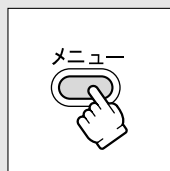
カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

① メニューボタンを押す
②「表示設定」➤「日時表示」➤「入」を順に選ぶ
・設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
③ メニューボタンを押す

旅行先のエリアを選ぶ

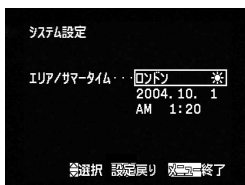
本機の世界時計機能では、主要都市を含む世界24ケ所の標準時間を表示できます。海外へ旅行したときに「エリア」の設定を旅行先に変えるだけで、日時は現地時間に変わります。

25ページの操作3-②のあと

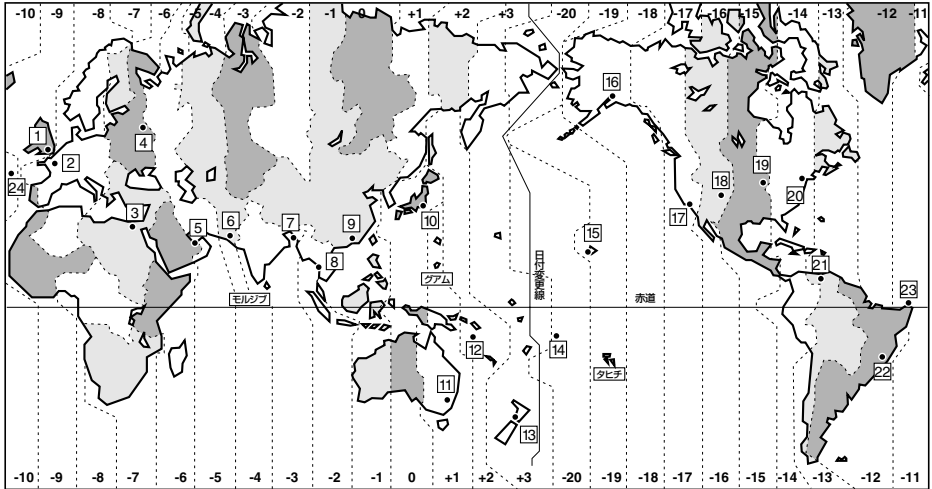
1 エリアを選ぶ

- 設定ボタンを上／下に押します。
- 押すたびに都市名が変わり、その都市の日付／時刻になります。

2 メニューボタンを押す

- メニューが消えます。

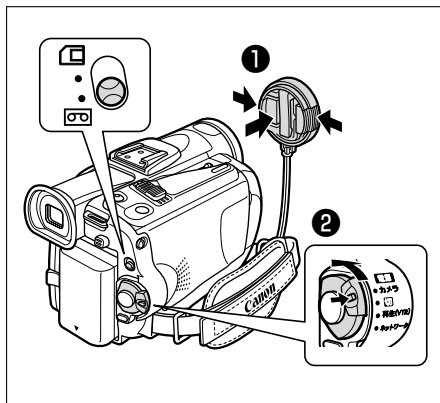
夏時間を設定するときは

都市名の右に ☀ マークの付くものを選んでください。

日時を設定する−つづき

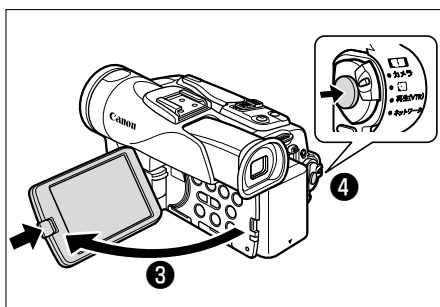
世界時計の都市と代表国

都市番号と都市名と日本との時差			代表国/代表地域
1	ロンドン	グリニッチ標準時 -9	イギリス（GMT：グリニッチ標準時）、ポルトガル
2	パリ	-8	イタリア、オランダ、スイス、スウェーデン、スペイン、ドイツ、中央ヨーロッパ標準時（CET）
3	カイロ	-7	エジプト、ギリシャ、トルコ
4	モスクワ	-6	イラク、ケニア、サウジアラビア、ロシア（モスクワ）
5	ドバイ	-5	アラブ首長国連邦
6	カラチ	-4	パキスタン、モルジブ
7	ダッカ	-3	インド、バングラデシュ
8	バンコク	-2	カンボジア、タイ、ベトナム、ジャカルタ
9	ホンコン	-1	オーストラリア西部（パース）、シンガポール、台湾、中国、フィリピン、ボルネオ島、バリ島
10	トウキョウ	日本標準時（JST）	日本、韓国
11	シドニー	+1	オーストラリア東部（シドニー、ゴールドコースト）、グアム、サイパン
12	ソロモン	+2	ニューカレドニア
13	ウェリントン	+3	ニュージーランド、フィジー
14	サモア	-20	西サモア
15	ホノルル	-19	タヒチ、ハワイ/米国ハワイ標準時（HST）
16	アンカレジ	-18	アンカレジ/米国アラスカ標準時（AST）
17	ロサンゼルス	-17	サンフランシスコ、ロサンゼルス/米国太平洋標準時（PST）、カナダ西海岸
18	デンバー	-16	デンバー/米国山地標準時（MST）
19	シカゴ	-15	シカゴ、ダラス/米国中部標準時（CST）、メキシコ
20	ニューヨーク	-14	ニューヨーク、ワシントン/米国東部標準時（EST）、モントリオール/カナダ東海岸、ペルー
21	カラカス	-13	チリ、ベネズエラ
22	リオ	-12	アルゼンチン、ブラジル
23	フェルナンド	-11	フェルナンドデノロニヤ島（ブラジル）
24	アゾレス	-10	アゾレス諸島（ポルトガル）

テープに動画を撮る

撮影する前に
必ず事前にためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。大切な撮影の前には市販の乾式のクリーニングカセットを使って、ビデオヘッドをきれいにしてください。

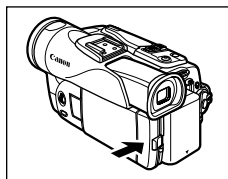
液晶画面を見ながら撮る

❶ レンズキャップをはずす

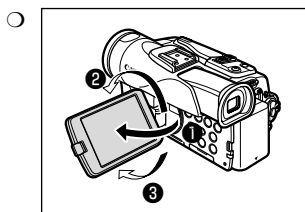
❷ カメラモードにする
1. 電源スイッチを「カメラ」にする
2. テープ/カード切換スイッチを「 📼 」にする

電源スイッチは、緑ボタンを押しながら「カメラ」に合わせます。

❸ 液晶画面を開く
OPENボタンを押して開き、見やすい角度に調整します。

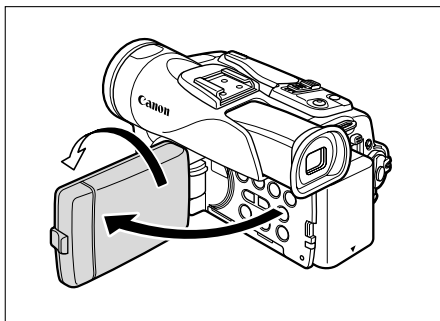
❹ スタート/ストップボタンを押す
- 撮影が始まります。
- スタート/ストップボタンをもう一度押すと、止まります。

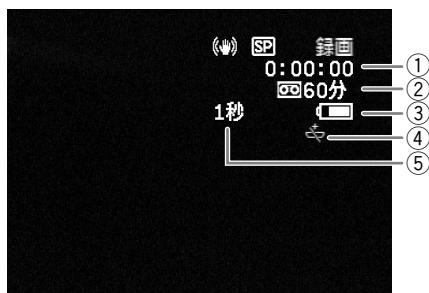
撮影が終わったら

❶ 電源スイッチを「切」にする
❷ 液晶画面を垂直にしてから閉じる
カチッと音がするまでしっかりと閉じてください。
❸ レンズキャップをつける
❹ カセットを取り出す
❺ バッテリーパックを取りはずす

次のページへ

❍ カセットを入れた直後は、テープカウンターが完全に止まってから、撮影を始めてください。
❍ カセットを取り出さなければ、電源を切っても、次の場面をきれいにつないで撮影できます。
❍ 屋外など周囲が明るい場所で撮影するときに液晶画面が見にくい場合は、ファインダーで見ながら撮影してください。
❍

液晶画面は
❶ 90°まで開きます。
❷ 180°まで回転します。
❸ 90°まで回転します。
液晶画面の角度を変えるときは、必ず90°開いてから行ってください。
❍ 大きな音の近く（打ち上げ花火や太鼓、コンサートなど）で撮影すると、音が歪んだり、実際より小さく記録されることがあります。これは、故障ではありません。
❍ **撮影一時停止中は、テープとヘッドの保護のために、約5分で電源が切れます。電源が切れる約20秒前に、画面中央に「⚠AUTO POWER OFF」が出ます。撮影を続けるときは、電源スイッチを一度「切」にしてから、電源を入れ直してください。**
❍ **液晶画面やファインダーは、非常に精密度の高い技術で作られています。99.99%以上の有効画素がありますが、黒い点があらわれたり、赤や青、緑の点が常時点灯することがあります。これは、故障ではありません。なお、これらの点は、記録されません。**

液晶画面を相手に見せながら撮る（対面撮影）

液晶画面を相手に見せながら、ファインダーを使って撮影できます。セルフタイマー（ 58）などで、ビデオカメラを固定して大勢で撮影したりするときにも便利です。

液晶画面を90°まで開き、180°まで回転する

テープ撮影中の画面表示について

①タイムコード（撮影時間表示）

撮影時間を「時：分：秒」で表示します。
・本機はドロップフレーム方式を採用しています。ドロップフレーム方式では、30フレーム/秒でカウントするタイムコードと、フレーム周期が29.97秒のNTSC映像信号との間に生じるズレを自動的に補正し、より高精度の編集が可能です。

②テープの残量表示と「 END」の点灯

テープの残量時間を「分」で表示します。
撮影中にテープがなくなると「 END」が点灯し、停止します。
・撮影時間が15秒以下のときは残量表示が出ないことがあります。
・テープの残量表示は、テープの種類によっては、正しく表示されないことがあります。

③バッテリーパックの残量表示

バッテリーパックの残量の目安を表示します。

・バッテリーパックが消耗すると「」が赤く点滅します。充電したバッテリーパックと交換してください。
・消耗したバッテリーパックを装着すると、電源が入らなかったり、「」が出ずに切れたりすることがあります。
・残量と表示内容はビデオカメラ、バッテリーパックの状態により必ずしも一致しません。

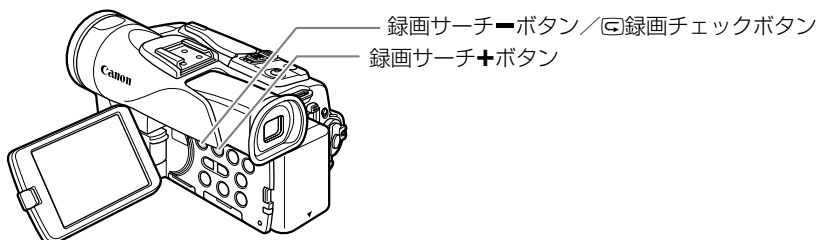
④「」の点滅

コイン型リチウム電池が入っていなかったり、電池の容量が低下すると、「」が赤く点滅します。新しいコイン型リチウム電池と交換してください。

⑤お知らせタイマー

撮影を始めてから約10秒間、撮影時間を表示します。
・1つの場面の撮影時間が短いと、落ち着きのない画面になりがちです。お知らせタイマーを見ながら、撮影すると便利です。

テープに撮影した画像を確認する（録画チェック／録画サーチ）

録画チェック	最後に撮影した場面を、画面で確認できます。
録画サーチ	撮影した場面を再生して、撮り直しや続けて撮影したい場面を探せます。

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

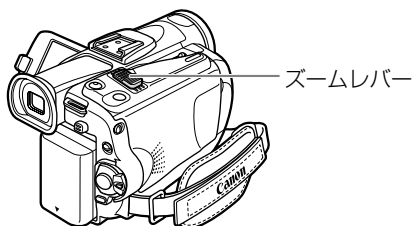
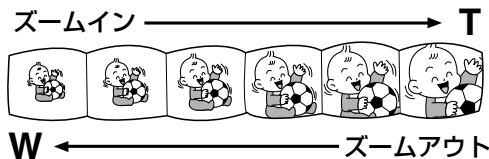
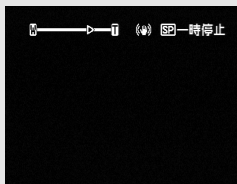
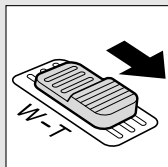
撮影一時停止中 録画チェックボタンをポンと押す

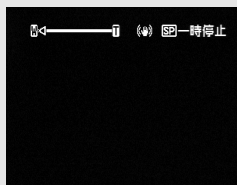
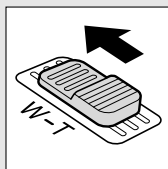
撮影した最後の場面（約3秒間）が再生され、撮影一時停止に戻ります。

撮影一時停止中 録画サーチ＋／－ボタンを押し続ける

押し続けている間、再生されます。ボタンを離すと、その場面で撮影一時停止になります。

ズームを使って撮る

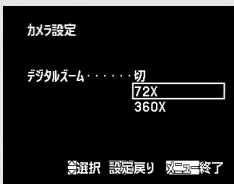
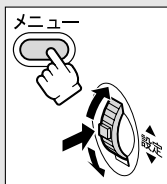
光学ズーム領域を越えると、自動的にデジタルズームになります。デジタル領域では画像をデジタル処理するため、画質が低下し、通常より画面が粗くなります。
18倍光学ズームに加えて、360倍のデジタルズームを装備しています。カードカメラモードでは、デジタルズームは72倍になります。

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

ズームインする

- ズームレバーをT側に引きます。
- 被写体が大きくなり、ズームインになります。

ズームアウトする

- ズームレバーをW側に押します。
- 被写体が小さくなり、ズームアウトになります。

❍ ズームレバーを少し動かすと低速ズームに、さらに動かすと高速ズームになります。リモコンでは、ズームスピードは一定です。
❍ Tはtelephoto（テレフォト）（望遠）、Wはwide（ワイド）（広角）の頭文字です。

デジタルズームの設定を変える

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

① メニューボタンを押す

②「カメラ設定」➤「デジタルズーム」➤設定内容を順に選ぶ

・設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。

③ メニューボタンを押す

❍ ナイトモードでは、デジタルズームは使用できません。

❍ マルチ画面（📖 68）を設定しているとき、デジタルズームは使用できません。

❍ ズームレバーを操作すると、約4秒間、ズーム表示が出ます。デジタルズーム領域は、72倍までは水色、72倍から360倍までは青色で表示されます。

❍ 撮影中ズームを使いすぎると、落ち着きのない画面になります。効果的にお使いください。

❍ ズームをしながら撮影するときは、被写体から1m以上離れてください。W側いっぱいに動かすと、約1cmまで近づいて撮影できます。

よりよいビデオ撮影のために

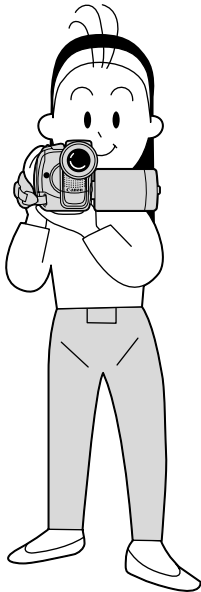
ビデオカメラ本体の持ちかた

・ビデオカメラを持つときは、マイクやレンズに指がかからないようにしてください。

一番安定した構えかた

・右手でグリップを持ち、右脇をしめる。
・左手は軽くカメラの底にそえて安定させる。

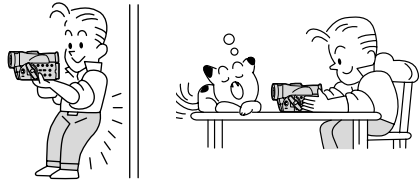
ライティング

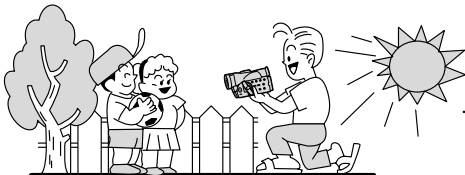
屋外でのビデオ撮影では、太陽を背に撮影することをおすすめします。

安定した撮影をするためには

状況に合わせて構え方を変えましょう。

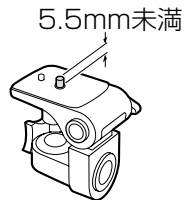
液晶画面は角度が変えられますので、姿勢に合わせて調整します。

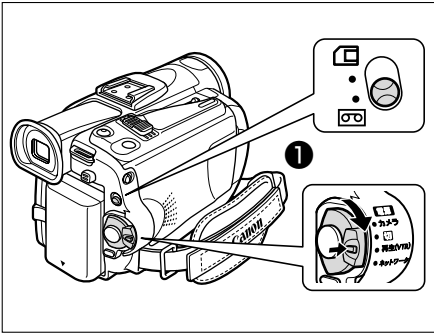
・壁に寄りかかる

・テーブルなどを利用して本体を置く

・ひじをたてて地面に伏せる

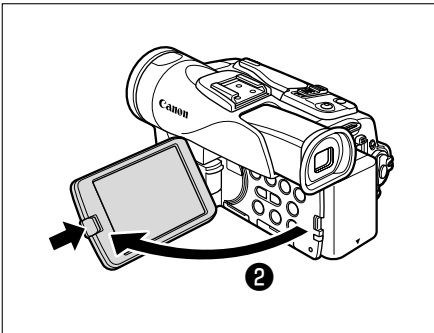
・片膝立ちになる

・三脚を使う

三脚を使うときには

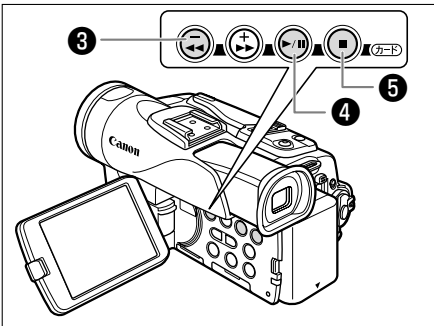
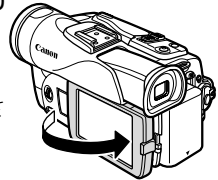
・直射日光がファインダー内に入ると、レンズが光を集めるためにファインダーの回りが溶けてしまいます。ファインダーを太陽に向けないでください。
・三脚は、必ず取り付けネジの長さが5.5mm未満のものをご使用ください。5.5mm以上のネジ長のものを使用すると、本体を破損することがあります。

テープを再生する

再生画面がおかしいときは
ビデオヘッドが汚れている場合があります。市販の乾式のヘッドクリーニングカセットを使ってビデオヘッドをきれいにしてください。

❶ 再生（VTR）モードにする

1. 電源スイッチを「再生（VTR)」にする
2. テープ/カード切換スイッチを「📼」にする

電源スイッチは、緑ボタンを押しながら「再生（VTR)」に合わせます。

❷ 液晶画面を開く

- OPENボタンを押して開き、見やすい角度に調整します。
- 液晶画面を外側に向けて本体に収納できます。

180°回転させて閉じる

❸ ◀◀ボタンを押す

テープを巻戻します。

❹ ▶/❚❚ボタンを押す

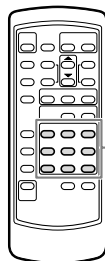
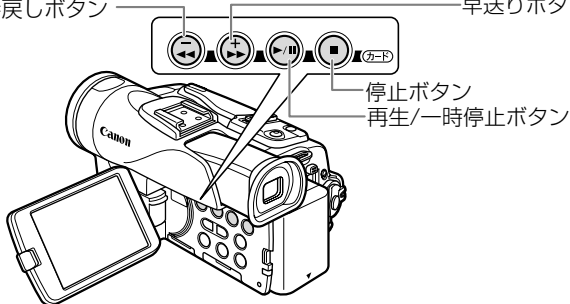
再生が始まります。

❺ ■ボタンを押す

再生を止めます。

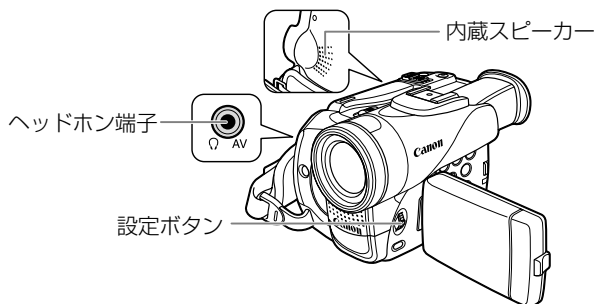
❍ 液晶画面を閉じると、ファインダーで再生画面を見ることができます。

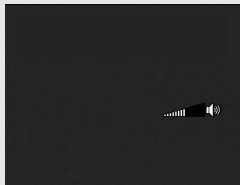
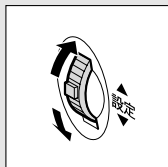
❍ **画面表示について**
再生時のタイムコードは、「時：分：秒：フレーム」で表示されます。また、テープ残量表示は、再生時間が15秒以下のとき、表示されないことがあります（📖31）。

いろいろな再生

早送り再生： ▶▶	再生／早送り中に▶▶(早送り)ボタンを押し続けると、約9.5倍の早送り再生になります。
巻戻し再生： ◀◀	再生／巻戻し中に◀◀(巻戻し)ボタンを押し続けると、約9.5倍の巻戻し再生になります。
再生一時停止： ▶II	再生中に▶/II(一時停止)ボタンを押します。
逆方向再生： ◀×1	再生中にリモコンの−/◀IIボタンを押します。再生▶ボタンを押すと、ふつうの再生に戻ります。
コマ送り： ◀II　II▶	再生一時停止中にリモコンの＋/II▶または−/◀IIボタンを押すと、押すたびに1コマずつ送られます。押し続けると連続コマ送りになります。
スロー再生： ◀I　I▶	再生／逆方向再生中にリモコンのスローI▶ボタンを押すと、通常の約1/3のスロー再生になります。再生▶ボタンを押すと、ふつうの再生に戻ります。
2倍速再生： ◀×2　2×▶	再生／逆方向再生中にリモコンの×2ボタンを押します。再生▶ボタンを押すと、ふつうの再生に戻ります。

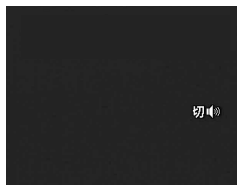
- いろいろな再生機能を使って再生したときは、音声は聞こえません。
- 再生機能によっては、画面が多少乱れることがあります。
- 再生一時停止が約5分以上続くと、テープとヘッドの保護のため、自動的に停止状態になります。再生するときは、もう一度再生ボタンを押します。

音量を調整する

液晶画面で再生するときに、同時に内蔵スピーカーで音声も聞くことができます。液晶画面を閉じると内蔵スピーカーは切れます。ファインダーで見るときは、ヘッドホンを使って音声を聞きます。

スピーカーの音量を調整する

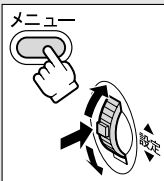
カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

設定ボタンを上／下に押す

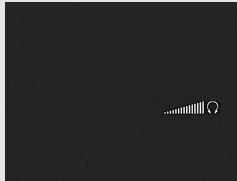
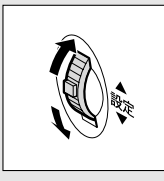
- 音量表示が出ます。調整を終えると、約4秒後に表示は消えます。

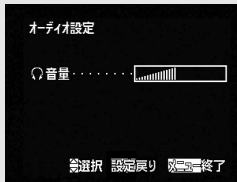
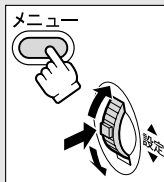
音声の消しかた

- 設定ボタンを下に押し続けます。音量表示が消え、「切」が出ます。
- 再び音声を聞くときは、設定ボタンを上に押します。

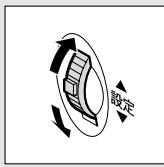
ヘッドホンの音量を調整する

ヘッドホン端子は、映像/音声（AV）端子と共通です（📖 40）。ヘッドホンは、画面に「🎧」の表示が出ているときに使用できます。「🎧」が出ていない場合は、設定を変更します。

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

① メニューボタンを押す
②「VTR設定」➤「AV/ヘッドホン🎧」➤「ヘッドホン🎧」を順に選ぶ
・設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
③ メニューボタンを押す
・「🎧」の表示が出ます。

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

再生中 設定ボタンを上／下に押す

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

1 撮影中 「🎧音量」を選ぶ

① メニューボタンを押す
②「オーディオ設定」➤「🎧音量」を選ぶ
・設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。

2 設定ボタンを上／下に押す

❍ 画面に「🎧」の表示が出ていないときは、ヘッドホンを接続しないでください。表示が出ていないときに、ヘッドホンを接続すると、雑音が出ます。
❍ ヘッドホンの設定にしているときは、内蔵スピーカーから音声は出ません。

テレビで見る

映像/音声端子は、ヘッドホン端子と共通です（□ 39）。映像/音声端子を使うときに、画面に「Ω」の表示が出ている場合は、設定を変更します。

映像/音声端子を使う

カメラモード　再生(VTR)モード　|　カードカメラモード　カード再生モード

① メニューボタンを押す
②「VTR設定」➤「AV/ヘッドホンΩ」➤「AV」を順に選ぶ
・設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
③ メニューボタンを押す

映像/音声入力端子付きのテレビにつないで見る　ステレオ

接続は、各機器の電源を切って行います。接続する機器の使用説明書もあわせてご覧ください。

端子カバーを開く

Ω AV

信号の流れ

ステレオビデオケーブル
STV-250N（付属）

映像 入力 端子へ

（黄）

（白）

（赤）

ステレオ音声
入力 端子へ

入力

映像

L

音声

R

テレビ

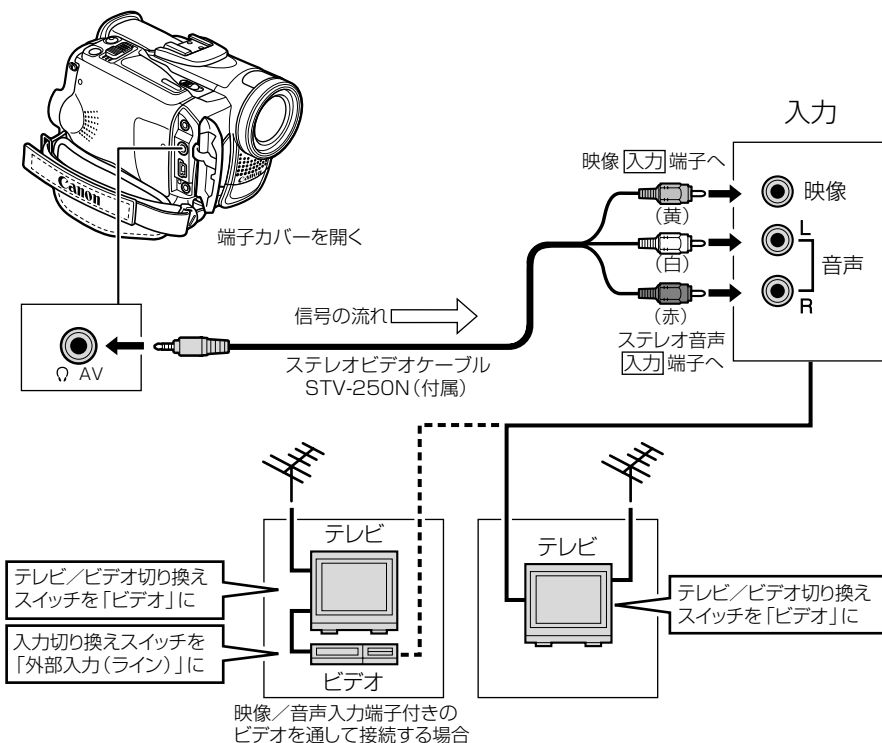
テレビ／ビデオ切り換え
スイッチを「ビデオ」に

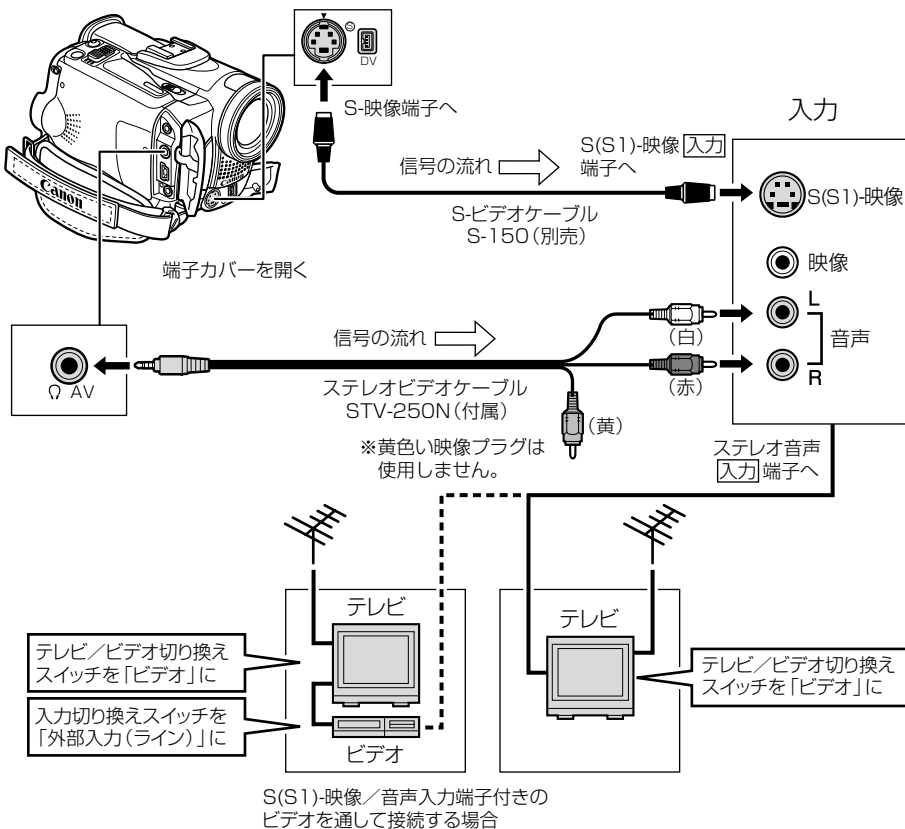
入力切り換えスイッチを
「外部入力（ライン）」に

ビデオ

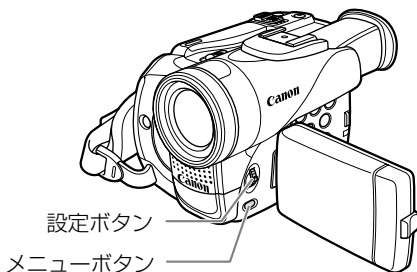
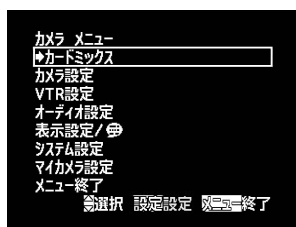
映像／音声入力端子付きの
ビデオを通して接続する場合

テレビ

テレビ／ビデオ切り換え
スイッチを「ビデオ」に

S(S1)-映像/音声入力端子付きのテレビにつないで見る　ステレオ

接続は、各機器の電源を切って行います。接続する機器の使用説明書もあわせてご覧ください。

- ❍ 本機にコンパクトパワーアダプターを接続して、家庭用のコンセントで使うことをおすすめします。
- ❍ 再生時には、S(S 1)-映像端子付きのテレビに接続してご覧になると、DV方式の持つ高画質を十分にお楽しみいただけます。
- ❍ **S1-映像入力端子付きのテレビの場合**
  本機のワイドテレビ用「16：9」機能（□ 150）で撮影した映像をテレビで見るときに、本機をS1-映像入力端子につないで再生すると、自動的にワイド画面に切り換わります。
- ❍ **ビデオ方式 IDシステム（ID-1）方式対応のテレビの場合**
  本機のワイドテレビ用「16：9」機能（□ 150）で撮影した映像をテレビで見るときに、Sまたは映像入力端子につないで再生すると、自動的にワイド画面に切り換わります。

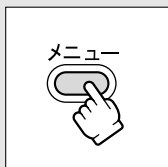
ご購入時の設定を変える（メニュー）

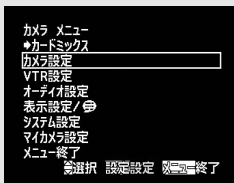
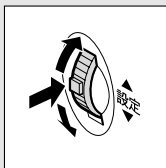
本機のさまざまな機能について、ご購入時の設定をメニューから変更できます。
メニュー項目は、メニュー一覧（🕮 149～161）をご覧ください。

メニュー画面下部の緑でマークされている表示は、本体上のボタンを表しています。

選択	設定ボタンを上／下に押して、設定内容を選択します。
設定 設定	設定ボタンをまっすぐ押して、設定します。
設定 戻り	設定ボタンをまっすぐ押して、前のメニューに戻ります。
メニュー 終了	メニューボタンを押して、メニューを終了します。

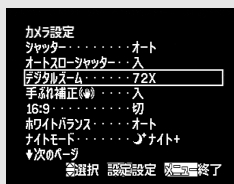
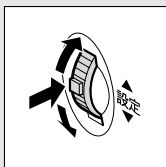
本体の設定ボタンと、リモコンの▲、▼、設定ボタンは、同じ操作になります。

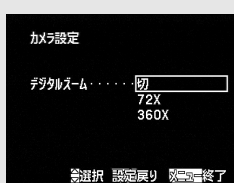
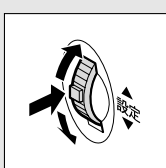
本体	リモコン
設定ボタンを上に押す	▲ボタンを押す
設定ボタンを下に押す	▼ボタンを押す
設定ボタンをまっすぐ押す	設定ボタンを押す

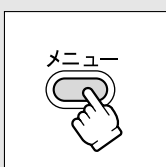
ここでは、カメラモードのときに、本体で操作する場合で説明しています。
例：「デジタルズーム」を「切」に設定する

1 メニューボタンを押す

- メインメニューが出ます。

2 項目を選ぶ

①設定ボタンを上／下に押して、選択枠を設定する項目に合わせます。
②設定ボタンをまっすぐ押すと、選んだ項目のサブメニューが出ます。

3 機能を選ぶ

①設定ボタンを上／下に押して、選択枠を設定する機能に合わせます。
②設定ボタンをまっすぐ押すと、選んだ機能だけの表示になります。

4 設定内容を選び、設定する

①設定ボタンを上／下に押して、選択枠を設定する設定内容に合わせます。
②設定ボタンをまっすぐ押すと、サブメニューに戻ります。

5 メニューボタンを押す

- メニューが消えます。
- シャッタースピード、ホワイトバランスと言語以外の機能は、4-②の操作の代わりにメニューボタンを押しても選択内容を設定し、メニューを終了できます。

❍ 他の機能の設定内容などにより設定できない項目は、紫色で表示されます。
❍ メニューボタンを押すと、メニューはいつでも終了します。

応用編

撮影場面や目的に合わせて撮る（プログラムAE）

撮影モードについて

撮影シーンに合わせて、撮影モードを選びます。

（全自動）モード

すべてをカメラまかせ。
スタート/ストップボタンを押すだけで、簡単に撮影できるモードです。メニューなどで、設定できない機能があります。

オートモード

カメラまかせで撮影できるモードですが、メニューなどで、細かく設定できます。

スポーツモード

テニスやゴルフなど、動きの速い被写体の撮影に適しています。

ポートレートモード

背景や被写体の手前にあるものをボカし、被写体を引き立たせて撮影します。ズームを望遠（T）側にすると、背景のボケの効果がより大きくなります。

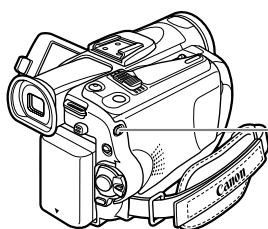
スポットライトモード

スポットライトなどで照明されたシーンや花火などをきれいに撮影できます。

サーフ&スノーモード

夏の海岸や冬のスキー場など、照り返しが強い場所でも被写体が暗くなるのを防ぎ、鮮明に撮影できます。

ローライトモード

多少暗いところや暗くても照明が使えない場所で、被写体を明るく撮影できます。

撮影モードによって、使用できる機能が異なります。

撮影モード	□ (全自動)	A					
デジタルズーム	○	○					
手ぶれ補正	入	○					
ピント合わせ	オート	○					
ホワイトバランス		○					
シャッタースピード		○	オート				
露出ロック／補正	×	○					
デジタルエフェクト		○					
16：9		○					
カードミックス		○					

オート：自動調整になります。　○：操作できます。　×：操作できません。

（網掛け）：カメラモードのときのみ、操作できます。

撮影モードの選びかた

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

1

□（全自動）モードの場合

撮影モード切換スイッチを□にする

● 「□」の表示が出ます。

次のページへ

1

□（全自動）モード以外の場合

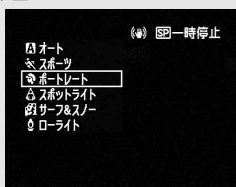
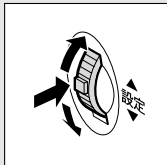
撮影モード切換スイッチをⓅにする

2

設定ボタンをまっすぐ押す

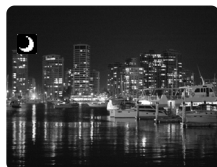
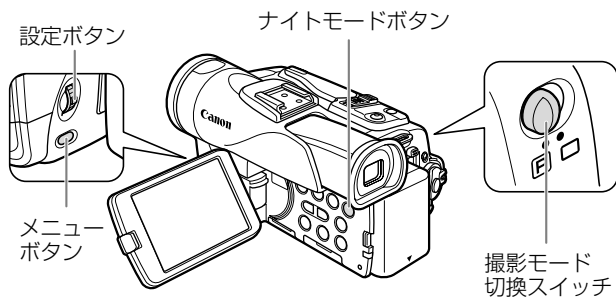
● プログラムAEメニューが出ます。

3

撮影モードを選ぶ

①設定ボタンを上／下に押して、選択枠を撮影したいモードに合わせます。
②設定ボタンをまっすぐ押すと、選んだモードのアイコン表示が出ます。

❍ プログラムAEモードの設定は、一度、撮影モード切換スイッチを □（全自動）にした後にⓅに戻すと、「オート」になります。
❍ プログラムAEモードを変えると、映像の明るさが一時的に大きく変化することがありますので、撮影中はモードを変えないでください。
❍ AEは、自動露出の意味です。（Auto-Exposure）
❍ スポーツモード／ポートレートモード：
再生すると、なめらかに見えないことがあります。
❍ サーフ&スノーモード：
・ 曇りや日陰など周囲が暗いときには、被写体が明るくなり過ぎる場合があります。画面で映像をご確認ください。
・ 再生すると、なめらかに見えないことがあります。
❍ ローライトモード：
・ 動きのある被写体は、尾を引いたような残像になります。
・ 明るく撮影できる分、通常の撮影に比べて画質が多少劣化することがあります。
・ 自動でピントが合いにくいときは、手動でピントを合わせてください。

ナイトモードを使う

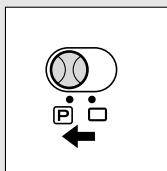
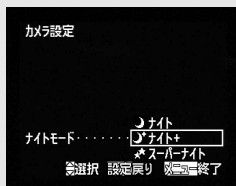
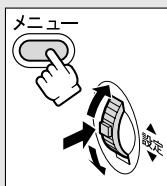
ナイト	夜景や暗くても照明が使えない場所で、被写体をカラーで明るく撮影できます。
ナイト＋	常時、補助光（白色LED）が点灯します。
スーパーナイト	ナイトで撮影できない真っ暗な場所でも、周囲の明るさによって補助光（白色LED）が自動的に点灯し、カラーで明るく撮影できます。

ナイト

ナイト+、スーパーナイト

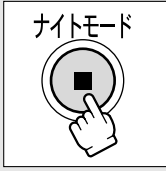
応用編
撮る

設定のしかた

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

1 撮影モード切換スイッチをⓅにする

2 ナイトモードを選ぶ

① メニューボタンを押す
②「カメラ設定」➤「ナイトモード」➤ 設定内容を順に選ぶ
・設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
③ メニューボタンを押す

次のページへ

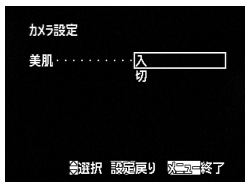
3 ナイトモードボタンを押す

● 選んだナイトモードのアイコン表示が出ます。
● もう一度押すと、オートモードになります。

❍ 動きのある被写体は、尾を引いたような残像になります。
❍ 明るく撮影できる分、通常の撮影に比べて画質が多少劣化することがあります。
❍ 画面に白い点などが現れることがあります。
❍ 自動でピントが合いにくいときは、手動でピントを合わせてください。
❍ ナイトモードを設定しているときは、デジタルズームとマルチ画面は使用できません。
❍ ナイトモードを設定しているときは、プログラムAEメニューから撮影モードを選択できません。

美肌モードを使う

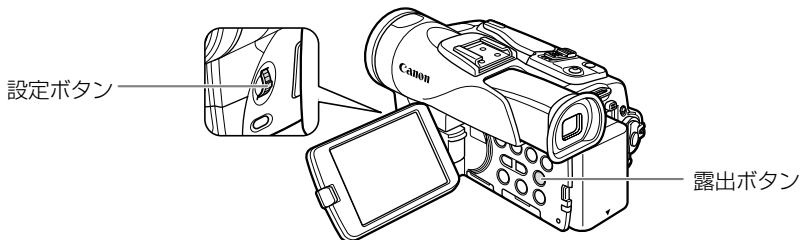
美肌モードを使うと、肌がなめらかに表現されて、よりきれいに見えます。

設定のしかた

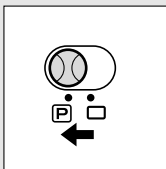
カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

①メニューボタンを押す
②「カメラ設定」➤「美肌」➤「入」を順に選ぶ
・設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
③メニューボタンを押す
・「美肌」の表示が出ます。

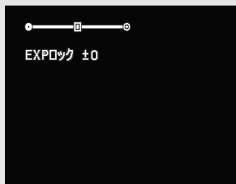
❍ □（全自動）モードでは、美肌モードは使用できません。
❍ 人物を大きく撮影するときに使うと効果的です。画面の中に肌色に近い部分があるときも、ソフトに表現されます。

手動で明るさを変える（露出ロック／露出補正）

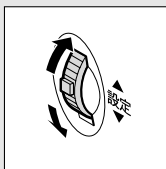
被写体が太陽を背にしていたりする逆光の状態では、被写体が黒くつぶれてしまうことがあります。逆に、あまり強い光を被写体が受けると、白くとんでしまいます。このようなときには、露出の調整をします。
画面の明るさを変えて効果的な画創りができます。

露出ロックを使う

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

1 撮影モード切換スイッチをⓅにする

- □（全自動）以外の撮影モードにします（□ 46）。

2 露出ボタンを押す

- 画面の明るさが固定（ロック）されます。
- 「EXPロック ±0」の表示が出ます。
- 露出ロック中にズームを操作すると、画面の明るさが変わることがあります。

露出を補正する

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

- 設定ボタンを上／下に押して、露出を補正します。
- 明るさによって調整できる範囲が変わり、露出ロック表示の長さも変わります。

手動でピントを合わせる

自動でピントが合いにくい場合は、手動でピントを合わせます。自動ではピントが合いにくい被写体は、次のとおりです。

・輝いたり、強い光が反射している

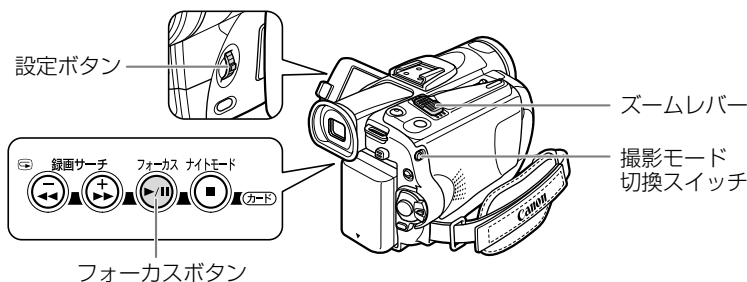
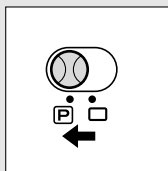
・明暗の差や縦の線がない

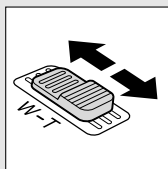
・動きが速い

・水滴や汚れの付いたガラス越し

・夜景

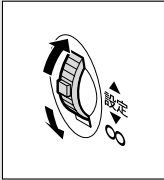
カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

1 撮影モード切換スイッチをⓅにする

- □（全自動）以外の撮影モードにします（□ 46）。

2 ズームレバーで被写体の大きさを決める

- 手動でピントを合わせてから、ズームで大きさを変えると、ピントがずれることがあります。先にズームで大きさを決めてからピントを合わせます。

3 **フォーカスボタンを押す**

● 「MF」の表示が出ます。

4 **設定ボタンを上／下に押す**

● ピントを合わせます。
● フォーカスボタンをもう一度押すと、自動ピント合わせに戻ります。「MF」の表示が消えます。

手動ピント合わせにしているとき

❍ 撮影モード切換スイッチを □（全自動）モードにすると、自動ピント合わせになります。ほかの撮影モードにしたときは、手動のままです。
❍ 電源を切ったときは、ピントを合わせ直してください。

ピントを無限遠にして撮影する

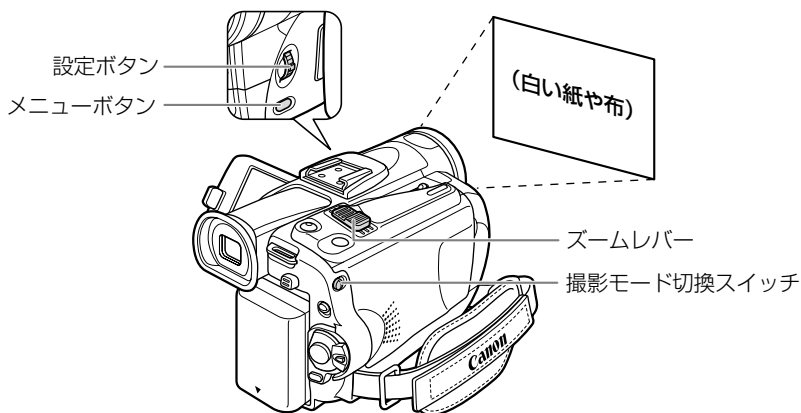
ピントを無限遠にすると、遠くの被写体だけにピントを合わせて、近くの被写体にピントが合うのを防ぐことができます。花火や月、山などを撮影するときに使います。

● 「手動でピントを合わせる」の2の操作の後に、フォーカスボタンを2秒以上押し続けます。
● ピントが無限遠になり、「MF∞」の表示が出ます。

「MF∞」の表示が出ているときに、ズームを操作したり、設定ボタンを操作すると、「∞」が消え、手動ピント合わせになります。

色合いを調整する（ホワイトバランス）

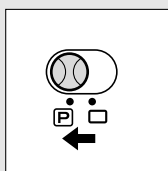
蛍光灯や太陽光など、光が変わることによる色の微妙な変化を調整します。
本機では、自動的に色合いを調整するオートホワイトバランスのほかに、ホワイトバランスセット、さらに屋内（☼）と屋外（☀）を選択できます。

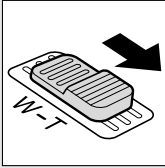
オート	自動的に自然な色合いに調整するとき。
ホワイトバランスセット	手動で色合いを調整するとき。
屋内 ☼	パーティー会場など照明条件が変化する場所や、スタジオ、ビデオライト、ナトリウムランプの照明で撮影するとき。
屋外 ☀	夜景や花火、朝日、夕焼けを撮影するとき。

設定のしかた

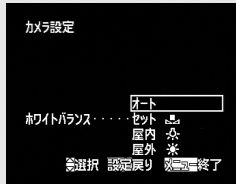
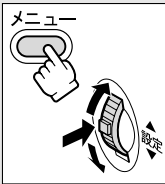
カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

1

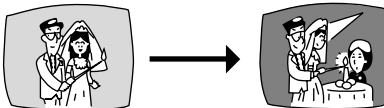
撮影一時停止中

撮影モード切換スイッチをⓅにする

- □（全自動）以外の撮影モードにします（📖46）。

2 ホワイトバランスセットの場合のみ ズームレバーをT側に引く

- 白い紙や布を画面いっぱいに写します。
- 操作3が終わるまで、白い紙を写し続けてください。

3 ホワイトバランスを選ぶ

①メニューボタンを押す
②「カメラ設定」➤「ホワイトバランス」➤設定内容を順に選ぶ
・設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。

- 「カメラ設定」サブメニューに戻ります。
- 「セット」の場合：「セット」が点滅し、色合いの調整が完了すると点灯に変わります。
- メニューボタンを押すと、設定した項目の表示が出ます。

❍ 通常の屋外では、「オート」を使った方がきれいに撮影できます。
❍ 撮影モード切換スイッチを ▭（全自動）にした場合、ホワイトバランスは「オート」に戻ります。
❍ 一度設定したホワイトバランス「セット」は、電源を切っても憶えていますが、テープ/カード切換スイッチを切り換えると、「オート」に戻ります。
❍ **ホワイトバランス「セット」を行う場合**
・ごくまれに、光源によっては点灯に変わらない（ゆっくりとした点滅）ことがありますが、この場合でも自動調整よりも適切なホワイトバランスになりますので、そのまま撮影できます。
・照明の十分な場所で行ってください。また、光源が変わったときは、セットし直してください。
・「カメラ設定」サブメニューで「デジタルズーム」を「切」にしてください。
❍ 次のような場合は、自動では色合いを調整できないことがあります。画面で色が不自然に見えるときは、「セット」で調整をしてください。

・照明条件が急に変わるとき

・クローズアップ撮影をするとき

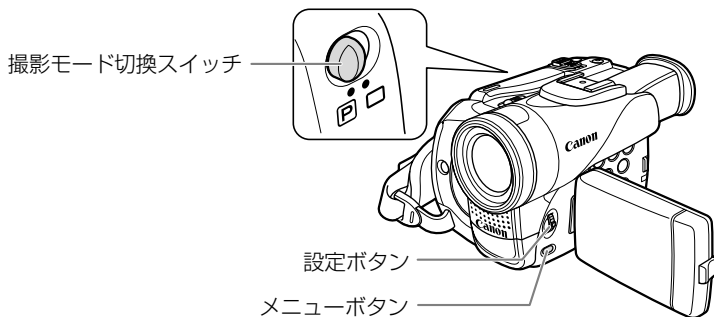
・単一色の被写体（空、海、森など）を撮影するとき

・水銀灯や一部の蛍光灯で撮影するとき

速い動きを撮る（シャッタースピード）

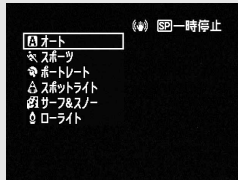
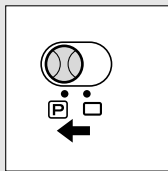
シャッタースピードを手動で設定し、スポーツや乗り物などの動きの速い被写体をぶれの少ない画面で撮影できます。6段階のシャッタースピード（1/60秒、1/100秒、1/250秒、1/500秒、1/1000秒、1/2000秒）があります。

高速シャッターで撮影するときの目安は、次のとおりです。

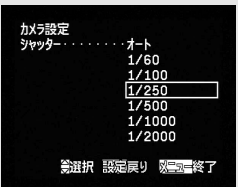
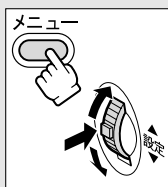
1/100秒	屋内でスポーツをしている人を撮影するとき。
1/1000、1/500、1/250秒	自動車や列車などから外を撮影するときや、ジェットコースターなどの動きの速い乗り物を撮影するとき。
1/2000秒	晴天下で、テニスやゴルフなどスポーツをしている人を撮影するとき。

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

1

撮影一時停止中

撮影モードを「オート」にする

- 撮影モード切換スイッチをPにし、Aオートモードを選びます（□46）。

2

シャッタースピードを選ぶ

①メニューボタンを押す
②「カメラ設定」➤「シャッター」➤ 設定内容を順に選ぶ
・設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。

- 「カメラ設定」サブメニューに戻ります。
- メニューボタンを押すと、選んだシャッタースピードの表示が出ます。

❍カードカメラモードのとき、シャッタースピードは1/250秒までしか使用できません。カメラモードで1/500秒以上の高速シャッターに設定していても、カードカメラモードに切り換えたときに、自動的に1/250秒になります。

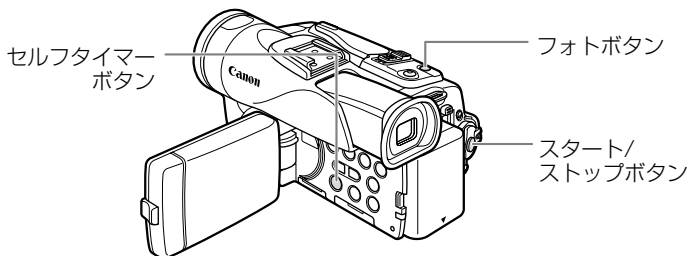
❍1/1000秒以上の高速シャッターでは、画面内に太陽を入れないでください。

❍高速シャッターのときは、画像がパラパラとちらついて、なめらかに見えないことがあります。

❍蛍光灯の下での撮影について（カメラモード）
□（全自動）モード、オートモード、ナイトモードでは、蛍光灯のちらつきを検出して自動的にシャッタースピードが切り換わります。画面の明るさがちらつくときは、オートモードを選び、1/100秒の高速シャッターを選んでください。

❍プログラムAEモードを切り換えたり、撮影モード切換スイッチを □（全自動）にすると、シャッタースピードは「オート」に戻ります。

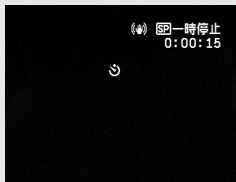
セルフタイマーを使う

セルフタイマーは、動画と静止画のどちらでも使用できます。

動画を撮影するとき

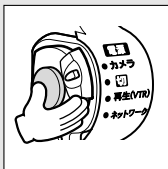
カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

1

撮影一時停止中

◷（セルフタイマー）ボタンを押す

- 「◷」の表示が出ます。

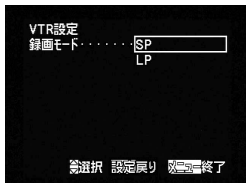
2

スタート/ストップボタンを押す

- 撮影開始までの時間が表示されます（10～1秒）。
- 本体のスタート/ストップボタンでは10秒後に撮影を開始します（リモコンの場合は2秒後）。
- 静止画を撮影するときは、フォトボタンを押します（□98）。

- ❍ セルフタイマーを解除するときは、セルフタイマーボタンを押してください。撮影開始までの時間が表示されているときは、スタート/ストップボタン（動画のとき）、フォトボタン（静止画のとき）を押しても解除できます。
- ❍ セルフタイマーは、電源を切ると解除されます。

録画モードを選ぶ

SP（標準）モードまたはLP（長時間）モードが選択できます。LPモードはSPモードの録画時間の1.5倍になります。

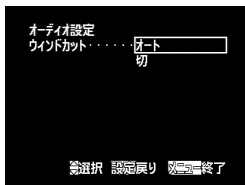
カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

①メニューボタンを押す
②「VTR設定」➤「録画モード」➤ 設定内容を順に選ぶ
・設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
③メニューボタンを押す
・「SP」または「LP」の表示が出ます。

❍ **LPモードで記録したテープは、アフレコできません。**
❍ **LPモードでの録画／再生は、テープの特性や使用環境に影響されやすく、再生時、画面にモザイク状のノイズが発生したり、音声が途切れたりする場合があります。**
大切な撮影にはSPモードをお使いください。

❍ 本機でLPモードで録画したテープをほかのデジタルビデオ機器で再生したり、ほかのデジタルビデオ機器でLPモードで録画したテープを本機で再生すると、画像が乱れたり、音声が途切れたりすることがあります。
❍ テープの途中でSPとLPを切り換えて録画すると、切り換え部分で再生画像が乱れます。また、タイムコードが正しく更新されないことがあります。

風音を低減して撮る（ウィンドカット）

風の影響を受ける屋外で撮影する際、風の「ボコボコ」という音の影響を自動的に低減できます。
風の影響を受けない場所や低い音まで収録する場合は、切ることもできます。

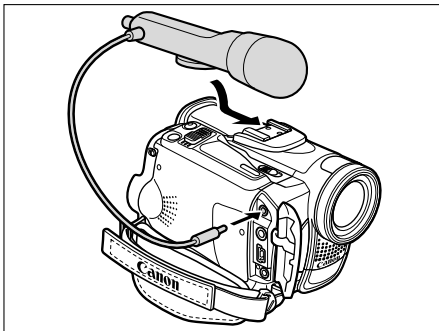
カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

① メニューボタンを押す
②「オーディオ設定」➤「ウィンドカット」➤ 設定内容を順に選ぶ
- 設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。

③ メニューボタンを押す
- 「切」を選ぶと「WカットOFF」の表示が出ます。

❍ 撮影時だけでなく、再生（VTR）モードでアフレコをするときにも、ウィンドカット機能は切り換えできます。（「オーディオ設定」サブメニューで「アフレコ入力」を「マイク入力」に設定しているとき）
❍ 内蔵マイク以外では、ウィンドカット機能は使用できません。

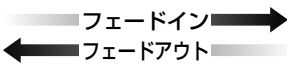
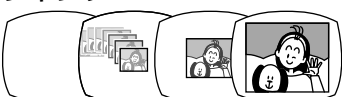
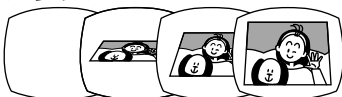
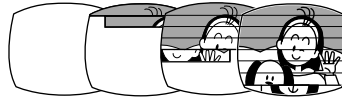
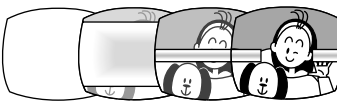
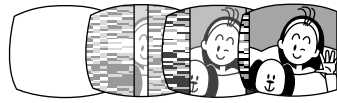
外部マイクを使う

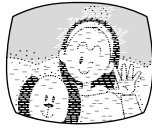
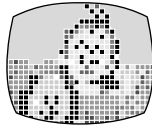
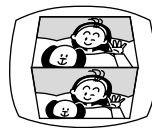
本機のアクセサリーシューに、別売の指向性ステレオマイクロホンDM-50や市販のマイクを取り付けられます。
詳しくはマイクの使用説明書をご覧ください。

取り付けかた

❶ マイクをアドバンストアクセサリーシューに取り付ける

❷ 市販のマイクの場合は、MIC端子に接続する

❍ **静かな場所で撮影するときは**

内蔵マイクが本体の振動をひろってしまうことがあります。このような場合には、外部マイクをお使いになることをおすすめします。

❍ **市販のマイクを使うときには**

- 電源内蔵タイプのマイク（コンデンサーマイク）をご使用ください。端子がφ3.5mmのステレオマイクであれば、ほとんどのマイクを接続することが可能ですが、マイクにより音量レベルは内蔵マイクと異なります。
- 長いマイクを使うと、マイクが画面に映ることがあります。

場面の切り換えと特殊効果（デジタルエフェクト）

3種類のデジタルエフェクト機能があります。撮影時だけでなく、再生時にも使用できます。

フェーダー： テレビや映画のように画面と画面の切り換えができます（📖 64）。

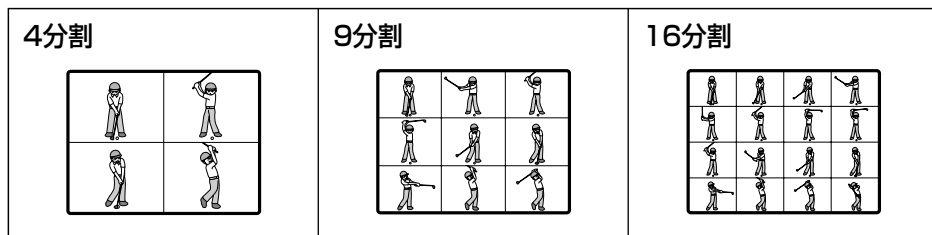
	フェードイン：白い画面から徐々に映像と音声を出す。 **フェードアウト：映像と音声を徐々に消す。**
オートフェード 	白い画面から、撮影している映像と音声が徐々にあらわれます。 撮影している映像が徐々に白くなり、映像と音声が消えます。
ワイプ 	白い画面が左右に割れて映像があらわれ、音声も聞こえるようになります。 左と右から白い部分が映像を覆い、画面が完全に白くなり、音声も消えます。
コーナーワイプ 	白い画面の角（コーナー）から映像があらわれて、音声も聞こえるようになります。 画面の角（コーナー）から白い部分が映像を覆い、画面が完全に白くなり、音声も消えます。
ジャンプ 	白い画面の左から、小さな画面があらわれて、ジャンプして画面の中心に来て、大きくなり、音声も聞こえるようになります。 画面が小さくなり、最後に小さくなった画面が左にジャンプして消え、音声も消えます。
フリップ 	白い画面に映像が回転（フリップ）してあらわれ、音声も聞こえるようになります。 映像が回転（フリップ）し、周囲の白い部分が画面を覆い、音声も消えます。
パズル 	白い画面に映像が16分割されてあらわれ、パズルのように動いて映像ができあがり、音声も聞こえるようになります。 映像が16分割され、パズルのように動いて白い画面になり、音声も消えます。
ジグザグ 	白い画面の上から、ジグザグに映像があらわれ、音声も聞こえるようになります。 画面の下から白い部分がジグザグにあらわれて、音声も消えます。

ビーム	白い画面が光の帯（ビーム）になり、映像があらわれ、音声も聞こえるようになります。
	画面の真中に光の帯（ビーム）があらわれ、上下に広がって、画面を覆い、音声も消えます。
タイド	白い画面の左右が波（タイド）のようにゆれながら映像があらわれ、音声も聞こえるようになります。
	画面の左右が波（タイド）のようにゆれて白い部分に覆われ、音声も消えます。

エフェクト：色を変えたり、特殊効果を加えることができます（📖 66）。

アート	シロクロ	セピア
映像に絵画調の着色効果を加えます。	画面が白黒になります。	画面がセピアの色調になります。
モザイク 画面全体がモザイクでおおわれたようになります。	**ボール** 映像が丸くボールのようになります。	**キューブ** 映像が立方体（キューブ）になり、画面の中で回転します。
ウェーブ 映像の左右の端が波のようにゆれます。	**カラーマスク** 画面がひし形で覆われ、色が変わります。	**ミラー** 画面の真中に鏡を立てたようになります。

マルチ画面：画面を4／9／16分割して、静止画を表示します。また、静止画にして取り込むスピードを選択できます（🕮 68）。

4分割	9分割	16分割

電源スイッチや撮影モードによって、使用できる機能が異なります。

	カメラモード		再生（VTR）モード	カードカメラモード	カード再生モード
	動画	静止画			
フェーダー	○	×	○	×	×
エフェクト	○	×	○	「シロクロ」のみ	×
マルチ画面	○	×	○	×	×

○：使用できます。×：使用できません。

フェーダーの操作のしかた

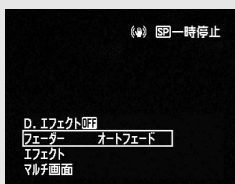
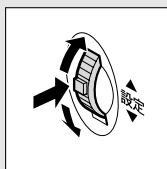
フェードイン：撮影一時停止中または再生一時停止中に設定する
フェードアウト：撮影中または再生中に設定する

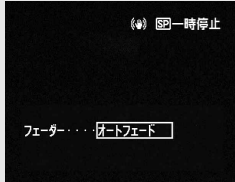
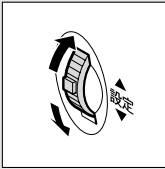
撮影時にフェーダーを使用するときは、撮影モード切換スイッチをⓅにします。

カメラモード　再生(VTR)モード　|　カードカメラモード　カード再生モード

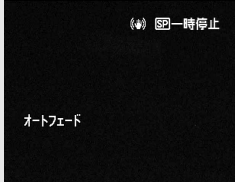
1 デジタルエフェクトボタンを押す

- デジタルエフェクトメニューが出ます。

2 「フェーダー」を選ぶ

- 設定ボタンを上／下に押して「フェーダー」を選び、まっすぐ押します。

3 種類を選ぶ

①設定ボタンを上／下に押して、設定するフェーダーの種類を選びます。

②デジタルエフェクトボタンを押すと、メニューが消え、選んだフェーダー表示が点滅します。

4 ① 入/切ボタンを押す

- 表示が点灯に変わります。
- 入/切ボタンをもう一度押すと、フェーダーは解除されます。

② **カメラモードの場合**

フェードイン 撮影一時停止中

フェードアウト 撮影中

スタート/ストップボタンを押す

- フェードインの場合：撮影が始まり、映像が徐々に現れます。
- フェードアウトの場合：映像が徐々に消えて、撮影一時停止になります。

再生（VTR）モードの場合

フェードイン 再生一時停止中

再生ボタンを押す

- フェードインの場合：再生が始まり、映像が徐々に現れます。

フェードアウト 再生中

一時停止ボタンを押す

- フェードアウトの場合：映像が徐々に消えて、再生一時停止になります。

応用編 撮る

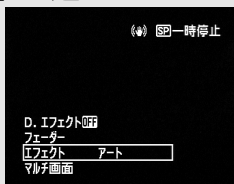
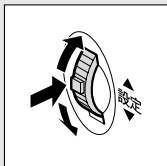
エフェクトの操作のしかた

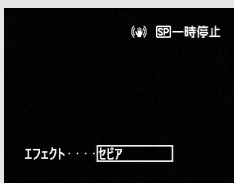
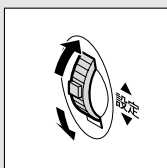
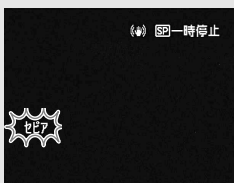
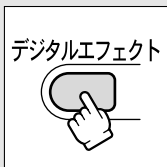
音声はそのまま記録されます。
撮影時にエフェクトを使用するときは、撮影モード切換スイッチをPにしてください。

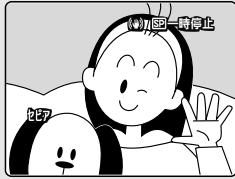
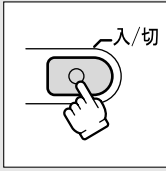
カメラモード　再生(VTR)モード　｜　カードカメラモード　カード再生モード

1 デジタルエフェクトボタンを押す

- デジタルエフェクトメニューが出ます。

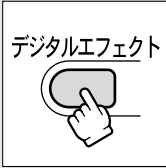
2 「エフェクト」を選ぶ

- 設定ボタンを上／下に押して「エフェクト」を選び、まっすぐ押します。

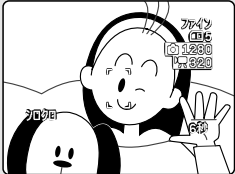
3 種類を選ぶ

①設定ボタンを上／下に押して、設定するエフェクトの種類を選びます。

②デジタルエフェクトボタンを押すと、メニューが消え、選んだエフェクト表示が点滅します。

4 入/切ボタンを押す

- 表示が点灯に変わり、画面がその効果になります。再生（VTR）モードの場合、テープを再生してから、入/切ボタンを押します。
- 入/切ボタンをもう一度押すと、画面のエフェクト効果は解除されます。

カードカメラモードでは、「シロクロ」のみ使用できます。

カメラモード　再生(VTR)モード　**カードカメラモード**　カード再生モード

1 デジタルエフェクトボタンを押す

- 「シロクロ」が点滅します。

2 入/切ボタンを押す

- 表示が点灯に変わり、画面が白黒になります。

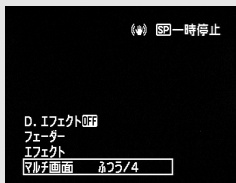
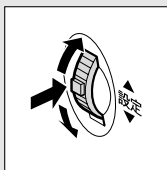
マルチ画面の操作のしかた

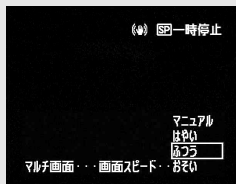
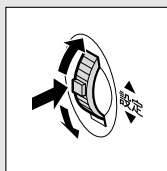
マルチ画面は、遊園地やスポーツシーンなどで動いている被写体を一度に最大16画面連続して表示できます。テニスやゴルフのスイングなどをチェックするときに便利です。音声はそのまま記録されます。
分割する画面数（4／9／16）や静止画にして取り込むスピード（マニュアル／はやい／ふつう／おそい）を選べます。
撮影時にマルチ画面を使用するときは、撮影モード切換スイッチを P にします。
再生時にマルチ画面を使用するときは、再生一時停止にします。「画面スピード」が「マニュアル」のときは、スロー再生中にも使用できます。

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

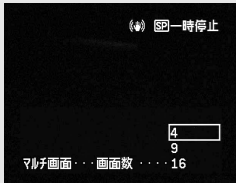
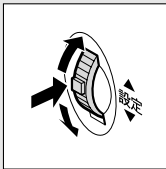
1 デジタルエフェクトボタンを押す

- デジタルエフェクトメニューが出ます。

2 「マルチ画面」を選ぶ

- 設定ボタンを上／下に押して、「マルチ画面」を選び、まっすぐ押します。

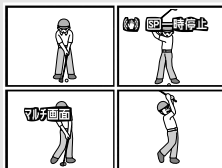
3 取り込みスピードを選ぶ

①設定ボタンを上に押して、「画面スピード」を選び、まっすぐ押します。
②設定ボタンを上／下に押して、設定するスピードを選び、まっすぐ押します。

- 画面を取り込むスピードの目安は、次のとおりです。
  - ・マニュアル：手動で映像を取り込む
  - ・はやい：4フレームごと
  - ・ふつう：6フレームごと（ローライトモード時は、8フレームごと）
  - ・おそい：8フレームごと（ローライトモード時は、12フレームごと）
- デジタルエフェクトメニューに戻ります。

4 画面数を選ぶ

①2、3の操作をくり返します。

- 3ー①で「画面数」を選びます。
- 3ー②で4、9、16のいずれかを選びます。

②デジタルエフェクトボタンを押すと、メニューが消え、「マルチ画面」が点滅します。

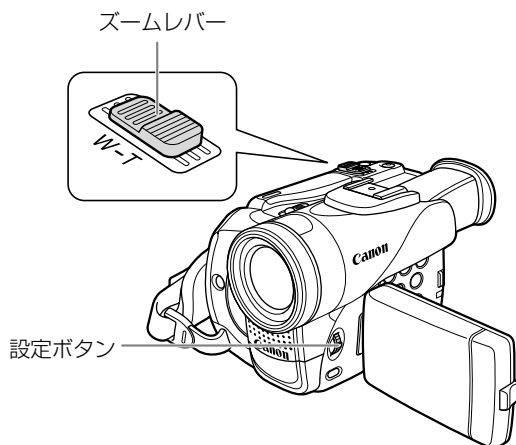
5 入/切ボタンを押す

- 表示が点灯に変わります。
- 画面スピードが「マニュアル」以外の場合：選んだスピードで選んだ画面数の画像を取り込みます。入/切ボタンを押すと、マルチ画面は解除されます。
- 画面スピードが「マニュアル」の場合：入/切ボタンを押すごとに画像を取り込みます。最後の画面が取り込まれると水色の枠が消えます。
  入/切ボタンを1秒以上押し続けると、最後の映像から順に解除されていきます。

❍ デジタルエフェクトを使用しないときは、「OFF」に設定します。
  ① デジタルエフェクトボタンを押して、デジタルエフェクトメニューを出す。
  ② 設定ボタンで「D.エフェクト OFF」を選び、デジタルエフェクトボタンを押す。
❍ 一度設定したデジタルエフェクトは、電源を切ったり、撮影モードを変更しても憶えています。
❍ 次の場合、デジタルエフェクトは使用できません。
  ・撮影モードを□（全自動）にしているとき。
  ・DVケーブルを接続し、テープを再生してダビングするとき（DV出力）。
○ カードミックスを実行しているときにはフェーダーは使用できません。

マルチ画面について

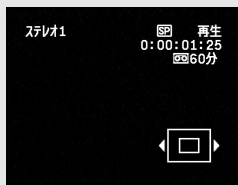
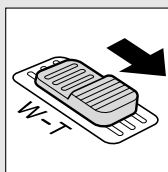
○ 次の場合、マルチ画面は使用できません。
  ・ナイトモードを設定しているとき。
  ・「16：9」を「入」に設定しているとき。
  ・カードミックスを実行しているとき。
❍ マルチ画面スピードが「マニュアル」以外の場合、再生（VTR）モードでマルチ画面を取り込んでいるときに、テープの走行で使う操作ボタン（再生/一時停止ボタンなど）を押したり、日付サーチ（リモコン操作）をすると、マルチ画面は解除されます。

再生中に画面を拡大する（再生ズーム）

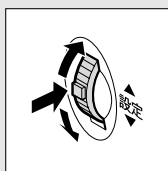
再生中に、画面を5倍まで拡大できます。また、拡大する位置を上下、左右に移動できます。

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

1

再生中

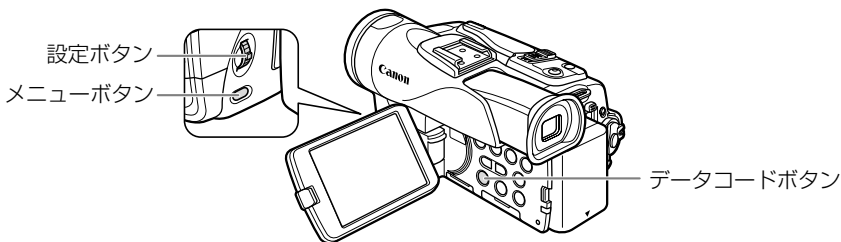
ズームレバーをT側に引く

- 画面中央が2倍に拡大され、拡大している位置を示す枠が出ます。
- さらに拡大するときは、ズームレバーをT側に引きます。縮小するときは、ズームレバーをW側に押します。拡大する倍率に合わせて、枠の大きさが変わります。

2

設定ボタンを上／下に押す

- 画面が移動します。
- 設定ボタンをまっすぐ押すと、画面の移動する方向（上下または左右）を切り換えられます。
- 拡大している枠が消えるまで、ズームレバーをW側に押すと、画面は元に戻ります。

カード再生モードでカード動画再生中は、画面を拡大できません。

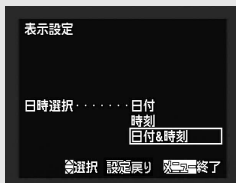
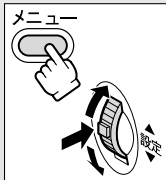
再生時に日時、カメラデータを表示する（データコード）

本機では、撮影時の日付／時刻とカメラデータ（シャッタースピードと絞り値（F値））が自動的に記録されます。
撮影時の日付／時刻、カメラデータを「データコード」といいます。
テープを再生するときには、データコードの内容を選んで表示できます。

応用編

再生する

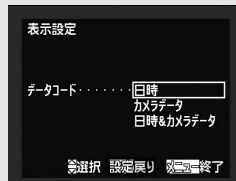
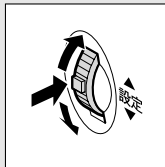
日時の表示内容を選ぶ（日付／時刻／日付＆時刻）

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

1 表示内容を選ぶ

①メニューボタンを押す
②「表示設定」➤「日時選択」➤ 設定内容を順に選ぶ
・設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
- 「表示設定」サブメニューに戻ります。
- カード再生モードのとき、3の操作へ進んでください

データコードの表示内容を選ぶ

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

2 表示内容を選ぶ

①「表示設定」➤「データコード」➤ 設定内容を順に選ぶ
・設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
- 「表示設定」サブメニューに戻ります。

②メニューボタンを押す

次のページへ

データコードを表示する

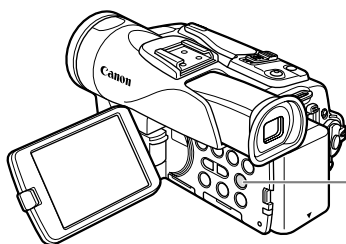
カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

3 データコードを表示する

- テープを再生し、データコードボタンを押します。
- カード再生モードでは、データコードボタンを押すと、日付／時刻のみ表示されます。

データコードの表示は、一度、電源を切ると「切」になります。

テープに撮影した最後の場面を探す（エンドサーチ）

テープを再生した後に、最後に撮影した場面から続けて撮影したいときに使います。

カメラモード　**再生(VTR)モード**　カードカメラモード　カード再生モード

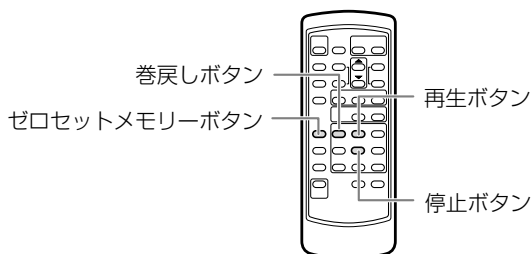
1　テープ停止中

エンドサーチボタンを押す

- 「エンドサーチ」の表示が出ます。
- テープが早送り／巻戻しされ、最後に撮影した場面が数秒間再生された後に停止します。
- エンドサーチ中にもう一度ボタンを押すと、中止します。

❍ 一度テープを取り出すと、エンドサーチは使用できません。
❍ テープの途中に未記録部分があると、エンドサーチが正しく働かないことがあります。
❍ アフレコを行ったときの最後の場面について、エンドサーチは使用できません。

見たい場面にすばやく戻る(ゼロセットメモリー)

あとでもう一度見たいと思う場面があったときに、ゼロセットメモリーを設定しておくと、早送りまたは巻戻しをしたときに、設定した場面で自動的に停止します。リモコンで操作します。

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

1

再生中

ゼロセットメモリーボタンを押す

- あとで見たい場面が出てきたら、ゼロセットメモリーボタンを押します。
- カウンター表示が「0：00：00」になり、「M」の表示が出ます。
- ゼロセットメモリーボタンをもう一度押すと、設定が解除されます。

2

再生が終わったら、停止ボタンを押す

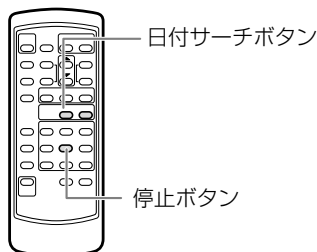
3

巻戻しボタンを押す

- カウンター表示に「－」がついているときは早送りボタンを押します。
- カウンター表示が「0：00：00」付近で自動的に停止します。カウンター表示がタイムコードに戻り、「M」が消えます。

タイムコードが連続して記録されていないと、ゼロセットメモリー機能が正しく働かないことがあります。

撮影した日の変わり目を探す（日付サーチ）

撮影時の日付／時刻を自動的に記録するデータコード（ 71）を使って、撮影時の日付の変わり目を探せます。世界時計でエリアを設定したときには、エリアの変わり目もサーチします。リモコンで操作します。

カメラモード　**再生(VTR)モード**　カードカメラモード　カード再生モード

1 日付サーチ |◀◀／▶▶| ボタンを押す

- 押した数だけ前／後ろの日付の変わり目（最多10）の頭出しになります。
- サーチを止めるときは、停止■ボタンを押します。

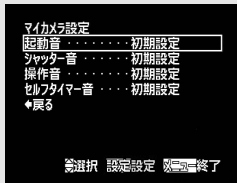
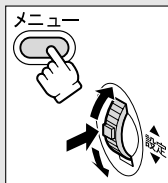
❍ 日付サーチを行うときは1日/1エリア当たり1分以上の記録部分が必要です。
❍ データコードが正しく表示されていないときは、日付サーチは正しく動作しません。

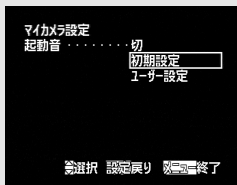
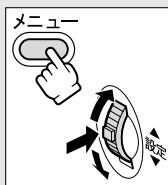
マイカメラ機能を使う

本機では、起動画面と起動音、シャッター音、操作音、セルフタイマー音の設定（マイカメラ）を変更できます。また、起動画面を作成できます（📖 125）。

マイカメラの設定を変える

カメラモード　再生(VTR)モード　|　カードカメラモード　カード再生モード

1 項目を選ぶ

①メニューボタンを押す
②「マイカメラ設定」➤ 設定内容を順に選ぶ
・ 設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
● 起動画面を選択するときは、カード再生モードにします。

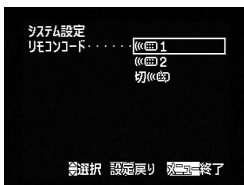
2 設定内容を選ぶ

①設定ボタンを上／下に押して設定内容を選ぶ
・「切、初期設定、ユーザー設定」の選択画面になります。
カード再生モードで「起動画面選択」を選ぶと、「切、CANONロゴ、ユーザー設定」の選択画面になります。
・ 選んだ音や起動画面が確認できます。メニューで「おしらせ音」が「切」のときは、音は確認できません。
②メニューボタンを押す

設定内容の中にある「ユーザー設定」では、付属のソフトウェア（ZoomBrowser EXまたはImageBrowser）を使ったり、CANON iMAGE GATEWAYからダウンロードすることで、新しい起動画面や音を登録して変更できます。詳しくは、Digital Video Software使用説明書をご覧ください。

2台のキヤノンビデオカメラを操作する（リモコンコード）

キヤノン製のほかのビデオカメラもお使いになっているときは、2台のリモコンコードを別にしてお使いください。
ご購入時には、リモコンコードは「1」に設定されています。誤動作を防ぐためにはリモコンコードを「2」に変更してください。「切」を選ぶと、リモコンの信号を受け付けません。
本機のリモコンコードの設定（受信コード）を変更したら、必ずリモコンも設定（送信コード）を変更してください。

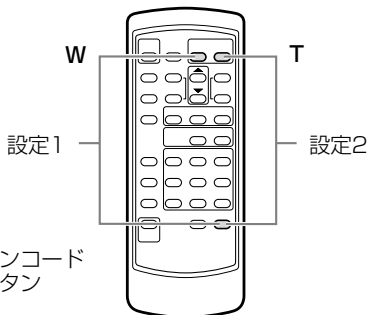
本機の受信コードを変更する

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

① メニューボタンを押す
② 「システム設定」➤「リモコンコード」➤ 設定内容を順に選ぶ
・設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
③ メニューボタンを押す
・選んだ設定内容の表示が出ます。「1」と「2」は、約4秒後に消えます。

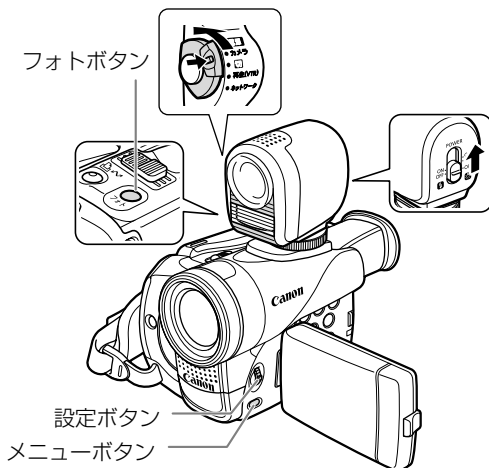
リモコンの送信コードを変更する

本機とリモコンで設定されているリモコンコードが異なる場合には、リモコンは使用できません。リモコンコード設定ボタン以外のボタンを押すと、画面に本機で設定されているリモコンコードが4秒間、点滅して表示され、確認できます。

設定1にする
リモコンのリモコンコード設定ボタンを押しながら、Wボタンを約2秒間押します。

設定2にする
リモコンのリモコンコード設定ボタンを押しながら、Tボタンを約2秒間押します。

❍ リモコンコードの設定を確認しても、リモコンで操作できない場合には、リモコンの電池を交換してください。
❍ 電池を交換すると、リモコンは「1」に戻ります。必要に応じて、再度設定し直してください。

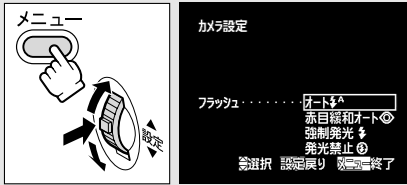
別売のビデオフラッシュライトVFL-1を使う

別売のビデオフラッシュライトVFL-1を本機のアドバンストアクセサリーシューに取り付けます。
ビデオフラッシュライトVFL-1はビデオライトとフラッシュの2つの機能があります。夜や室内など、周囲が暗い場所でもきれいに撮影できます。
フラッシュモードでは、メニューで発光のしかたを設定できます。
ビデオライトは、動画、静止画で、フラッシュは静止画で使用します。
取り付けかた、ビデオライトの使いかたについては、ビデオフラッシュライトVFL-1の使用説明書をご覧ください。

フラッシュの設定を変える

オート⚡A	被写体の明るさによって、自動的に発光します。
赤目緩和オート👁	「オート」に加えて、撮影前、赤目緩和用にフラッシュが発光します。
強制発光⚡	被写体の明るさに関係なく、発光します。
発光禁止⚡	発光しません。フラッシュ撮影が禁止されている場所などで撮影するときに使います。

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

1 ビデオフラッシュライトの電源スイッチを「⚡ON」にする

2 フラッシュの設定を選ぶ

① メニューボタンを押す
②「カメラ設定」➤「フラッシュ」➤設定内容を順に選ぶ
- 設定ボタンを上／下に押して項目を選び、設定ボタンをまっすぐ押します。

③ メニューボタンを押す
- 選んだ設定の表示が出ます。「⚡^{A}」のみ、約4秒後に消えます。

❍ フラッシュ撮影可能距離は、約1～2mです。撮影条件により、距離は変わります。

❍ カメラモードでは、「静止画記録」が「切」以外で、撮影一時停止のときに、フラッシュが使用できます。

❍ 連写では、フラッシュの光量が減りますので、被写体に近づいて撮影することをおすすめします。

❍ ビデオフラッシュライトVFL-1のフラッシュ発光時、連写／高速連写は約2枚/秒になります。

❍ 被写体の明るさによって、フラッシュの発光量を調整します（フラッシュ調光）。静止画撮影時のフラッシュ発光（本発光）の前に、調光用の発光を行います。「赤目緩和オート◎」を選んでいる場合、赤目緩和用の発光と本発光の間に調光します。

❍ 次の場合、フラッシュは発光しません。
・「オート⚡^{A}」と「赤目緩和オート◎」で、露出ボタンを押して露出をロックしているとき。
フラッシュの表示が紫色になる：
・ドライブモードでAEBを選んでいるとき。
・カメラモードで、シャッタースピードを1/2000秒の高速シャッターに設定しているとき。ただし、「強制発光⚡」の場合、シャッタースピードは「1/1000」になり、フラッシュは発光します。
フラッシュの表示が赤く点滅する：
・フラッシュの充電中に異常があるとき。
フラッシュの表示が消える：
・マルチ画面を設定しているとき。
・動画をテープに記録しているとき。
・カメラモードで「静止画記録」を「切」にしているとき。

❍ 付属のワイドアタッチメントや別売のワイドコンバーターやテレコンバーターをお使いのとき、フラッシュを発光することをおすすめしません。ワイドアタッチメントやテレコンバーターなどの影が映ります。

❍ 次の場合は、フラッシュの設定を変更できません。
・露出ボタンを押して露出をロックしているとき。
・スティッチアシストモードで2枚目以降を撮影しているとき。

❍ スティッチアシストモードでは「赤目緩和オート◎」は選べません。

次のページへ

❍ AF補助光について

ビデオフラッシュライトを使って静止画を撮影するとき、ピントを合いやすくするために、被写体の明るさによってAF補助光が点灯します。AF補助光は、フォトボタンを浅く押したまま、ピントを手動で調整すると点灯します。点灯後、しばらくすると消えます。

・AF補助光が点灯しても、自動ではピントが合わないことがあります。
・AF補助光は明るく点灯します。レストランや劇場などの公共の場所では、周囲への配慮を心がけてください。
・フラッシュが禁止されている場所では、「AF補助光」を「切」にしてください。

ほかのビデオデッキへ録画する

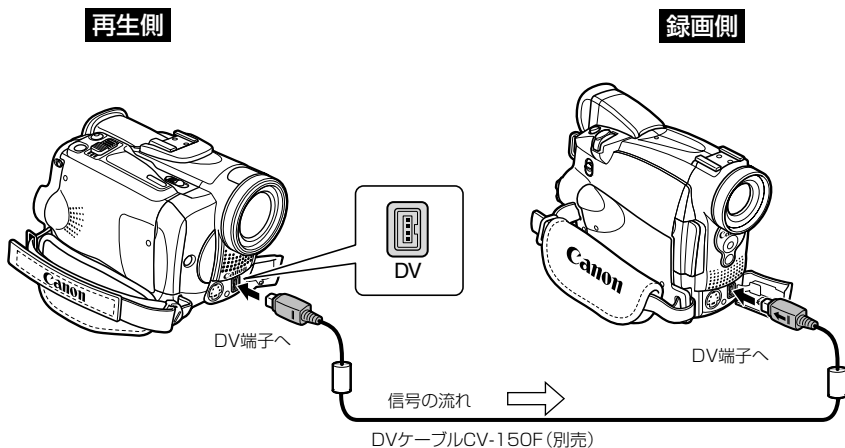
本機を再生機として、ビデオデッキを録画機として使うことで、本機で撮影したテープをダビング編集できます。また録画側のビデオがDV端子付きのデジタルビデオの場合は、デジタル信号のまま、画質、音質劣化のほとんどないダビング編集ができます。

接続のしかた

① 映像/音声端子付きビデオ／S（S1）-映像端子付きビデオへ録画する

接続のしかたは、📖 40をご覧ください。

② DV端子付きビデオへ録画する

接続するほかの映像機器の使用説明書もあわせてご覧ください。

操作のしかた

カメラモード　**再生(VTR)モード**　カードカメラモード　カード再生モード

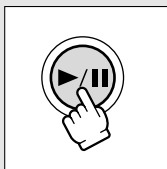
1 **本機** 再生（VTR）モードにする

- 再生するカセットを入れます。
- 映像/音声端子を使うときは、設定を確認します（📖 40）。

2 **録画機** 録画用カセットを入れ、録画一時停止状態にする

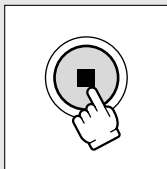
次のページへ

3 **本機** **巻戻しボタン／早送りボタンを押して、再生を始める少し手前の位置を探す**

4 **本機** **再生ボタンを押す**

● 再生が始まります。

5 **録画機** **録画を開始する場面で、録画を始める**

6 **録画機** **録画を終える**

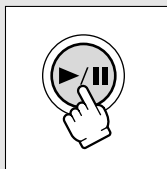
7 **本機** **停止ボタンを押す**

● 再生が終わります。

❍ DV端子のないビデオ機器へダビングした映像は、多少画質が劣化します。

DV端子付きビデオへ録画する場合

❍ DVケーブルを正しく接続していても、映像が出ないことがあります。このようなときはDVケーブルを接続し直すか、電源を入れ直してください。

❍ DV（IEEE1394）端子を持つすべてのビデオ機器との接続を保証するものではありません。正しく動作しない場合は、S-映像端子、映像／音声端子を使用してください。

ほかのビデオやテレビの画像を録画する(アナログ入力)

本機を録画機として使用して、ほかのビデオの画像やテレビ番組をダビングしたり、編集することができます。

接続のしかた

映像/音声端子付きビデオから録画する

接続するほかの映像機器の使用説明書もあわせてご覧ください。
S-映像端子付きビデオと接続することもできます（🕮 41）。

操作のしかた

カメラモード　**再生(VTR)モード**　カードカメラモード　カード再生モード

1 **本機** **再生（VTR）モードにする**

- 録画用カセットを入れます。

2 **再生機** **再生するカセットを入れる**

3 **本機** **録画一時停止ボタンを押す**

- 録画一時停止中／録画中は、画面で映像を確認できます。

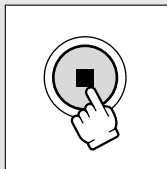
次のページへ

編集する

4 再生機 **再生を始める**

5 本機 **録画を開始する場面で、一時停止ボタンを押す**

- 録画が開始されます。

6 本機 **停止ボタンを押す**

- 録画が終わります。
- 一時停止したいときは、一時停止ボタンを押します。録画を再開したいときは、もう一度押します。

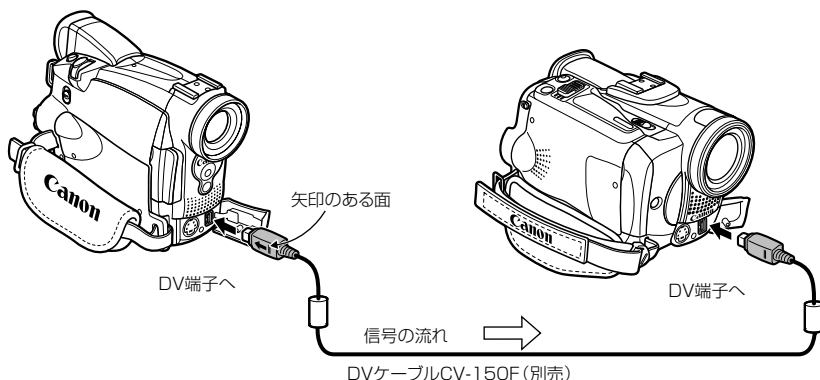
7 再生機 **再生を終える**

アナログ入力をするとき、ヘッドホンは使用できません。

DV端子付きビデオから録画する

本機と、DV端子を持つほかのビデオ機器をDVケーブルで接続し、ダビング編集できます。

接続のしかた

接続するほかの映像機器の使用説明書もあわせてご覧ください。

操作のしかた

カメラモード　**再生(VTR)モード**　カードカメラモード　カード再生モード

1 **本機** **再生（VTR）モードにする**

- 録画用カセットを入れます。
- 「AV入力→DV出力」の設定が「切」になっていることを確認します（📖87）。

2 **再生機** **再生するカセットを入れる**

3 **本機** **録画一時停止ボタンを押す**

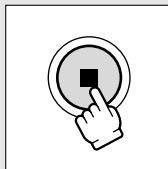
- 録画一時停止中／録画中は、画面で映像を確認できます。

次のページへ

4 再生機 **再生を始める**

5 本機 **録画を開始する場面で、一時停止ボタンを押す**

- 録画が開始されます。

6 本機 **停止ボタンを押す**

- 録画が終わります。
- 一時停止したいときは、一時停止ボタンを押します。録画を再開したいときは、もう一度押します。

7 再生機 **再生を終える**

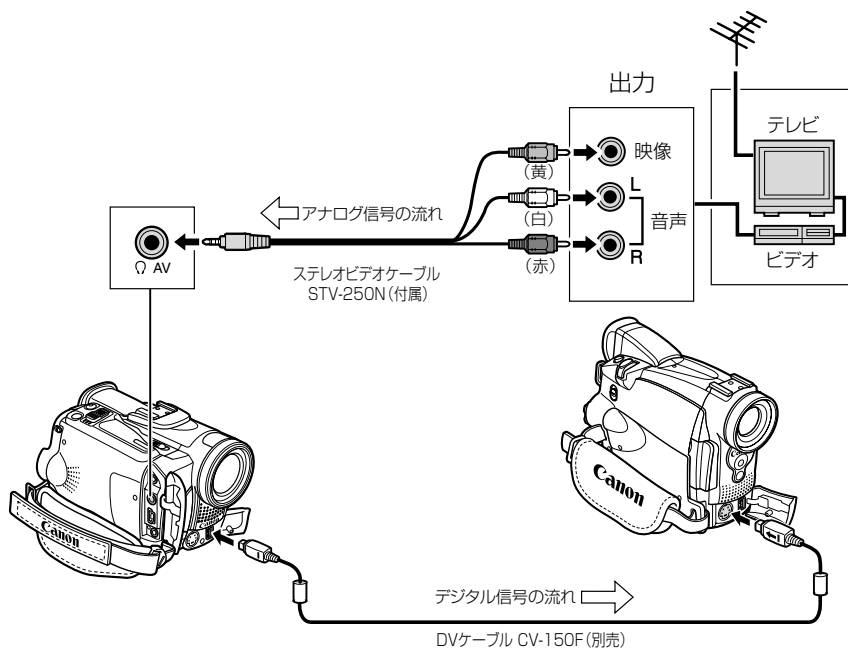
❍ 再生機がテープの無記録部分を再生すると、異常な映像が記録されることがあります。
❍ DVケーブルを正しく接続していても、映像が出ないことがあります。このようなときはDVケーブルを接続し直すか、電源を入れ直してください。
❍ DV端子から入力して本機で記録できる信号は、DV方式のSD方式で、SPまたはLPモードで記録された場合のみです。

アナログ入力した映像と音声をデジタルビデオ機器に出力する(アナログ−デジタル変換)

本機にビデオデッキや8ミリビデオカメラを接続すると、アナログ信号の映像と音声を瞬時にデジタル信号に変換して、DV端子から出力できます。このとき、DV端子は出力専用の端子になります。

接続のしかた

映像/音声端子付きビデオから録画する

接続は、各機器の電源を切って行います。DVカセットは、本機から取り出しておきます。接続するほかの映像機器の使用説明書もあわせてご覧ください。

S-映像端子付きビデオと接続することもできます（📖41）。

設定のしかた

カメラモード | **再生(VTR)モード** | カードカメラモード | カード再生モード

① メニューボタンを押す

② 「VTR設定」➤「AV入力→DV出力」➤ 設定内容を順に選ぶ

・設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。

③ メニューボタンを押す

・「入」を選ぶと、「AV→DV」の表示が出ます。

- アナログ－デジタル変換をするとき、ヘッドホンは使用できません。
- 接続した製品からのアナログ信号によっては、正しくデジタル変換されない場合があります。
  例：著作権保護信号入りのアナログ信号、ゴーストなどを含む乱れたアナログ信号等
- 通常は「AV入力→DV出力」を「切」に設定しておいてください。「入」に設定していると、本機のDV端子からデジタル信号を入力できません。
- DV（IEEE1394）端子付きのパソコンに接続する場合、使用するソフトウェア、パソコンの設定などによっては、デジタル変換された映像と音声をパソコンで表示したり、取り込めないことがあります。

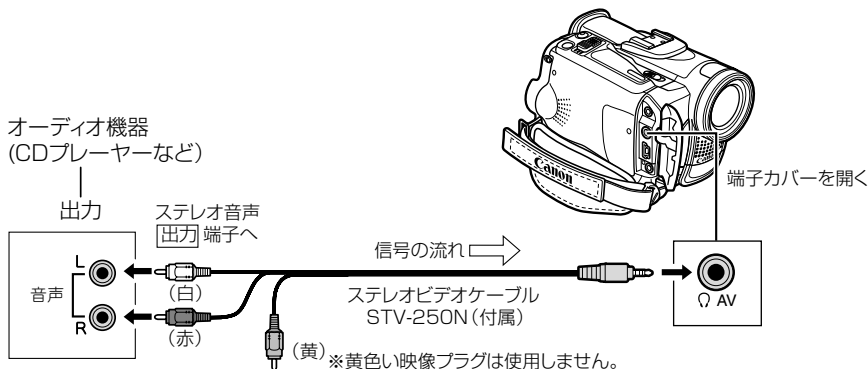
- コンパクトパワーアダプターを使って、家庭用コンセントから電源をとることをおすすめします。
- リモコンでも操作できます。リモコンのAV→DVボタンを押します。ボタンを押すたびに、「入」と「切」を切り換えられます。

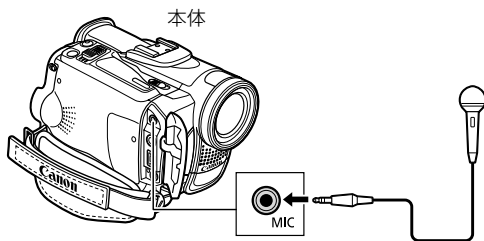
撮影したテープに音声を追加する（アフレコ）

本機は、撮影したテープにあとから音声を追加することができます。CDプレーヤーなどのオーディオ機器などから録音したり（音声入力）、本機の内蔵マイク、または外部マイクを使って音声を録音します（マイク入力）。リモコンで操作します。

接続のしかた

① 映像／音声端子に接続してアフレコする場合（音声入力）

接続する機器の使用説明書もあわせてご覧ください。

② マイクを使ってアフレコする（マイク入力）

市販の外部マイクを使うとき➡マイク端子に接続する。
内蔵マイクを使うとき➡マイク端子にはなにも接続しない。

操作のしかた

カメラモード　**再生(VTR)モード**　カードカメラモード　カード再生モード

1 本機に撮影済みカセットを入れる

- 本機で、SPモード、オーディオ12bitで記録したテープを使用します。

2 再生（VTR）モードにする

次のページへ

編集する

3 アフレコする方法を選ぶ

①メニューボタンを押す
②「オーディオ設定」➤「アフレコ入力」➤設定内容を順に選ぶ
・ 設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
③メニューボタンを押す

4 再生ボタンを押して、音声を追加する場面の開始位置を探す

- 音声を追加する場面を探すときに、いろいろな再生機能を使うと便利です（📖 37）。

5 一時停止ボタンを押す

6 リモコンのアフレコボタンを押す

- 「アフレコ」の表示が出ます。

7 一時停止ボタンを押す

- アフレコが始まります。
- 「マイク入力」を選んだときは、マイクに向かって話してください。
「音声入力」を選んだときは、オーディオ機器を再生してください。

8 アフレコを終了する位置で、停止ボタンを押す

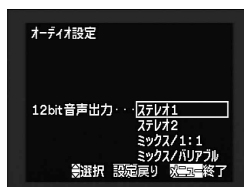
- ❍ 本機で、SPモード、オーディオ12bitで記録したテープを使用してください。
  テープの途中に、無記録部分やLPモード、16bitで記録された部分があると、アフレコが中断されます。
- ❍ DV端子を使ってアフレコはできません。
- ❍ ほかのビデオカメラで録画されたテープでアフレコした場合、音質が劣化することがあります。
- ❍ テープの同じ場所で3回以上くり返してアフレコを行うと、音質が劣化することがあります。

- ❍「音声入力」の場合、液晶画面で画像を確認できます。S-映像端子を使って接続したテレビでも確認できます。アフレコする音声は、内蔵スピーカーで確認できます。
- ❍「マイク入力」の場合、映像/音声端子を使って本機をテレビに接続すると、映像のみテレビで確認できます。S-映像端子を使ってテレビに接続すると、映像はテレビで、音声は本機に接続したヘッドホンで確認できます。
- ❍ あらかじめアフレコを終了したい位置でゼロセットメモリーボタンを押してからアフレコすると、その位置で自動的に停止します。

アフレコした音声を再生する(12bit記録テープ)

撮影時の音声とアフレコした音声を切り換えられます。また、2つの音声を同時に再生することもできます。

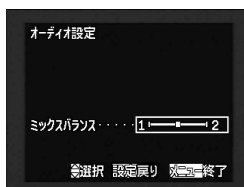
ステレオ1	撮影時の音声のみ再生する
ステレオ2	アフレコされた音声のみ再生する
ミックス／1：1	ステレオ1とステレオ2を同じバランスで再生する
ミックス／バリアブル	ステレオ1とステレオ2の音声のバランスを変えて再生する

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

①メニューボタンを押す
②「オーディオ設定」➤「12bit音声出力」➤ 設定内容を順に選ぶ
・設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
③メニューボタンを押す
・選んだ設定内容の表示が出ます。

または

リモコンの12bit音声出力ボタンを押します。
● ボタンを押すたびに、表示が変わります。

ミックス／バリアブルを選んだ場合

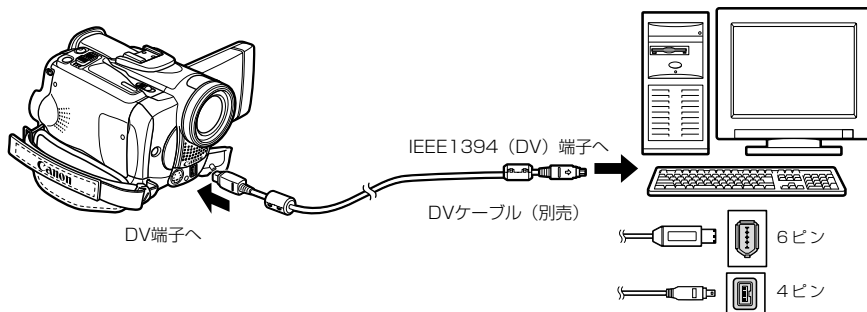
カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

①メニューボタンを押す
②「オーディオ設定」➤「ミックスバランス」を順に選ぶ
・設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
・ステレオ1とステレオ2のバランスは、設定ボタンを上／下に押して調整します。
③メニューボタンを押す

一度調整した音声のバランスは電源を切っても憶えていますが、電源を切ると12bit音声出力は「ステレオ1」に戻ります。

DVケーブルを使ってパソコンに接続する（IEEE1394接続）

本機と、IEEE1394（DV）端子を標準で搭載しているパソコン／IEEE1394端子付きキャプチャーボードを搭載したパソコンをDVケーブルで接続すると、本機で記録した画像をパソコンに取り込めます。テープの画像をパソコンに取り込むためには、別途ソフトウェアが必要です。ソフトウェアの使用説明書もあわせてご覧ください。

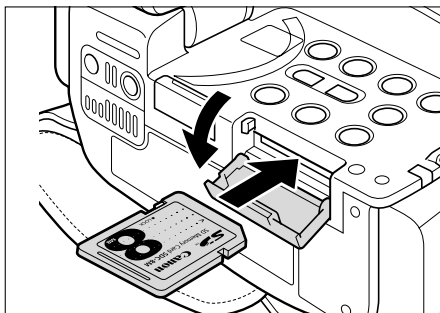
接続のしかた

パソコンのIEEE1394（DV）端子は、4ピンと6ピンがあります。端子の形状に合わせて、別売のDVケーブルCV-150F（4ピン－4ピン）または、CV-250F（4ピン－6ピン）を使います。

- ❍ 使用するソフトウェア、パソコンの仕様／設定などによっては、正しく動作しないことがあります。
- ❍ 本機とパソコンを接続したときにパソコン上で操作できない場合は、DVケーブルを抜き差ししてください。それでも操作できない場合は、次の操作をしてください。
  ① 本機とパソコンからDVケーブルを抜いてから、本機とパソコンの電源を切る。
  ② 本機とパソコンの電源を入れて、本機とパソコンにDVケーブルを接続し直す。
- ❍ カードの画像を読み出したり、カードへ書き込みをしている（ビデオカメラのカード動作ランプが点滅している）ときは、次のことを必ず守ってください。カードのデータを破壊することがあります。
  ・ カードカバーを開けたり、カードを抜かない。
  ・ DVケーブルを抜かない。
  ・ ビデオカメラやパソコンの電源を切らない。
- ❍ カード内およびカードからハードディスクに読み込んで保存した画像は、大切なオリジナルのデータファイルです。画像のファイルをパソコンで操作するときは、まず初めに、必ずファイルをコピーし、コピーした画像を使用してください。

- ❍ コンパクトパワーアダプターを使って、家庭用コンセントから電源をとることをおすすめします。
- ❍ パソコンの使用説明書もあわせてご覧ください。
- ❍ Windows XPをお使いのかたは、付属のDV Network Software（DV Messenger）を使用できます。詳しくは、DV Network Software使用説明書をご覧ください。

カードを入れる／出す

本機は、SDメモリーカード（ SD ）とマルチメディアカード専用です。

カードの入れかた

❶ 電源スイッチを「切」にする

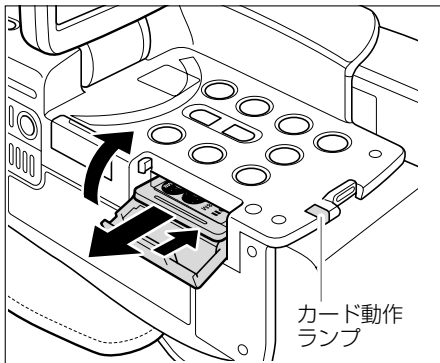
❷ カバーを開ける

❸ カードを奥までしっかり入れる

❹ カバーを閉じる

カードが正しく入っていない状態で、カバーを無理に閉じないでください。

カードの出しかた

カードを抜くときは、無理に出さないで、必ず❸の操作を行ってください。

❶ 電源スイッチを「切」にする

カード動作ランプが消えていることを確認してください。

❷ カバーを開ける

❸ カードの端を押す

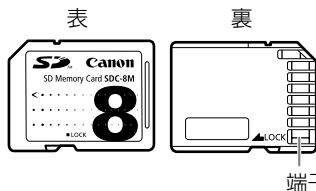
カードが出てきます。

❹ カードを抜く

❺ カバーを閉じる

- 付属のSDメモリーカード以外のカードを使用する際には、本機でフォーマットしてください（📖 124）。
- SDメモリーカードとマルチメディアカード以外のカードは使用できません。
- カードの出し入れは、ビデオカメラの電源を切ってから行ってください。電源を切らずにカードを出し入れすると、故障の原因となることがあります。

SDメモリーカード：小型・軽量で、画像が記録できるカードです。SD（Secure Digital＝著作権保護システム）メモリーカードには、誤消去防止のつまみが付いています。

マルチメディアカード：サイズは、SDメモリーカードとほぼ同じで、本機ではSDメモリーカードと同じ場所に入れて使用できます。

記録時の画質や画像サイズを選ぶ

カードに記録する静止画の画質、静止画／動画の画像サイズを選びます。

静止画画質		スーパーファイン、ファイン、ノーマル
画像サイズ	静止画	1280×960ピクセル、640×480ピクセル
	動画	320×240ピクセル、160×120ピクセル

本機では静止画をJPEG（ジェーペグ）（Joint Photographic Experts Group）方式で圧縮して、また、動画はMotion JPEG（モーション ジェーペグ）方式で圧縮して、記録します。
画質や画像サイズの設定、撮影条件や被写体により、1枚のカードに記録できる静止画の枚数や動画の記録時間は異なります。記録できる枚数や時間の目安は、次のとおりです。サンプル画像が入っている付属のカードの場合は、下記の記録できる枚数や時間よりも少なくなります。

静止画記録できる枚数

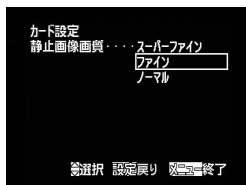
画像サイズ	画質	記録可能枚数		1枚あたりのデータ量
		8MBカード	128MBカード	
1280×960	スーパーファイン	約6枚	約144枚	約850KB
	ファイン	約10枚	約222枚	約550KB
	ノーマル	約18枚	約409枚	約300KB
640×480	スーパーファイン	約34枚	約709枚	約175KB
	ファイン	約50枚	約975枚	約120KB
	ノーマル	約84枚	約1560枚	約65KB

動画が記録できる時間（SDメモリーカードの場合）

画像サイズ	最大記録時間		1秒あたりのデータ量
	8MBカード	128MBカード	
320×240	約20秒	約480秒	約250KB／秒
160×120	約50秒	約1020秒	約120KB／秒

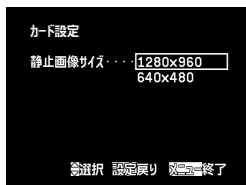
カードを使う

静止画の画質を選ぶ

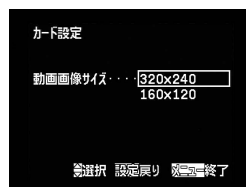
カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

①メニューボタンを押す
②「カード設定」➤「静止画像画質」➤ 設定内容を順に選ぶ
・設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
③メニューボタンを押す
・選んだ設定内容の表示が出ます。

画像サイズを選ぶ

静止画の場合

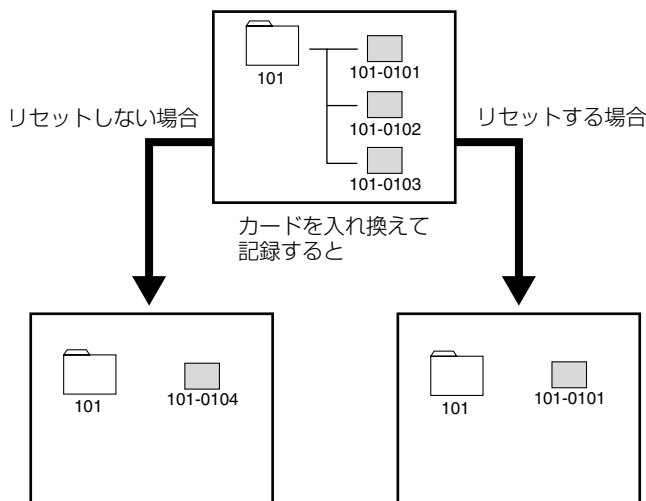
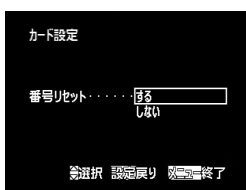
カメラモード　再生(VTR)モード　**カードカメラモード**　カード再生モード

①メニューボタンを押す
②「カード設定」➤「静止画像サイズ」➤ 設定内容を順に選ぶ
・設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
③メニューボタンを押す
・選んだ設定内容の表示が出ます。

動画の場合

カメラモード　**再生(VTR)モード**　**カードカメラモード**　カード再生モード

①メニューボタンを押す
②「カード設定」➤「動画画像サイズ」➤ 設定内容を順に選ぶ
・設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
③メニューボタンを押す
・選んだ設定内容の表示が出ます（カードカメラモード時）。

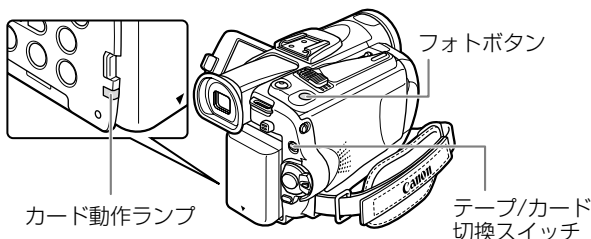
ファイル番号をリセットする

カードに記録した画像は、自動的に0101～9900までのファイル番号が付けられ、ひとつのフォルダーに100枚ずつ保存されます。それぞれのフォルダーには101～998までの番号が付けられ、カードに記録します（付属のカードでは、サンプル画像は「100canon」のフォルダーに入っています）。
本機では、カードを換えたときファイル番号を連続して付けたり、番号をリセットしたりできます。

番号をリセットする	別のカードに入れ換えると、ファイルの番号が101-0101から始まります。すでに画像が記録されているカードを入れたときは、その続きのファイル番号になります。
番号をリセットしない	別のカードに入れ換えても、最後に記録した画像の続き番号が、次の画像に付けられます（カード内のファイル番号のほうが大きい場合は、その続き番号が付けられます）。 ファイル番号をリセット「しない」に設定して記録すると、記録した画像のファイル番号が重複しないため、パソコンでまとめて管理するときなどに便利です。 通常はリセット「しない」に設定しておくことをおすすめします。

カードモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

①メニューボタンを押す
②「カード設定」➤「番号リセット」➤ 設定内容を順に選ぶ
・設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
③メニューボタンを押す

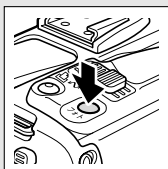
カードを使う

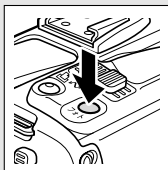
カードに静止画を記録する

ビデオカメラで撮影している映像のほかに、テープに記録されている映像、映像/音声端子（アナログ入力）、DV端子から入力している映像を静止画にしてカードに記録できます。また、動画をテープに撮影中、同時に、カードにも静止画を記録できます。

カメラモード　再生(VTR)モード　**カードカメラモード**　カード再生モード

1 電源スイッチを「カメラ」にし、テープ/カード切換スイッチを「▭」にする

- 画面の中心に、白い枠（AF枠）が出ます。そのまま撮影すると、画面の中心にピントが合います（「AF枠を選ぶ」 🕮 107）。

2 フォトボタンを浅く押し続ける

- ピント調整が終わると●とAF枠が緑色の点灯に変わります。お知らせ音が2回鳴ります。
- 露出がロックされます。
- フォトボタンを浅く押したまま、設定ボタンを上／下に押すと、ピントを調整できます。
- リモコンのフォトボタンを押したときは、すぐ静止画記録が始まります。

3 フォトボタンを深く押す

- ●マークとAF枠が消えます。
- カシャというシャッター音と同時に、シャッターを切るように画面が一度途切れます。
- カード動作ランプが点滅し、静止画の書き込み表示が出ます。
- ボタンを押したときの静止画がカードに記録されます。

❍ SDメモリーカードには、誤消去防止のつまみがついています。SDメモリーカードに静止画を記録するときには、記録できる状態になっていることを確認してください。

❍ 画面右上にカードの動作表示（▶ ▭）が出ていたり、カード動作ランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。カードのデータを破損する恐れがあります。

・ カードカバーを開けたり、カードを出したりしない。

・ 電源を切らない。電源スイッチやテープ/カード切換スイッチを切り換えない。

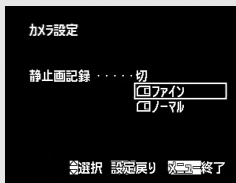
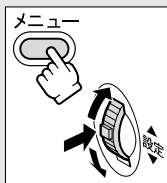
・ バッテリーパックなどの電源を取りはずさない。

❍ カードに1800枚以上の画像があるときは、ビデオカメラをパソコンやプリンター（PictBridge接続の場合）に接続できません。パソコンやプリンターに接続する際には、快適にお使いになるために、カードの画像数100枚以下にしてください。
❍ 2の操作の前に、セルフタイマーボタンを押してからフォトボタンを押すと、セルフタイマーで静止画をカードに記録できます（ 58）。
❍ 2の操作で、より正確にピントを合わせるため、一時的にピントが合わなく見えることがあります。
❍ 被写体が明るすぎて露出オーバー（露出過多）になると、「EXPオーバー」の表示が点滅します。このような場合は、別売のフィルターセットFS-34UのNDフィルターを取り付けてください。
❍ **「フォーカス優先」を「入」に設定しているとき**
●とAF枠が緑色の点灯に変わる前にフォトボタンを深く押すと、フォーカスを合わせるのに約2秒*かかることがあります。ピントが合うまで、カードには記録されません。
*ローライトモード、ナイトモード時には、4秒までです。
自動ではピントが合いにくい被写体のときは、AF枠は黄色く点灯し、そのままピントをロックします。フォトボタンを浅く押したまま設定ボタンを上／下に押してピントを合わせることをおすすめします。
❍ 「フォーカス優先」を「切」に設定しているときは、画面にAF枠は出ません。
2の操作では、●が緑色に点灯し、ピントと露出がそのままロックされます。
❍ 本機をバッテリーパックで使用しているとき、撮影待機中には、省電のため、操作をしなくなってから約5分で電源が切れます（電源が切れる約20秒前に、画面中央に「⚠AUTO POWER OFF」が出ます）。撮影を続けるときは、電源スイッチを一度「切」にしてから、電源を入れ直してください。

動画をテープ撮影中に同時に記録する

テープに動画を撮影中に、テープに記録している映像を同時にカードに静止画で記録できます。画質を選択できます。

カメラモード 再生(VTR)モード | カードカメラモード カード再生モード

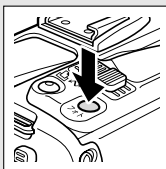
1 「静止画記録」の設定を選ぶ

① メニューボタンを押す
②「カメラ設定」➤「静止画記録」➤「ファイン」または「ノーマル」を選ぶ
・設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
③ メニューボタンを押す

カードを使う

次のページへ

2

動画撮影中

フォトボタンを深く押す

- 画面は動画のまま、静止画がカードに記録されます。

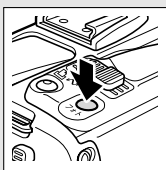
- ❍ 動画と同時に記録するときの静止画の画像サイズは、640×480です。
- ❍ カードカメラモードで640×480ピクセルで記録するときより、画質は劣ります。
- ❍ フェード、エフェクト、マルチ画面の実行中はカードに記録できません。
- ❍「16：9」を「入」に設定していると、カードには記録できません。
- ❍ カードミックスは使用できません。
- ❍「静止画記録」を「切」にしていて、フォトボタンを押すと「 OFF」が出ます。

テープの映像を静止画として記録する

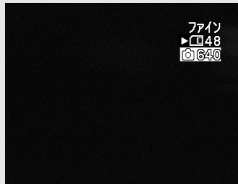
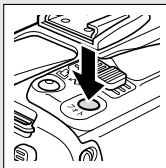
カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

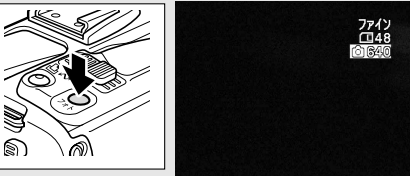
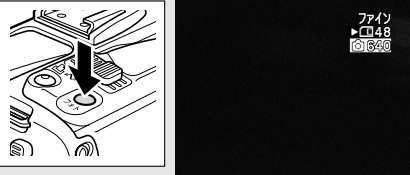
1

テープ再生中

フォトボタンを浅く押し続ける

- 画面に記録可能枚数などのカードの情報が表示され、再生一時停止になります。
- リモコンのフォトボタンを押したときは、すぐに静止画記録が始まります。

2

フォトボタンを深く押す

- カード動作ランプが点滅します。
- 再生一時停止中にフォトボタンを深く押しても、静止画を記録できます。

アナログ入力やDV入力する映像を静止画として記録する

S-映像端子、映像/音声端子に接続したほかのビデオやテレビ番組やDV端子に接続したデジタルビデオ機器からの映像を静止画にして、カードに記録できます（接続のしかた 📖 83、85）。

カメラモード | **再生(VTR)モード** | カードカメラモード | カード再生モード

1 電源スイッチを「再生（VTR)」にし、テープ/カード切換スイッチを「📼」にする

- カセットが入っているときは、停止ボタンを押して停止状態にしてください。

2 「AV入力→DV出力」の設定を確認する（📖 87）

- アナログ入力（S-映像端子や映像/音声端子を使う）の場合：「入」にします。（画面に「AV→DV」が出ます。）
  DV入力（DV端子を使う）の場合：「切」にします（画面に「AV→DV」が出ません）。

3 接続したビデオ機器の電源を入れ、再生する

4 フォトボタンを浅く押し続ける

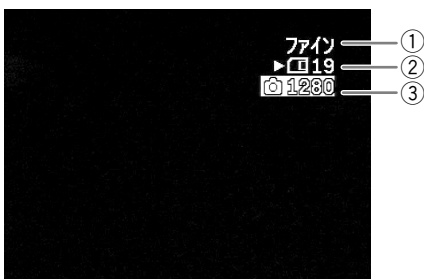
- 画面が静止画になり、画面に記録可能枚数などのカードの情報が表示されます。
- リモコンのフォトボタンを押したときは、すぐに静止画記録が始まります。

5 フォトボタンを深く押す

- カード動作ランプが点滅します。

テープの映像やアナログ入力、DV入力した映像から記録する場合

❍ カードに記録される静止画の画像サイズは、640×480です。画質は選択できます。
❍ テープの映像やS-映像端子、映像/音声端子、DV端子から入力した映像の1場面を静止画としてカードに記録したときの日付/時刻が、日時としてカードに記録されます。
❍「16：9」で撮影した映像をカードに記録すると、縦に伸びた画像になります。

静止画記録中の画面表示について

① 画質表示

静止画の画質を表示します。

② カード静止画の記録可能枚数表示

記録可能枚数6枚以上： 6 緑色表示

記録可能枚数1～5枚： 5 黄色表示*

記録可能枚数0枚： 0 赤色表示*

＊カード再生時はすべて緑色表示になります。

・記録可能枚数表示は、記録時の状況により、一定ではありません。記録しても、枚数表示が減らなかったり、1回の記録で2枚減ることがあります。

「▶」書き込み表示

静止画をカードに書き込んでいるときに表示します。

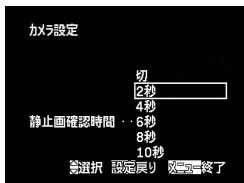
③ 画像サイズ表示

静止画の画像サイズを表示します。

カードに記録した静止画を確認する（静止画確認時間）

カードに静止画を記録した直後に、選んだ時間（2、4、6、8、10秒）、静止画を確認できます。

設定のしかた

カメラモード　再生(VTR)モード　**カードカメラモード**　カード再生モード

①メニューボタンを押す
②「カメラ設定」➤「静止画確認時間」➤ 設定内容を順に選ぶ
・設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して決定します。
③メニューボタンを押す

❍ 静止画記録時に、フォトボタンを深く押し続けている間も、記録した静止画を確認できます。
❍ 静止画記録時に静止画を確認している間、または静止画記録直後に設定ボタンをまっすぐ押すと、「画像設定」メニューが出ます。画像プロテクト（🕮 116）、画像消去（🕮 118）ができます。
❍ ドライブモードで連写、高速連写、AEBを選んでいると、静止画確認時間は設定できません。

カードを使う

カードに動画を記録する

カードに、Motion JPEG方式で動画を記録します。パソコンに取り込んで再生できます。ビデオカメラで撮影している映像のほかに、テープに記録されている映像、S-映像端子や映像/音声端子（アナログ入力）、DV端子から入力している映像をカードに記録できます。
カードに動画を記録すると、音声はモノラルになります。

カメラモード　再生(VTR)モード　**カードカメラモード**　カード再生モード

1 スタート/ストップボタンを押す

- SDメモリーカードの場合：カードがいっぱいになるまで（約69分：512MBのカードの場合）記録できます。カードがいっぱいになると、画面に「カードがいっぱいです」が出ます。
- マルチメディアカードの場合：320×240で10秒、160×120で30秒記録できます。
- スタート/ストップボタンをもう一度押すと、撮影は停止します。

❍ SDメモリーカードには、誤消去防止のつまみがついています。SDメモリーカードに動画を記録するときは、記録できる状態になっていることを確認してください。
❍ 画面右上にカードの動作表示（▶ ◻）が出ていたり、カード動作ランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。カードのデータを破損する恐れがあります。
- ・ カードカバーを開けたり、カードを出したりしない。
- ・ 電源を切らない。電源スイッチやテープ/カード切換スイッチを切り換えない。
- ・ バッテリーパックなどの電源を取りはずさない。

❍ カードへの記録中は、カセットを出し入れしないでください。

❍ カードに動画を記録するときは、キヤノン製または転送速度2MB／秒を保証しているSDメモリーカードを、本機でフォーマット直後にご使用になることをおすすめします。本機以外でフォーマットしたり、画像の記録／消去を何度もくり返しているカードの場合は、画像の書き込み速度が遅くなって、カードへの記録が中断されることがあります。
❍ セルフタイマーボタンを押してからスタート/ストップボタンを押すと、セルフタイマーで動画をカードに記録できます（📖 58）。
❍ カードに動画を記録するときも、AF枠は選べます。
❍ Windows XPをお使いの場合、ビデオカメラをパソコンに接続するためには、カード動画の連続撮影時間は320×240では約12分、160×120では約35分までにしてください。

テープの映像をメモリーカードに記録する

カメラモード　**再生(VTR)モード**　カードカメラモード　カード再生モード

1

再生中／再生一時停止中

スタート/ストップボタンを押す

- スタート/ストップボタンをもう一度押すと記録は停止します。

アナログ入力やDV入力する映像をカード記録する

S-映像端子、映像/音声端子に接続したほかのビデオやテレビ番組やDV端子に接続したデジタルビデオ機器からの映像を、カードに記録できます（接続のしかた 83、85）。

カメラモード　**再生(VTR)モード**　カードカメラモード　カード再生モード

1 電源スイッチを「再生（VTR)」にし、テープ/カード切換スイッチを「▭」にする

- カセットが入っているときは、停止ボタンを押して停止状態にしてください。

2 「AV入力→DV出力」の設定を確認する（87）

- アナログ入力（S-映像端子や映像/音声端子を使う）の場合：「入」にします（画面に「AV→DV」が出ます）。
  DV入力（DV端子を使う）の場合：
  「切」にします（画面に「AV→DV」が出ません）。

3 接続したビデオ機器の電源を入れ、再生する

4

再生中／再生一時停止中

スタート/ストップボタンを押す

- スタート/ストップボタンをもう一度押すと、記録は停止します。

テープの映像やアナログ入力、DV入力した映像から記録する場合

❍ テープの映像をカードに記録し始めたときの日付／時刻が、日時としてカードに記録されます。
❍「16：9」で撮影した動画をカードに記録すると、縦に伸びた画像になります。
❍ テープの途中に、録画モード（SP／LPモード）やオーディオモード（16bit／12bit）を切り換えたり、無記録部分があると、カードへの動画の記録が中断されます。

動画記録中の画面表示について

①「▶」書き込み表示

動画をカードに書き込んでいるときに表示します。

② カード動画の記録時間表示

動画の記録時間を表示します。

③ 画像サイズ表示

動画の画像サイズを表示します。

④ カード動画の記録可能時間表示

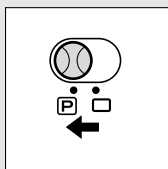
動画の記録可能な時間を「時：分」で表示します。
記録可能な時間が１分以下になると10秒単位で減ります。10秒以下では、1秒単位で減ります。
・記録可能時間表示は、記録時の状況により一定ではありません。記録時間が、実際の時間より長くなったり、短くなったりすることがあります。

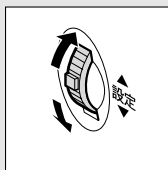
AF枠を選ぶ

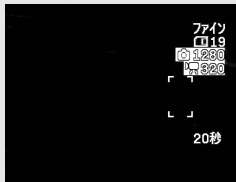
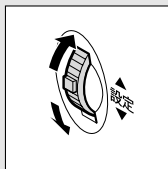
AF枠とは、ピントを合わせる枠のことをいいます。
被写体により正確にピントを合わせたいとき、画面に出る3つのAF枠から、ピントを合わせたいAF枠を選びます。狙った被写体に、正確にピントを合わせたり、構図を楽しむのに便利です。
撮影モードが □（全自動）のとき、「フォーカス優先」は「入」になりますが、AF枠は画面の中心で固定されます。

AF枠の選びかた

カメラモード　再生(VTR)モード　**カードカメラモード**　カード再生モード

1 撮影モード切換スイッチをⓅにする

● □（全自動）以外の撮影モードにします（📖46）。

2 設定ボタンを上／下に押す

● 画面に3つの枠が出て、1つだけ緑色になります。

3 設定ボタンを上／下に押す

● ピントを合わせる枠を選びます。

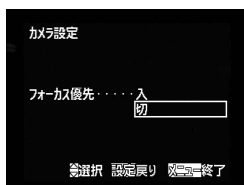
❍ AF枠は、ピントを合わせる位置の目安です。撮影する被写体の大きさや距離によっては、枠の外部にピントが合う場合があります。
❍ ズームなどの操作をすると、選んでいる枠以外のAF枠は消えます。
❍ スティッチアシスト画面では、枠は選べません。
❍ AF枠は、カードカメラモードで、「フォーカス優先」を「入」に設定している場合のみ選べます。

次のページへ

❍ 電源を切ったり、カードカメラモード以外にしたり、撮影モード切換スイッチを□（全自動）にしたりすると、中央の枠に戻ります。
❍ デジタルズーム領域では、AF枠は選べません。デジタルズーム領域まで望遠にズームすると、AF枠は、4秒間点滅後に消えます（□（全自動）モードを除く）。光学ズーム領域まで広角にズームすると、AF枠が表示されます。

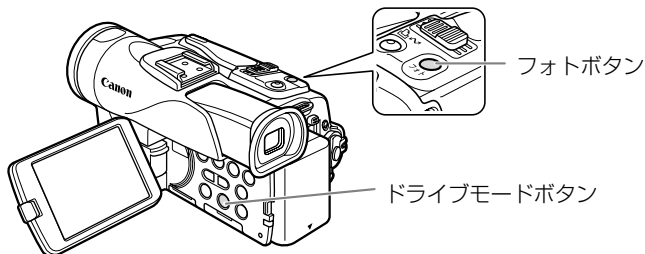
フォーカス優先の設定を変える

フォトボタンを押したときにすぐに静止画記録をしたいときは、「フォーカス優先」を「切」に設定します。

カメラモード　再生(VTR)モード　**カードカメラモード**　カード再生モード

①メニューボタンを押す
②「カメラ設定」➤「フォーカス優先」➤ 設定内容を順に選ぶ
・設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
③メニューボタンを押す

ドライブモードを選ぶ（連写／高速連写／AEB）

連写	フォトボタンを押し続けている間、連続撮影（1秒間に3枚）できます。
高速連写	フォトボタンを押し続けている間、連続撮影（1秒間に5枚）できます。
AEB*	自動的に露出を約1／2段変えて、3枚の静止画を連続撮影します。標準、暗め、明るめの順で撮影し、最適な露出の静止画を簡単に選べます。
単写	フォトボタンを押すと、1枚の静止画を撮影します。

* AEBはAuto Exposure Bracketing（オート エクスポージャー ブラケッティング）の略です。

設定のしかた

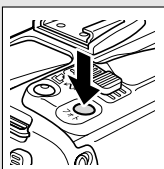
1 ドライブモードボタンを押す

- ボタンを押すたびに、表示が変わります。
- 選んだ設定の表示が出ます。

カードを使う

連写／高速連写で撮影する

カメラモード　再生(VTR)モード　**カードカメラモード**　カード再生モード

1 フォトボタンを深く押し続ける

- フォトボタンを押し続けている間、静止画が連続でカードに記録されます。

1回の連写で記録できる最大枚数

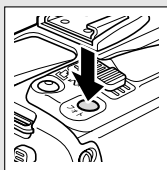
静止画像サイズ	1秒あたりの記録枚数		連続記録可能枚数
	連写	高速連写	
1280×960	約3枚	約5枚	約10枚
640×480	約3枚	約5枚	約60枚

＊記録できる枚数や1秒あたりの記録枚数は、目安です。撮影条件や被写体によって変わります。また、上記の枚数が記録できる空き容量が必要です。

が出ているときは、１秒あたりの連写枚数が少なくなることがあります。

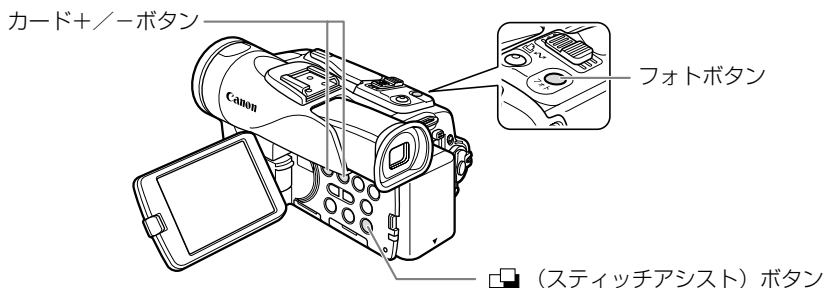
自動的に露出を変えて撮影する（AEB）

カメラモード　再生(VTR)モード　**カードカメラモード**　カード再生モード

1 フォトボタンを深く押す

● 露出を変えた3枚の静止画が、自動的にカードに記録されます。

AEBでは、3枚連続して記録されますので、カードに十分な空き容量があることを確認してください。

パノラマ写真を撮る（スティッチアシスト）

撮影した静止画を、付属のDIGITAL VIDEO SOLUTION DISKに入っているソフトウェア（PhotoStitch）を使ってパソコンでつなぎ合わせて（スティッチ）、パノラマ写真を作成できます。

撮影する

パソコンで静止画をつなぎ合わせるときは、隣の静止画にある同じ被写体を探し出して重ね合わせます。重ね合わせやすいように特徴のある被写体（目印になる被写体）を入れて撮影してください。

カメラモード　再生(VTR)モード　**カードカメラモード**　カード再生モード

カードを使う

1 ボタンを押す

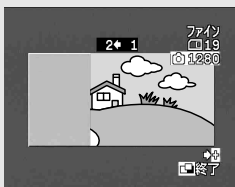
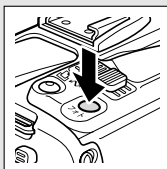
- スティッチアシスト画面が出ます。

2 カード + ／ − ボタンを押す

- 撮影方向を選びます。

3 プログラムAE、ズームを被写体に合わせて設定する

- 必要なときは手動ピント合わせ、露出補正も操作します。
- 2枚目以降の撮影では、プログラムAE、ズーム、露出補正の設定は操作できません。

4 フォトボタンを押す

- 最初の静止画を撮影します。
- 画面に撮影している方向と撮影枚数の表示が出ます。

5 撮影した静止画と一部が重なるように、次の静止画を撮影する

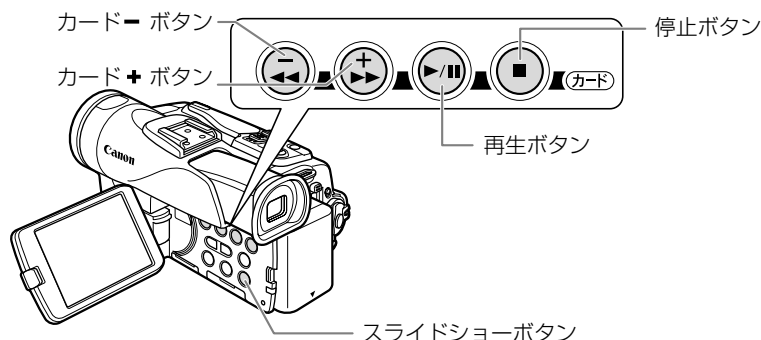
- 重なる部分は多少ずれても、パソコンでつなぎ合わせるときに修整されます。
- カード − ボタンを押すと撮影した静止画に戻りますので、撮影し直せます（左方向に撮影しているときは、カード ＋ ボタンを押してください）。
- 最大26枚まで撮影できます。

6 撮影が終わったら、ボタンを押す

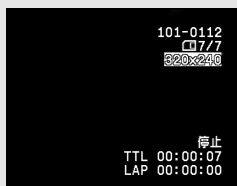
- スティッチアシスト画面が消えます。
- パノラマ写真の作成のしかたについては、付属のDigital Video Software使用説明書をご覧ください。

❍ 静止画の重なる部分は、画面の幅の30%〜50%にします。また、上下のズレは、画面の上下の10%以内であれば、自動修整できます。
❍ 重なる部分には動いている被写体が入らないようにしてください。
❍ 被写体が遠くにある静止画と近くにある静止画を合成すると、合成画像がゆがんだり、被写体が二重になることがあります。

カードを再生する

本機では、画像を1枚ずつ見たり、連続して順番に見たり（スライドショー）、6枚を一度に見たり（インデックス画面）できます。さらに、見たい画像をすばやく探し出せるカードジャンプ機能があります。

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生モード**

1 電源スイッチを「再生（VTR)」にし、テープ/カード切換スイッチを「□」にする

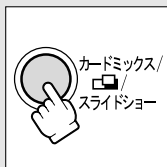
2 カード＋ ／－ ボタンを押す

- **動画の場合：▶/❚❚ボタンを押すと、動画が再生され、再生が終わると最初の場面で静止画になって停止します。**
  再生中に▶/❚❚ボタンを押すと、その場面で再生一時停止になります。再生を再開するときは、もう一度▶/❚❚ボタンを押します。
  再生中に■（停止）ボタンを押すと、その動画の最初の場面に戻ります。

❍ パソコンで作成／加工した静止画をカードに書き込んだり、本機で記録した画像をパソコンで直接加工したり、ファイル名を変更した場合、本機で再生できなくなる場合があります。
❍ 本機以外のビデオカメラなどで記録した画像は、正しく再生されないことがあります。
❍ 画面右上にカードの動作表示（▶ □）が出ていたり、カード動作ランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。カードのデータを破損する恐れがあります。
　・ カードカバーを開けたり、カードを出したりしない。
　・ 電源を切らない。電源スイッチやテープ/カード切換スイッチを切り換えない。
　・ バッテリーパックなどの電源を取りはずさない。

動画を再生中にカード＋ ／－ ボタン（リモコンの早送り／巻戻しボタン）を押すと、押している間だけ8倍の早送り／巻戻しになります。

画像を順番に再生する（スライドショー）

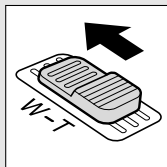
カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生モード**

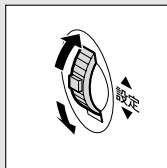
1 スライドショーボタンを押す

- 出ている画像から順番に再生します。
- ボタンをもう一度押すと、スライドショーを終了します。

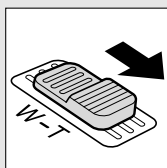
インデックス画面で画像を選ぶ

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生モード**

1 静止画再生中／動画停止中

ズームレバーをW側に押す

- 6つの画像が出るインデックス画面になります。

2 設定ボタンを上／下に押す

- 「☞」を再生したい画像に合わせます。
- カード＋／－ボタンでインデックス画面を切り換えられます。

3 ズームレバーをT側に引く

- インデックス画面が終了し、選んだ1枚の画像が画面に出ます。

画像をすばやく探し出す（カードジャンプ機能）

1枚ずつ再生せずに、離れた画像まで一気にジャンプできます。
カード再生モード時の画面の右上に出る数字は、記録した画像の合計枚数（全枚数）と再生している画像が何枚目になるか（表示番号）を表しています（ (表示番号) / (全枚数))。

カメラモード 再生(VTR)モード | カードカメラモード **カード再生モード**

1 カード＋／－ボタンを押し続ける

- ボタンを押している間、表示番号のみが連続的に変わります。
- ボタンを離すと、表示番号の画像が画面に出ます。

カードを使う

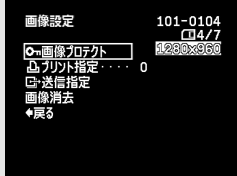
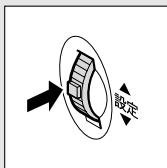
画像を消去しないようにする（画像プロテクト）

大切な画像を誤って消去しないようにするために、画像に誤消去防止（プロテクト）の設定ができます。

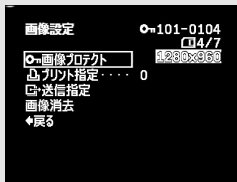
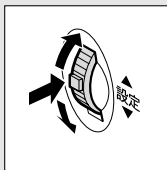
プロテクト設定をしても、カードをフォーマットするとすべての画像は消去されます。

- 付属のカードに入っているサンプル画像は、プロテクト設定がされています。
- 動画は、最初の場面が静止画で表示されているときにプロテクトを設定できます。動画の再生中／再生一時停止中には、設定できません。

① 画像を見ながらプロテクトする

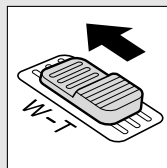
カメラモード　再生(VTR)モード　**カードカメラモード**　**カード再生モード**

1 設定ボタンをまっすぐ押す

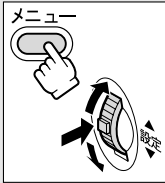
- 「画像設定」メニューが出ます。
- カードカメラモードの場合、静止画を確認している間、または静止画記録直後に設定ボタンを押すと、メニューが出ます。

2 画像をプロテクトする

- 設定ボタンで「 画像プロテクト」を選び、設定ボタンをまっすぐ押すと「 」が出ます。もう一度押すと、解除できます。
- 「戻る」を選ぶと、メニューが消えます。

② インデックス画面で画像をプロテクトする

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生モード**

1 ズームレバーをW側に押す

- インデックス画面になります。
- プロテクトする画像を選びます（「インデックス画面で画像を選ぶ」操作2（114））。

2 画像をプロテクトする

① メニューボタンを押す

②「カード実行」➤「➡O┳ 画像プロテクト」を順に選ぶ

・設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。

- 「O┳」が出て、消去できなくなります。もう一度押すと、解除できます。
- 設定ボタンを上／下に押すと、他の画像を選べます。

③ メニューボタンを押す

・通常のインデックス画面に戻ります。

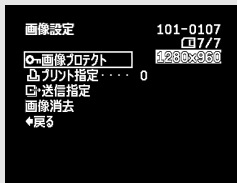
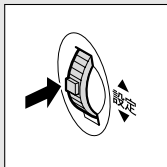
画像を消す（画像消去）

不要になった画像を1枚消去したり、すべての画像を一度に消去したりできます。

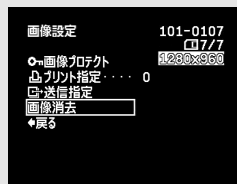
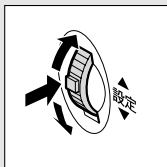
一度消去した画像はもとに戻せません。消去する前に画像を確認してください。

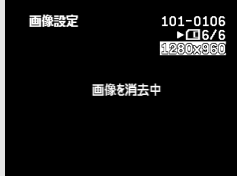
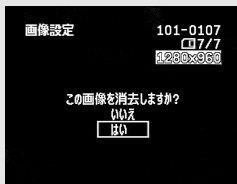
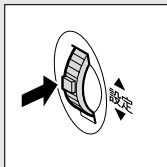
- ❍ プロテクト設定している画像（付属のカードに入っているサンプル画像を含む）は消去できません。
- ❍ 動画は、最初の場面が静止画で表示されているときに消去できます。動画を再生中／再生一時停止中は、消去できません。

① 画像を見ながら1枚消去する

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

1 設定ボタンをまっすぐ押す

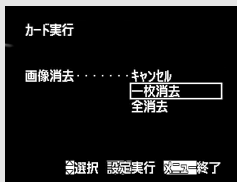
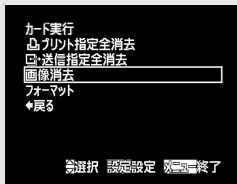
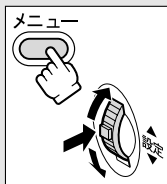
- 「画像設定」メニューが出ます。
- カードカメラモードの場合、静止画を確認している間、または静止画記録直後に設定ボタンを押すと、メニューが出ます。

2 「画像消去」を選ぶ

- 設定ボタンで「画像消去」を選び、設定ボタンをまっすぐ押します。

3 「はい」を選び、消去する

- 設定ボタンをまっすぐ押すと、画像が消去されます。
- 消去した画像の1つ後の画像が出ます。
- 「⬅戻る」を選ぶと、メニューが消えます。

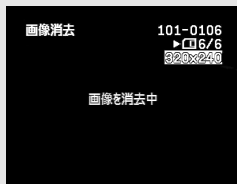
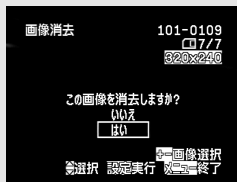
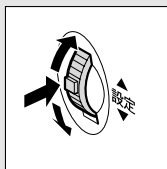
② 画像を1枚消去、または全消去する

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生モード**

1 「画像消去」を選ぶ

- 「一枚消去」の場合は、インデックス画面やカードジャンプ機能などを使って消去する画像を選びます。インデックス画面を使った場合は、画像を選んだ後にインデックス画面を終了し、1枚表示にします。

① メニューボタンを押す
②「カード実行」➤「画像消去」➤ 設定内容を順に選ぶ
　・設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。

- 誤って「画像消去」の項目を選んでしまったときなど、画像消去しないときは「キャンセル」を選んで、設定ボタンをまっすぐ押してください。

2 「はい」を選び、消去する

- 「一枚消去」の場合：設定ボタンをまっすぐ押すと、選んだ画像が消去されます。続けて別の画像を消去するときは、カード＋／－ボタンで消去したい画像を選びます。次に「はい」を選び、設定ボタンをまっすぐ押すと、選んだ画像が消去されます。
消去が終了すると、「はい、いいえ」の選択画面に戻ります。メニューボタンを押すと、メニューが消えます。
- 「全消去」の場合：設定ボタンをまっすぐ押すと、O┳（プロテクトした）画像を除いたすべての画像が消去されます。
消去が終了すると、「カード実行」サブメニューに戻ります。
- 「いいえ」を選ぶと、「キャンセル、一枚消去、全消去」の選択画面に戻ります。

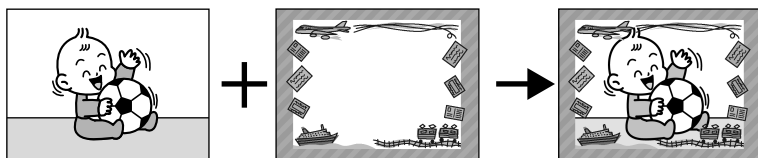
画像を合成する（カードミックス）

カードに記録してある静止画とカメラで撮影している映像を合成し、テープに記録できます。付属のカードに入っているタイトルやフレーム、アニメーションなどのサンプル画像（📖 123）を使って、ビデオを楽しく演出できます。
カードに記録した動画と、カメラで撮影している映像は合成できません。

カードクロマキー

イラストやフレームの静止画とカメラの映像を合成します。
静止画の青い部分にカメラで撮影している映像が写ります（例では画面の中心が青になります）。
ミックスレベルの調整：静止画の青い部分の調整

カードルミキー

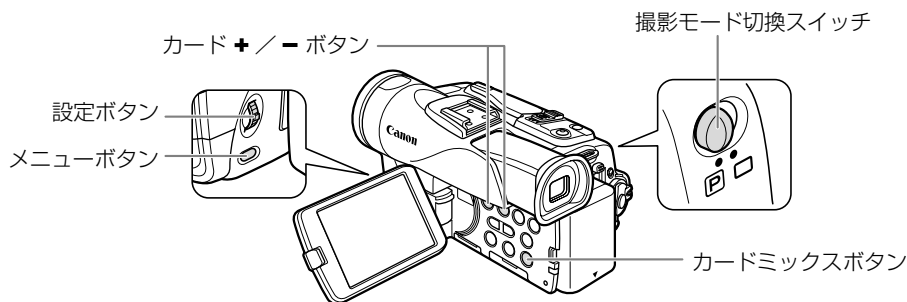
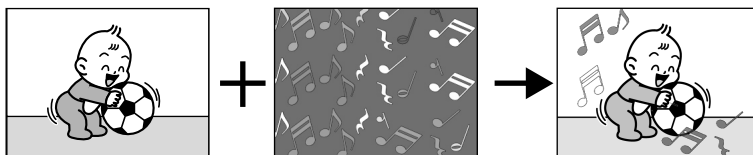
イラストやタイトルなどの静止画とカメラの映像を合成します。
静止画の中の明るい部分にカメラで撮影している映像が写ります（例では白い紙が明るい部分、イラストや枠の部分の文字が暗い部分になります）。
ミックスレベルの調整：静止画の明るい部分の調整

カメラクロマキー

静止画とカメラの映像を合成します。
カーテンなど青い背景の前で撮影します。被写体など青以外の部分が静止画の上に写ります。
ミックスレベルの調整：カメラで撮影している画面の青い部分の調整

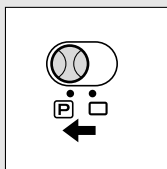
カードアニメーション

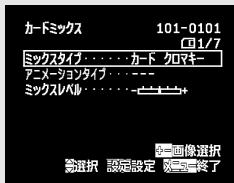
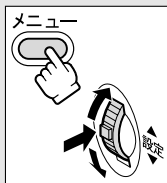
アニメーションとカメラの映像を合成します。
アニメーションの動きは、コーナー（画面の左上と右下に表れる）／ストレート（画面の上下に表れる）／ランダム（画面の中を動き回る）から選べます。
ミックスレベルの調整：青い部分の調整

（例）コーナーの場合

カメラで撮影している画面　　　アニメーション

カードを使う

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

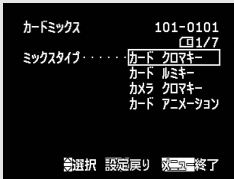
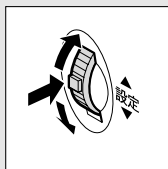
1 撮影モード切換スイッチをⓅにする

- □（全自動）以外の撮影モードにします（📖46）。

2 「➡カードミックス」を選ぶ

① メニューボタンを押す
② 設定ボタンを上／下に押して「➡カードミックス」を選び、まっすぐ押す

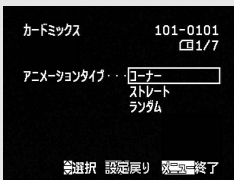
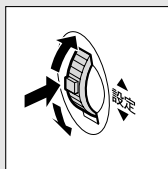
次のページへ

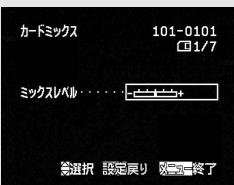
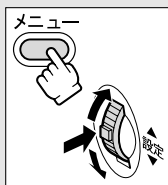
3 カードの静止画/アニメーションを選ぶ

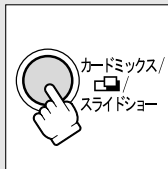
● カード＋／－ボタンを押します。

4 ミックスタイプを選ぶ

● 静止画／アニメーションとカメラで撮影している映像が、合成された画面になります。
● 設定ボタンをまっすぐ押すと、「カードミックス」サブメニューに戻ります。

カードアニメーションを選んだ場合

アニメーションタイプを選ぶ

● 設定ボタンを上／下に押して、アニメーションの動きを選び、まっすぐ押します。
● アニメーションとカメラで撮影している映像が、合成された画面になります。

5 ミックスレベルを調整する

● 画面を見ながら、設定ボタンを上／下に押して調整します。
● メニューボタンを押すと、「カードミックス」表示が点滅します。

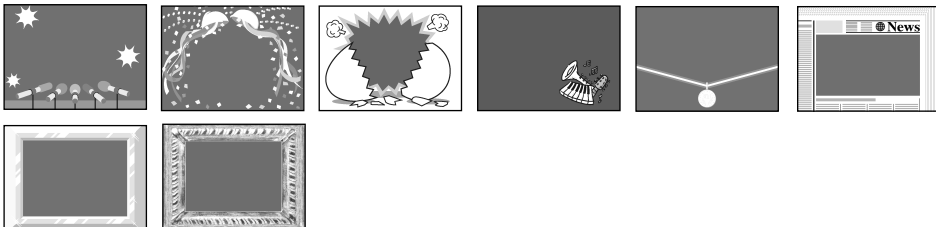
6 カードミックスボタンを押す

● 「カードミックス」表示が点灯に変わり、合成された画面になります。

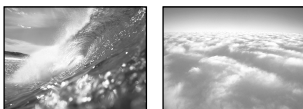
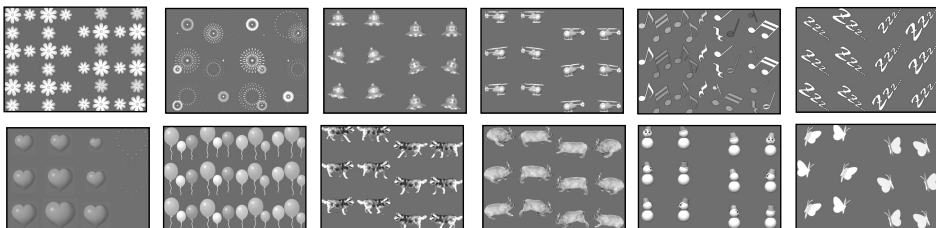
❍ DIGITAL VIDEO SOLUTION DISKを使って、サンプル画像を追加できます。
Digital Video Software使用説明書の「画像を追加する」をご覧ください。

❍ 「静止画記録」を「切」以外に設定しているときには、使用できません。

サンプル画像

付属のカードに入っているサンプル画像は、次のとおりです。

カードクロマキー用

カードルミキー用

カメラクロマキー用

カードアニメーション用

付属のカード（SDメモリーカード）に記録されている画像データは、お買い上げになったビデオカメラでの画像合成を個人で楽しむ目的以外には使用しないでください。

付属のカードに入っているサンプル画像を消去してしまったときは、下記のアドレスのホームページからダウンロードできます。＊
http://cweb.canon.jp/dv/support/download.html
＊ パソコンからカードにサンプル画像を入れるためには、Digital Video Software使用説明書の「パソコンからカードに静止画を追加する」をご覧ください。

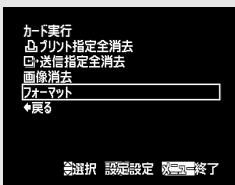
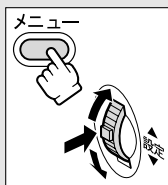
PhotoEssentials - イメージライブラリ
PhotoEssentialsは、使用権/著作権、肖像権の問題のない高品質なイメージ画像を収録したCD-ROMで、広告宣伝、カタログ、レポート、マルチメディアドキュメント、Webサイト、本、パッケージなどの幅広い用途にお使いいただけます。PhotoEssentialsについてより詳しい情報をお知りになりたい方は、下記にご連絡ください。
株式会社データクラフト（http://www.datacraft.co.jp）

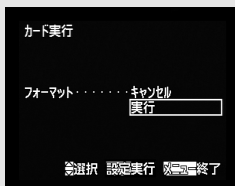
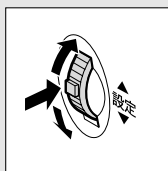
カードを初期化する（フォーマット）

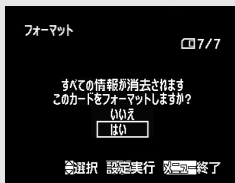
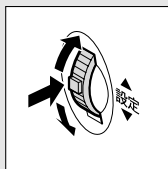
フォーマットは、新しいカードを使うときや、「カードエラーです」というお知らせ表示が出たときに行います。また、カードに記録した画像などの情報すべてを消去するときにも行います。

❍ フォーマットを行うと、プロテクト設定した画像（付属のカードに入っているサンプル画像も含む）まで、すべての情報が消えてしまいます。
❍ フォーマットして一度消去した画像などはもとに戻せません。フォーマットする前に確認してください。
❍ 付属のSDメモリーカード以外のカードを使用する際には、本機でフォーマットしてください。

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生モード**

1 「フォーマット」を選ぶ

① メニューボタンを押す
② 「カード実行」➤「フォーマット」を順に選ぶ
・ 設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。

2 「実行」を選ぶ

- 設定ボタンを上／下に押して「実行」を選びます。
- フォーマットを中止するときは「キャンセル」を選んで、設定ボタンをまっすぐ押してください。

3 「はい」を選び、フォーマットする

- 設定ボタンを上／下に押して「はい」を選び、まっすぐ押すと、カードはフォーマットされ、すべての情報が消去されます。
- 「いいえ」を選ぶと、「キャンセル、実行」の選択画面に戻ります。

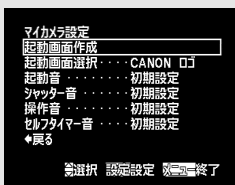
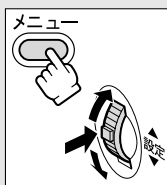
起動画面を作成する

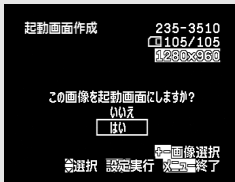
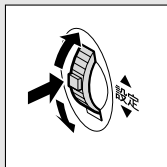
起動画面は、カードに記録した静止画を使って作成できます。

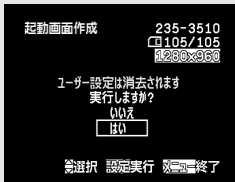
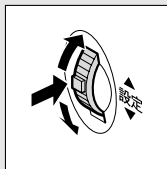
カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生モード**

1 起動画面にする静止画を選ぶ

● カード ＋／－ ボタンを押します。

2 「起動画面作成」を選ぶ

① メニューボタンを押す
②「マイカメラ設定」➤「起動画面作成」を順に選ぶ
・設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。

3 「はい」を選ぶ

● 設定ボタンを上／下に押して「はい」を選び、まっすぐ押します。
●「いいえ」を選ぶと、2の操作画面に戻ります。

4 「はい」を選び、実行する

● 設定ボタンを上／下に押して「はい」を選び、まっすぐ押すと、「ユーザー設定」に選んでいた静止画が記録されます。また、記録されていた起動画面は消去されます。
●「いいえ」を選ぶと、3の操作画面に戻ります。

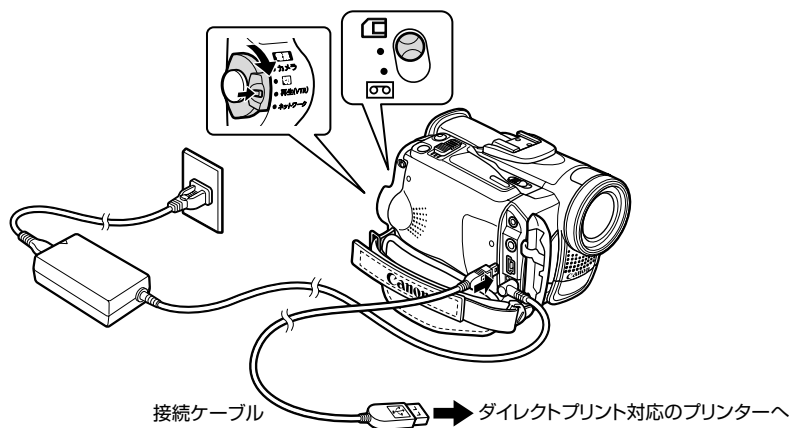
起動画面に設定した静止画のオリジナルの画像データは、パソコンなどに保存しておいてください。

静止画を印刷する（ダイレクトプリント）

別売のダイレクトプリント対応のプリンターを接続すると、パソコンを使用することなくカードに記録した静止画を簡単な操作で、きれいに印刷できます。また、プリント指定による連続印刷ができます（🕮 138）。
本機で使用できるプリンターは、次のとおりです。

キヤノン製プリンター	PictBridge対応CPプリンター*	PictBridge
	Bubble Jet Direct対応プリンタ	BUBBLE JET DIRECT
	PictBridge対応Bubble Jetプリンタ	PictBridge
	CPプリンターCP-10、CP-100	DIRECT PRINT
キヤノン製以外のPictBridge対応プリンター		PictBridge

* お使いのCP-300がPictBridgeに対応していない（PictBridgeロゴがついていない）場合、下記のホームページの手順に従ってファームウェア変更を行うと、PictBridge対応になり、本機と接続して使用できるようになります。
　カードフォトプリンター CP-300ファームウェア変更
　http://www.canon.co.jp/Imaging/cp300/cp300_firmware-j.html
　ホームページをご覧になれない場合は、弊社サービスセンターにご相談ください（🕮 巻末）。

ダイレクトプリント対応のプリンターと接続する

1 本機

電源スイッチを「切」にし、静止画を記録したカードを入れる

2

プリンター

電源を入れる

3

本機

カード再生モードにする

4

接続ケーブルで、本機とプリンターを接続する

設定

● プリンターが正しく接続されていると、本機の画面に が点滅した後、設定、設定または設定が表示されます。
（動画や本機で再生できない静止画のときには、表示されません）。

● （イージーダイレクト）ボタンが点灯し、現在の印刷設定が約6秒間画面に表示されます。

❍ 本機とプリンターを接続したときに、 が点滅し続ける（約1分以上）場合、または設定／設定／設定が表示されない場合、ビデオカメラとプリンターの接続が正しくありません。このような場合は、次の操作を行ってください。
① ビデオカメラとプリンターから接続ケーブルを取りはずす。
② ビデオカメラとプリンターの電源を一度切ってから、電源を入れ直す。

❍ 本機をプリンターと接続したまま、「ネットワークモード」にしないでください。

❍ 接続ケーブルについては、プリンターの使用説明書をご覧ください。
キヤノンCPプリンターCP-10／CP-100には、接続ケーブルが2本付属しています。本機と接続するときは端子に「USB 」がついているケーブル（DIF-100）を使用します。

❍ 本機にはコンパクトパワーアダプターを接続して、家庭用コンセントで使うことをおすすめします。

❍ プリンターの使用説明書もあわせてご覧ください。

❍「印刷する」の画面のイラストは、接続しているプリンターによって異なります。

静止画を選んで印刷する

静止画を選んでそのまま1枚印刷するときは、 (イージーダイレクト）ボタンを押すだけで印刷できます。

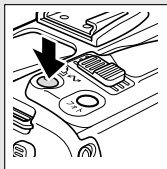
カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生モード**

1

静止画再生中（1枚）

印刷する静止画を選ぶ

次のページへ

2 ⎙〜（イージーダイレクト）ボタンを押す

- 印刷が始まり、正常に終了すると再生画面に戻ります。
- 印刷中は⎙〜ボタンが点滅し、終了すると点灯します。
- 続けてほかの静止画を印刷するときは、カード＋／－ボタンで静止画を選んでください。

❍ 次のような場合、静止画がダイレクトプリント対応のプリンターで正しく印刷されないことがあります。
- ・ パソコンで作成／加工した静止画をカードに書き込んだとき
- ・ 本機で記録したカードの静止画をパソコンで直接加工したとき
- ・ カードの静止画のファイル名を変更したとき
- ・ 本機以外のビデオカメラなどで画像を記録したカードを本機に入れたとき

❍ 印刷が正しく行われなくなりますので、印刷中に次の操作はしないでください。
- ・ テープ/カード切換スイッチを切り換える
- ・ ビデオカメラ、プリンターの電源を切る
- ・ ビデオカメラとプリンターから接続ケーブルを抜く
- ・ カードカバーを開けたり、カードをビデオカメラから抜く

❍ **印刷を中止するとき**

印刷中に設定ボタンをまっすぐ押します。確認画面が出ますので、設定ボタンで「OK」を選び、設定ボタンをまっすぐ押します。
- ・ キヤノンBubble Jetプリンタの場合：印刷が中断され、印刷中のペーパーが排紙されます。
- ・ キヤノンCPプリンターの場合：印刷を開始した静止画は中止できません。次の印刷が中止になり、再生画面に戻ります。

❍ **印刷中に異常が発生したとき**

「インクがありません」、「ペーパーが詰まりました」、「ペーパーがありません」などのお知らせ表示（🕮 166）が本機の画面に出ます。
- ・ キヤノンBubble Jetプリンタの場合：[中止]または[再開]を選び、設定ボタンをまっすぐ押します。お知らせ表示の内容を解決すると、自動で印刷を再開します。印刷が再開されないときは、設定ボタンをまっすぐ押して中止し、印刷をやり直してください。プリンタの使用説明書もあわせてご覧ください。
- ・ キヤノンCPプリンターの場合：設定ボタンで「中止」または「再開」を選び、設定ボタンをまっすぐ押してください。「再開」が表示されない場合は、「中止」を選び、印刷をやり直してください。プリンターの使用説明書もあわせてご覧ください。

以上の操作をしても印刷が再開できないときは、次の操作をしてください。

① 接続ケーブルを取りはずす
② ビデオカメラの電源スイッチを一度「切」にしてから「再生（VTR)」にする
③ 接続ケーブルを接続する

❍ **印刷が終了したら**

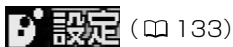
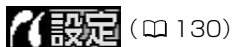
① 接続ケーブルをビデオカメラとプリンターから取りはずす
② ビデオカメラの電源を切る

印刷設定を選ぶ

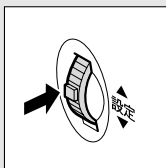
印刷枚数の設定方法はすべてのプリンター共通です。
その他の項目の設定方法は、接続しているプリンターによって異なります。接続後、ビデオカメラの画面左上に表示されるマークをご確認のうえ、必要なページをご参照ください。

（📖 130）

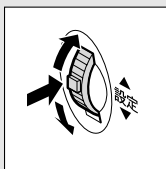
（📖 133）

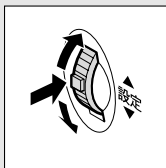
設定 （📖 134）

印刷枚数を選ぶ

印刷枚数は、99枚まで設定できます。

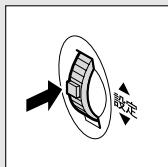
1　設定ボタンをまっすぐ押す

- 印刷設定画面が出ます。
- プリンターによっては、「処理中…」の表示が出た後に、印刷設定画面が出ます。

2　印刷設定画面

（印刷枚数）を選ぶ

- 設定ボタンを上／下に押して（印刷枚数）を選び、設定ボタンをまっすぐ押します。

3　枚数を選ぶ

- 設定ボタンを上／下に押して、印刷枚数を選び、設定ボタンをまっすぐ押します。

次のページへ

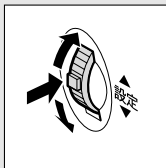
4 「プリント」が選ばれていることを確認して、設定ボタンをまっすぐ押す

- 印刷が始まり、正常に終了すると再生画面に戻ります。
- 続けてほかの静止画を印刷するときは、カード＋／－ボタンで静止画を選んでください。

設定 印刷設定の選びかた

ペーパー設定	ペーパーサイズ	プリンターによって異なります
	ペーパータイプ	フォト、高級フォト、標準設定
	レイアウト	フチなし、フチあり、標準設定、8面配置
日付印刷		入、切、標準設定
画像補正（イメージオプティマイズ）		入、切、VIVID、NR、VIVID+NR、標準設定

- ❍ 設定内容は接続するプリンターによって異なります。詳細については、プリンターの使用説明書をご覧ください。
- ❍「標準設定」はお使いのプリンターであらかじめ設定されている内容です。プリンターの使用説明書をご覧ください。
- ❍「8面配置」は、CPプリンターでカードサイズのペーパーを使用しているときに選択できます。
- ❍「フチあり」の場合、撮影した静止画とほぼ同じ領域で印刷されます。「フチなし」と「8面配置」の場合、撮影した静止画より若干拡大され、静止画の上下、左右を多少カットして印刷されることがあります。
- ❍ CPプリンターCP200／CP-300は、日付印刷には対応していません。
- ❍ CPプリンターの場合は、取り付けたペーパーカセットと同じペーパーサイズを選んでください。
- ❍ VIVID、NR、VIVID+NRはキヤノン製Bubble Jetプリンタをお使いの場合に設定できます。

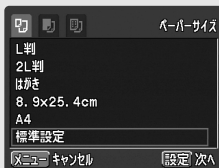
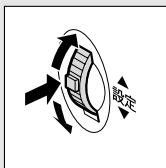
ペーパー設定を選ぶ（ペーパーサイズ、ペーパータイプ、レイアウト）

1

印刷設定画面

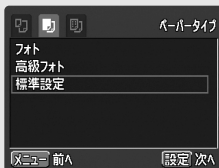
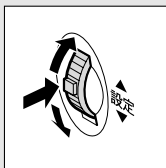
「ペーパー設定」を選ぶ

- 設定ボタンを上／下に押して「ペーパー設定」を選び、設定ボタンをまっすぐ押します。

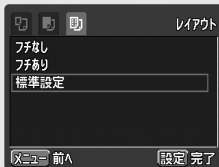
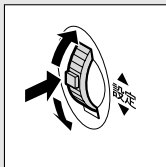
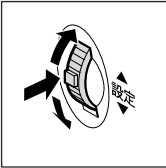
2

ペーパーサイズを選ぶ

- 設定ボタンを上／下に押して使用するペーパーサイズを選び、設定ボタンをまっすぐ押します。

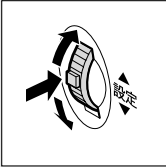
3

ペーパータイプを選ぶ

- 設定ボタンを上／下に押して使用するペーパータイプを選び、設定ボタンをまっすぐ押します。

4

レイアウトの設定を選ぶ

- 設定ボタンを上／下に押してレイアウトの設定を選び、設定ボタンをまっすぐ押します。
- 印刷設定画面に戻ります。

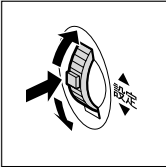
画像を自動補正する（画像補正）

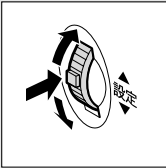
画像補正機能（イメージオプティマイズ）付きプリンターで、画像補正をして印刷したいときに設定します。

1 印刷設定画面

（画像補正）を選ぶ

- 設定ボタンを上／下に押して「 」を選び、設定ボタンをまっすぐ押すと、画像補正を設定できます。

2

画像補正の設定を選ぶ

- 設定ボタンを上／下に押して画像補正の設定を選び、設定ボタンをまっすぐ押します。

日付を印刷する

1 印刷設定画面

（日付印刷）を選ぶ

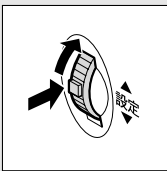
- 設定ボタンを上／下に押して「 」を選び、設定ボタンをまっすぐ押すと、日付印刷が設定できます。

2

日付印刷の設定を選ぶ

- 設定ボタンを上／下に押して日付印刷の設定を選び、設定ボタンをまっすぐ押します。

印刷設定の選びかた

スタイル（ペーパー設定、フチあり／なし）を選ぶ

「スタイル」で設定できる内容は、次のとおりです。

ペーパー設定		ペーパーサイズをL判、2L判、はがき、A4、カードから選ぶ。
フチ	フチなし	ペーパーいっぱいに印刷する。
	フチあり	フチをつけて印刷する。

❍ ペーパーについての詳細は、プリンタの使用説明書をご覧ください。
❍ 1280×960で撮影した静止画では、はがきサイズ、カードサイズ、L判サイズを、640×480で撮影した静止画では、カードサイズをおすすめします。
❍「フチあり」の場合、撮影した静止画とほぼ同じ領域で印刷されます。「フチなし」の場合、撮影した静止画より若干拡大され、静止画の上下、左右を多少カットして印刷されることがあります。

1 「スタイル」を選ぶ

● 設定ボタンを上に押して「スタイル」を選び、設定ボタンをまっすぐ押します。

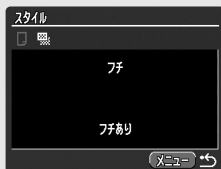
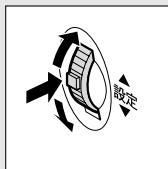
2 「▢」を選ぶ

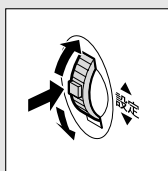
●「▢（ペーパー設定)」が選ばれていることを確認して、設定ボタンをまっすぐ押します。

3 ペーパーサイズを選ぶ

● 設定ボタンを上／下に押して使用するペーパーサイズを選び、設定ボタンをまっすぐ押します。
● メニューボタンを押すと、印刷設定画面に戻ります。

印刷する

4 「▩」を選ぶ

- 設定ボタンを上／下に押して、「▩（フチ）」を選び、設定ボタンをまっすぐ押します。

5 「フチあり」または「フチなし」を選ぶ

- 設定ボタンを上／下に押して「▩（フチあり）」または「▩（フチなし）」を選び、設定ボタンをまっすぐ押します。
- メニューボタンを押すと、印刷設定画面に戻ります。

設定 印刷設定の選びかた

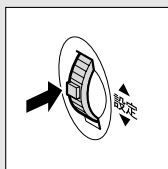
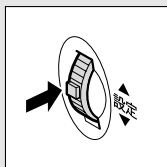
スタイル（分割、フチあり／なし）を選ぶ

「スタイル」で設定できる内容は、次のとおりです。

分割設定	1画面	ペーパー1枚に静止画を1枚印刷する。
	分割画面	ペーパー1枚に同じ静止画を8枚印刷する。
フチ	フチなし	ペーパーいっぱいに印刷する。
	フチあり	フチをつけて印刷する。

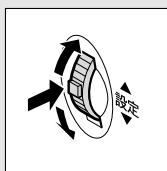
- ❍「分割設定」で「分割画面」を選ぶと、「フチ」の設定はできません。
- ❍「フチあり」の場合、撮影した静止画とほぼ同じ領域で印刷されます。「フチなし」／「分割画面」の場合、撮影した静止画より若干拡大され、静止画の上下、左右を多少カットして印刷されることがあります。
- ❍「分割画面」はカードサイズのペーパーに印刷するときのみ、設定できます。

1 印刷設定画面

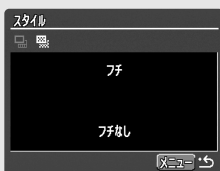
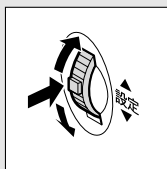
「スタイル」を選ぶ

- 設定ボタンを押して、「スタイル」を選び、設定ボタンをまっすぐ押します。

画面設定を選ぶ

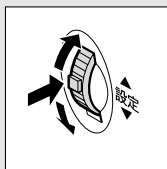
2 「」を選ぶ

- 「（画面設定）」が選ばれていることを確認して、設定ボタンをまっすぐ押します。

3 画面設定を選ぶ

- 設定ボタンを上／下に押して「（1画面）」または「（分割画面）」を選び、設定ボタンをまっすぐ押します。
- メニューボタンを押すと、印刷設定画面に戻ります。

フチあり／フチなしを選ぶ

2 「」を選ぶ

- 設定ボタンを上／下に押して「（フチ）」を選び、設定ボタンをまっすぐ押します。

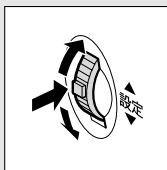
3 「フチあり」または「フチなし」を選ぶ

- 設定ボタンを上／下に押して「（フチあり）」または「（フチなし）」を選び、設定ボタンをまっすぐ押します。
- メニューボタンを押すと、印刷設定画面に戻ります。

印刷する領域を選ぶ（トリミング）

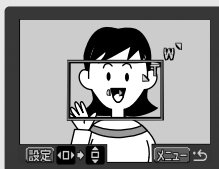
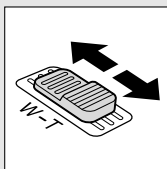
「スタイル」／「ペーパー設定」と「トリミング」の両方を設定するときは、「スタイル」➤「トリミング」の順番で設定してください。

1

印刷設定画面

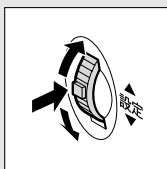
「トリミング」を選ぶ

- 設定ボタンを上／下に押して、「トリミング」を選び、設定ボタンをまっすぐ押します。
- トリミング設定画面になります。

2

印刷する範囲を選ぶ

- 画面に表示される枠内が、印刷されます。

① 大きさを選ぶ

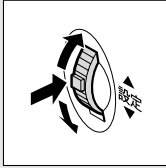
- ズームレバーをW側に動かすと、枠は大きくなります。
- ズームレバーをT側に動かすと、枠は小さくなります。
- 枠を最大にして、さらにズームレバーをW側に動かすと、枠は消えて、トリミングは解除されます。メニューボタンを押すと、印刷設定画面に戻ります。

② 位置を選ぶ

- 設定ボタンを上に押すと枠は右に、下に押すと左に移動します。
- 設定ボタンをまっすぐ押してから、設定ボタンを上に押すと枠は上に、下に押すと下に移動します。
- もう一度設定ボタンをまっすぐ押すと、左右の移動になります。

3

メニューボタンを押す

- 印刷設定画面に戻ります。

印刷する

● 設定ボタンを上／下に押して、「プリント」を選び、設定ボタンをまっすぐ押すと印刷が始まります。正常に終了すると、再生画面に戻ります。

❍ **枠の色について（キヤノンCPシリーズプリンターのみ）**

枠は、3色あります。トリミングするときの目安にしてください。

白：トリミングの設定が行われていません。（初期設定）

緑：推奨する印刷領域です。

赤：印刷は可能ですが、画像が推奨範囲よりも拡大されるため、画質が劣るかもしれません。

・画像サイズやプリントペーパーサイズ、フチの設定によっては緑色の枠が出ないことがあります。

❍ トリミングは、1枚の静止画のみに設定できます。

❍ トリミングの設定は、次の操作をすると解除されます。

・ビデオカメラの電源を切る

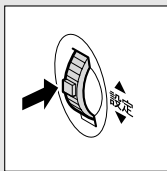
・接続ケーブルをはずす

・トリミングの枠を、最大より大きくする

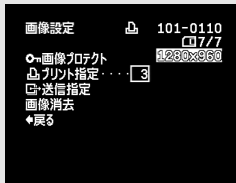
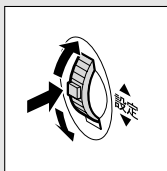
プリント指定した静止画を印刷する

カードに記録した静止画の中から、印刷したい静止画や枚数を指定できます。本機は印刷フォーマットのDPOF（ディーポフ）（Digital Print Order Format）に対応しています。本機で使用できるプリンター（126）で自動印刷できます。プリント指定は、最大200枚の静止画まで設定できます。

①-1 静止画を見ながらプリント指定をする

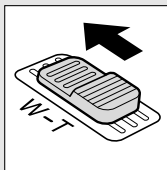
カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生モード**

1 設定ボタンをまっすぐ押す

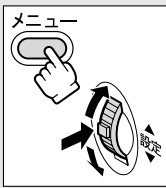
- 画像設定メニューが出ます。

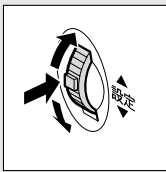
2 プリント指定をする

- 設定ボタンを上／下に押して、「プリント指定」を選びます。設定ボタンをまっすぐ押すと枚数が選べます。設定ボタンを上／下に押して枚数（1枚以上）を選ぶと、「」が出ます。
- 設定ボタンをまっすぐ押すと、プリント指定されます。
- 「⬅戻る」を選ぶと、メニューが消えて、「」は消えますが、プリント指定はそのまま記憶されます。

①-2 インデックス画面でプリント指定をする

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生モード**

1 ズームレバーをW側に押す

- インデックス画面になります。
- プリントする静止画を選びます（「インデックス画面で静止画を選ぶ」操作2 114）。

2 「➡ 🖨 プリント指定」を選ぶ

① メニューボタンを押す
②「カード実行」➤「➡ 🖨プリント指定」を順に選ぶ
・ 設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。

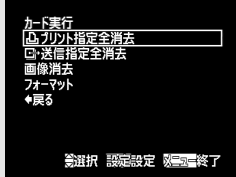
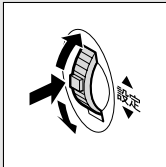
3 🖨 プリント指定をする

- 設定ボタンをまっすぐ押すと「🖨 」が付きます。設定ボタンを上／下に押して、枚数を選びます。
- 設定ボタンをまっすぐ押すと、🖨 プリント指定されて次の静止画を選べます。
- メニューボタンを押すと、通常のインデックス画面に戻ります。

🖨 プリント指定を消去するとき

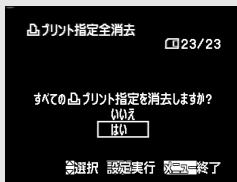
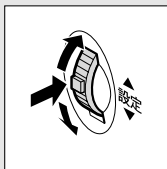
🖨プリント指定をしている静止画を選びます。① -1または2の操作で枚数「0」を選び、設定ボタンをまっすぐ押すと「🖨」が消えます。

①-3 すべての🖨プリント指定を消去する

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生モード**

1 「🖨 プリント指定全消去」を選ぶ

① メニューボタンを押す
②「カード実行」➤「 🖨 プリント指定全消去」を順に選ぶ
・ 設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。

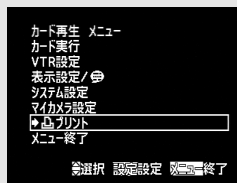
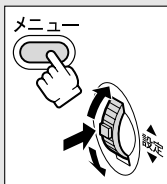
印刷する

2 「はい」を選び、プリント指定を消去する

- 設定ボタンをまっすぐ押すと、すべてのプリント指定が消去されます。

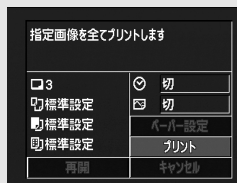
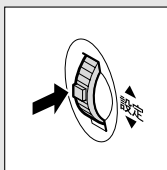
② 印刷する

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生モード**

1 本機とプリンターを接続する（126）

2 「➡ プリント」を選ぶ

① メニューボタンを押す
② 設定ボタンを上／下に押して「➡ プリント」を選び、設定ボタンをまっすぐ押す
・ 印刷設定画面が出ます。

- プリント指定をしていないときは、「プリント指定が必要です」が出ます。
- プリント指定による全印刷枚数が表示されます。

3 「プリント」が選ばれていることを確認して、設定ボタンをまっすぐ押す

- 印刷が始まり、正常に終了すると再生画面に戻ります。

❍ 接続するプリンターによっては、手順3の前に、スタイルやペーパー設定などの印刷設定ができます（📖 132）。

❍ **印刷を中止するとき／印刷中に異常が発生したとき（📖 128）**

❍ **印刷を再開するとき**

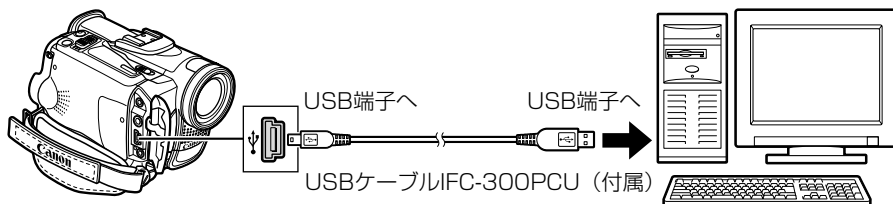
・「カード再生メニュー」を開き、「➡🖨プリント」を選びます。印刷設定画面から「再開」を選び、設定ボタンをまっすぐ押すと、残りの静止画が印刷できます。

・ 次の場合は、印刷は再開できません。
再開する前に、🖨プリント指定を変更した場合
再開する前に、🖨プリント指定をした静止画を削除した場合

印刷する

USBケーブルを使ってパソコンに接続する（USB接続）

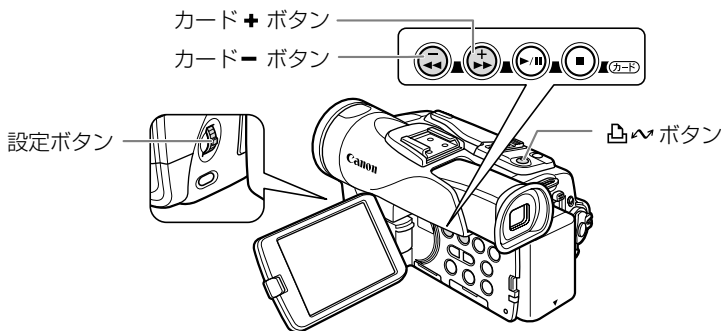
カードに記録した画像を、付属のソフトウェアを使って、パソコンに取り込めます。詳しくはDigital Video Software使用説明書をご覧ください。Windowsをお使いの場合は、（イージーダイレクト）ボタンを押すだけで、簡単に画像をパソコンに転送できます。

接続のしかた

- ❍ カードの画像を読み出したり、カードへ書き込みしている（ビデオカメラのカード動作ランプが点滅している）ときは、次のことを必ず守ってください。カードのデータを破壊することがあります。
  - ・カードカバーを開けたり、カードを出したりしない。
  - ・USBケーブルを絶対に抜かない。
  - ・ビデオカメラやパソコンの電源を切らない。
  - ・テープ/カード切換スイッチを切り換えない。
- ❍ 使用するソフトウェア、パソコンの仕様／設定などによっては、正しく動作しないことがあります。
- ❍ カード内およびカードからハードディスクに読み込んで保存した画像は、大切なオリジナルのデータファイルです。画像のファイルをパソコンで操作するときは、まず始めに、必ずファイルをコピーし、コピーした画像を使用してください。
- ❍ パソコンとDVケーブルで接続しているときは、USB接続する前にDVケーブルを抜いてください。パソコンが正しく動作しないことがあります。

- ❍ コンパクトパワーアダプターを使って、家庭用コンセントから電源をとることをおすすめします。
- ❍ パソコンの使用説明書もあわせてご覧ください。
- ❍ テープに記録した映像は、USB接続でパソコンに取り込めません。
- ❍ Windows XPとMac OS Xをお使いの場合
  本機はPTP（Picture Transfer Protcol）に対応していますので、ビデオカメラとパソコンをUSBケーブルで接続するだけで、付属のDIGITAL VIDEO SOLUTION DISKのソフトウェアをインストールしなくても、静止画（JPEGのみ）をパソコンに取り込めます。

画像をパソコン転送する（Windowsのみ対応）

（イージーダイレクト）ボタンを押すだけでカードに記録した画像を簡単にパソコンに転送できます。

全画像…	カードに記録したすべての画像を転送する
未転送画像…	まだ転送していない画像を転送する
送信指定画像…	送信設定した画像を転送する
画像を選んで転送…	画像を選んで転送する
パソコンの背景…	パソコンのデスクトップの背景にする画像を転送する

準備する

初めてビデオカメラをパソコンに接続するときには、ソフトウェアのインストールと自動起動の設定が必要です。

1 パソコンにDigital Video Softwareをインストールする

- 詳しくはDigital Video Software使用説明書の「Digital Video Softwareをインストールする」をご覧ください。

2 付属のUSBケーブルを、パソコンとビデオカメラのUSB端子に接続する

- 詳しくはDigital Video Software使用説明書の「ビデオカメラをパソコンに接続する」をご覧ください。

3 自動起動を設定する

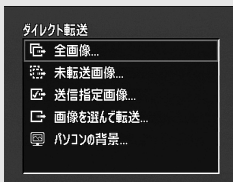
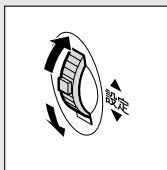
- Digital Video Software使用説明書の「ZoomBrowserEXを起動する」の1～3の操作で自動起動を設定します。
- ビデオカメラの画面に、ダイレクト転送メニューが出て、（イージーダイレクト）ボタンが点灯します。

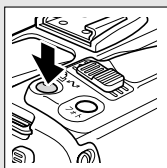
2度目からは、ビデオカメラをパソコンに接続するだけで、準備は完了です。

全画像、未転送画像、送信指定画像を転送する

送信指定画像を転送するときはあらかじめ、送信指定しておきます（📖 147)。

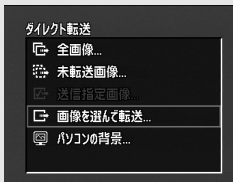
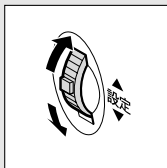
カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生モード**

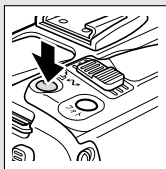
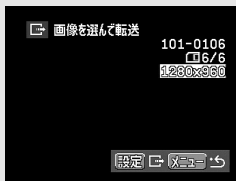
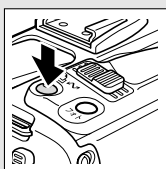
1　「全画像」、「未転送画像」または「送信指定画像」を選ぶ

- 設定ボタンを上／下に押して項目を選びます。

2　（イージーダイレクト）ボタンを押す

- カードに記録した画像がパソコンに転送され、ZoomBrowserEXのメインウィンドウに表示されます。
- 転送が終わると、ダイレクト転送メニュー画面に戻ります。

画像を選んで転送する

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生モード**

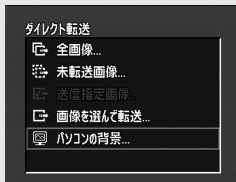
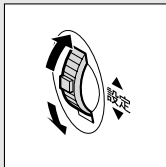
1　「画像を選んで転送」を選ぶ

- 設定ボタンを上／下に押して項目を選びます。

2 ボタンを押す

3 カード+／−ボタンを押す

- 転送する画像を選びます。

4 ボタンを押す

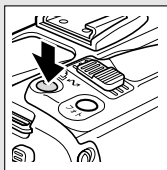
- 画面に出ている画像がパソコンに転送され、ZoomBrowserEXのメインウィンドウに表示されます。
- 転送中は ボタンが点滅します。
- メニューボタンを押すと、ダイレクト転送メニュー画面に戻ります。
- 次に転送する画像をカード＋／－ボタンで選べます。

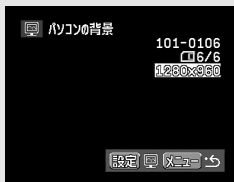
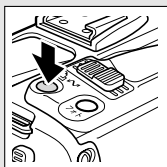
パソコンのデスクトップの背景にする静止画を転送する

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生モード**

1 「パソコンの背景」を選ぶ

- 設定ボタンを上／下に押して項目を選びます。

画像転送する

次のページへ

2 ボタンを押す

3 カード+／－ボタンを押す

- 転送する画像を選びます。

4 ボタンを押す

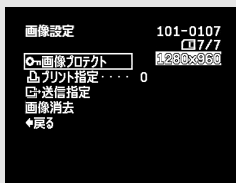
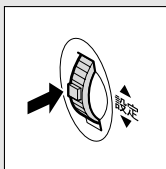
- 画面に出ている画像がパソコンに転送され、パソコンのデスクトップに表示されます。
- 転送中は ボタンが点滅します。
- メニューボタンを押すと、ダイレクト転送メニュー画面に戻ります。

- ❍ 項目や画像を選んだ後に、設定ボタンをまっすぐ押しても、画像を転送できます。「全画像」、「未転送画像」、「送信指定画像」を選んで、設定ボタンを押したときは、確認する画面が出ます。設定ボタンで「OK」を選んで、設定ボタンをまっすぐ押すか、メニューボタンを押します。
- ❍ 転送を中止するときは、設定ボタンをまっすぐ押すか、メニューボタンを押します。
- ❍ 転送できる画像は、JPEG形式の静止画、Motion JPEG形式の動画です。
- ❍ ボタンを使ってダイレクト転送メニューで選んだ項目は、電源スイッチや撮影モード切換スイッチを切り換えても憶えています。
  「画像を選んで転送」または「パソコンの背景」を選んでいた場合は、接続すると画像を選ぶ画面になります（メニューボタンを押すと、ダイレクト転送メニューを表示できます）。

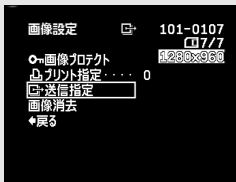
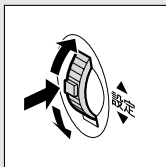
転送する画像を送信指定する

カードに記録した画像の中から、パソコンに転送する画像を指定できます。本機はDPOF（ディーポフ）
（Digital Print Order Format）の一部の機能の送信指定に対応しています。
送信指定は、最大200枚の画像まで設定できます。

①-1　画像を見ながら送信指定する

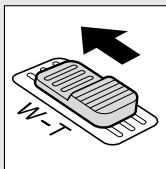
カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生モード**

1 設定ボタンをまっすぐ押す

- 画像設定メニューが出ます。

2 送信指定する

- 設定ボタンを上／下に押して、「送信指定」を選び、設定ボタンをまっすぐ押すと、送信指定されます。
- 「戻る」を選ぶと、メニューが消えて、「」は消えますが、送信指定はそのまま記憶されます。

①-2　インデックス画面で送信指定する

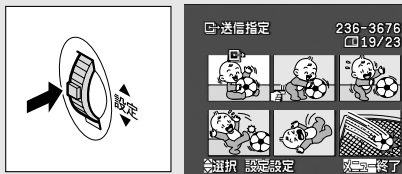
カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生モード**

1 ズームレバーをW側に押す

- インデックス画面になります。
- 送信指定する画像を選びます（「インデックス画面で画像を選ぶ」操作2 📖 114）。

次のページへ

2 「➡ 送信指定」を選ぶ

① メニューボタンを押す
②「カード実行」➤「➡ 送信指定」を順に選ぶ
・ 設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。

3 送信指定する

- 設定ボタンをまっすぐ押すと送信指定されて次の画像を選べます。
- メニューボタンを押すと、通常のインデックス画面に戻ります。

送信指定を消去するとき

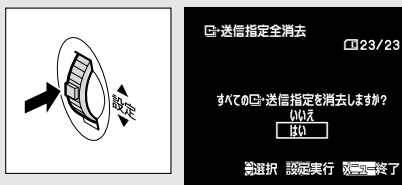
送信指定をしている画像を選びます。①-1または2の操作で設定をボタンをまっすぐ押すと「」が消えます。

①-3 すべての送信指定を消去する

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生モード**

1 「 送信指定全消去」を選ぶ

① メニューボタンを押す
②「カード実行」➤「 送信指定全消去」を順に選ぶ
・ 設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。

2 「はい」を選び、 送信指定を消去する

- 設定ボタンをまっすぐ押すと、すべての 送信指定が消去されます。

メニュー一覧

メニュー一覧の設定内容について、ご購入時には太文字の内容に設定されています。

カメラメニュー（電源スイッチ：カメラ、テープ/カードー切換スイッチ：📼）

サブメニュー項目	設定内容	意味	📖
➡カードミックス			
ミックスタイプ	**カード クロマキー**	カードミックスの種類を選ぶ。	122
	カード ルミキー		
	カメラ クロマキー		
	カード アニメーション		
アニメーションタイプ	**コーナー**	カードアニメーションの種類を選ぶ。	122
	ストレート		
	ランダム		
ミックスレベル		ミックスレベルを調整する。	122
カメラ設定			
シャッター	**オート**	シャッタースピードを自動で調整する。	56
	オート以外	シャッタースピードを手動で設定する。	
オートスローシャッター	**入**	□（全自動）モードとオートモードでシャッターがオートのとき、1/30までのスローシャッターを使う。 ・暗めの室内など明るさが不足する場所で、明るく撮影できます。 ・動きのある被写体を撮影すると、尾を引いたような残像が出ることがあります。	–
	切	1/30のスローシャッターを使わない。	
デジタルズーム	切	デジタルズームの設定を選ぶ。	33
	72×		
	360×		
手ぶれ補正（✋）	**入**	手ぶれを補正する。 ・ズームの望遠側で撮るときなど、手ぶれの少ない安定した画面で撮影できます。 ・手ぶれが大きすぎると、補正しきれないことがあります。 ・暗いところで、ナイトモードで撮影すると、手ぶれ補正が効きにくくなります。 ・□（全自動）モードのときは、手ぶれ補正は解除できません。	–
	切	手ぶれ補正を解除する。 ・三脚などを使用して撮影するときやビデオカメラを左右に動かして撮影するときは、手ぶれ補正を切ることもできます。	

サブメニュー項目	設定内容	意味	📖
カメラ設定			
16：9	**切**	通常の4：3のテレビ用に撮影する。	–
	入	ワイドテレビ用に撮影する。 ・手ぶれ補正を「切」にすると高解像度で、広い範囲を撮影できます。 ・横長画面（画面の横、縦の比率が16：9）のワイドテレビ用に撮影したときは、テレビをワイドテレビモードに切り換えてください（詳しくは、テレビの使用説明書もあわせてご覧ください）。通常（画面の横、縦の比率が4：3）のテレビで再生すると、縦に伸びた映像になります。S1映像入力端子やビデオID-1方式対応のテレビに接続すると、自動的にワイド画面に切り換わります（📖42)。 ・16：9を「入」に設定しているとき、マルチ画面、静止画記録は使用できません。 ・撮影モードが□（全自動）モードのとき、16：9は使用できません。	
ホワイトバランス	**オート**	色合いを自動で調整する。	54
	オート以外	色合いの調整を撮影する状況に合わせて設定する。	
フラッシュ*	**オート**	別売のビデオフラッシュライトVFL-1のフラッシュ設定を選ぶ。	78
	赤目緩和オート		
	強制発光		
	発光禁止		
AF補助光*	**オート**	AF補助光（白色LED）を周囲の明るさに合わせて自動的に点灯させる。	80
	切	AF補助光を使わない。	
ナイトモード	ナイト	暗いところで明るく撮影できる。ナイト＋では、補助光（白色LED）は常時点灯し、スーパーナイトでは周囲の明るさによって自動的に点灯する。	47
	ナイト＋		
	スーパーナイト		
美肌	入	美肌モードを使う。	49
	切	美肌モードを使わない。	
静止画記録	**切**	フォトボタンを押したときに静止画をカードに記録しない。	99
	ファイン	フォトボタンを押したときに静止画を高画質でカードに記録する。	
	ノーマル	フォトボタンを押したときに静止画を標準画質でカードに記録する。	
VTR設定			
録画モード	**SP**	SP（標準）モードで録画する。	59
	LP	LP（標準の1.5倍の録画時間）モードで録画する。	
AV/ヘッドホン	**AV**	映像/音声端子を使って、映像と音声を入出力する。	40
	ヘッドホン	ヘッドホンを使う。	39

* 別売のビデオフラッシュライトVFL-1を接続して、電源スイッチを ONにしたときにメニューに表示されます。

サブメニュー項目	設定内容	意味	📖
オーディオ設定			
ウィンドカット	**オート**	内蔵マイクを使用時に風の音などがあると検出して、風の影響を自動的に低減する。	60
	切	風音などを低減しない。	
オーディオモード	16bit	ステレオ音声が高音質で記録できる。（アフレコできない）	–
	12bit	アフレコできるように音声を記録する。	
🎧音量		ヘッドホンの音量を調整する。	39
表示設定/💬			
LCDあかるさ調整		液晶画面の明るさを調整する。設定ボタンを上／下に押す。 ・液晶画面上の画像が暗すぎたり、明るすぎたりしたときに調整します。 ・画面の明るさの調整は、撮影する画像の明るさとは関係ありません。また、ファインダーの明るさは変わりません。	–
LCD対面ミラー	**入**	対面撮影するときに、液晶画面に映る映像が左右逆になり、鏡を見ているような映像になる。 ・液晶画面には、テープ走行表示とセルフタイマー以外の表示は出ません（ファインダーには、通常の表示が出ます。）	–
	切	ビデオカメラが撮っているそのままの画面になり、画面上の文字などを読むことができる。	
オンスクリーン	**入**	画面の情報を本機に接続したテレビ画面に表示する。 ・モニターテレビで情報を確認しながら撮影するときに使います。 ・リモコンのオンスクリーンボタンを押しても操作できます。	–
	切	画面の情報を本機に接続したテレビ画面に表示しない。	
日時表示	入	撮影中にも日時を表示する。	27
	切	撮影中に日時を表示しない。	
言語💬		画面に表示する言語を選ぶ。 DEUTSCH（ドイツ語）、ENGLISH（英語）、ESPAÑOL（スペイン語）、FRANÇAIS（フランス語）、ITALIANO（イタリア語）、РУССКИЙ（ロシア語）、中文（簡体中国語）、**日本語**	–

その他

メニュー一覧　カメラメニューーつづき

サブメニュー項目	設定内容	意味	
表示設定/			
日時スタイル		日時の表示（印刷時を含む）のしかたを選ぶ。 例）**2004. 1. 1 AM12:00**、 1.JAN. 2004 12:00 AM、 JAN. 1,2004 12:00 AM	–
デモモード	**入**	デモンストレーション（機能紹介）を行う。 ・カセットとカードを入れずに「入」に設定してメニューを閉じたとき、またはカセットとカードが入っていない状態で電源スイッチを「カメラ」にして5分が過ぎると、自動的に機能紹介が始まります。 ・デモモードを終了するには、いずれかの操作ボタンを押す／電源を切る／カセットまたはカードを入れます。	–
	切	デモンストレーションを行わない。	
システム設定			
リモコンコード	**1**	リモコンコードが「1」に設定されたリモコンの操作を受け付ける。	77
	2	リモコンコードが「2」に設定されたリモコンの操作を受け付ける。	
	切	リモコンの信号を受け付けない。	
おしらせ音	**入**	電源を入れたとき、スタート/ストップボタンを押したとき、セルフタイマーで撮影するとき、結露などの警告を知らせるとき、などに音が鳴る。	–
	切	おしらせ音をすべて鳴らないようにする。	
エリア／サマータイム		世界時計のエリアを設定する。	25
日時設定		日時を設定する。	26
マイカメラ設定			
起動音	切、**初期設定**、ユーザー設定	起動音を選ぶ。	76
シャッター音		シャッター音を選ぶ。	
操作音		操作音を選ぶ。	
セルフタイマー音		セルフタイマー音を選ぶ。	

VTRメニュー（電源スイッチ：再生（VTR）、テープ/カード切換スイッチ：）

サブメニュー項目	設定内容	意味	
VTR設定			
録画モード	**SP**	SP(標準）モードで録画する。	59
	LP	LP(標準の1.5倍の録画時間）モードで録画する。	
AV/ヘッドホン	**AV**	映像/音声端子を使って、映像と音声を入出力する。	40
	ヘッドホン	ヘッドホンを使う。	39
AV入力→DV出力	入	アナログ入力した映像と音声を、デジタル変換してDV端子から出力する。	87
	切	アナログ入力した映像と音声を、デジタル変換しない。	
オーディオ設定			
バイリンガル	**メイン+サブ**	ステレオ音声または主+副音声を再生する。	–
	メイン	左音声または主音声を再生する。	
	サブ	右音声または副音声を再生する。	
アフレコ入力	**音声入力**	オーディオ機器を使ってアフレコする。	89
	マイク入力	内蔵／外部マイクを使ってアフレコする。	
ウィンドカット	**オート**	内蔵マイクを使用時に風の音などがあると検出して、風の影響を自動的に低減する。	60
	切	風音などを低減しない。	
オーディオモード	16bit	ステレオ音声が高音質で記録できる。（アフレコできない）	–
	12bit	アフレコできるように音声を録音する。	
12bit音声出力	**ステレオ1**	撮影時の音声とアフレコした音声の再生のしかたを選ぶ。	92
	ステレオ2		
	ミックス/1：1		
	ミックス/バリアブル		
ミックスバランス		「12bit音声出力」で「ミックス/バリアブル」を選んだとき、ステレオ1とステレオ2のバランスを調整する。	92
カード設定			
静止画像画質	スーパーファイン	カードに最高画質で記録する。	95
	ファイン	カードに高画質で記録する。	
	ノーマル	カードに標準画質で記録する。	
動画画像サイズ	**320×240**	カードに記録する動画の画像サイズを選ぶ。	96
	160×120		
番号リセット	する	ファイル番号をリセットする。	97
	しない	ファイル番号をリセットしない。	

サブメニュー項目	設定内容	意味	📖
表示設定/			
LCDあかるさ調整		液晶画面の明るさを調整する。設定ボタンを上／下に押す。 ・液晶画面上の画像が暗すぎたり、明るすぎたりしたときに使います。 ・画面の明るさの調整は、再生または記録する画像の明るさとは関係ありません。また、ファインダーの明るさは変わりません。	—
オンスクリーン	入	画面の情報を本機に接続したテレビ画面に表示する。 ・モニターテレビで情報を確認しながら撮影するときに使います。 ・リモコンのオンスクリーンボタンを押しても操作できます。	—
	切	画面の情報を本機に接続したテレビ画面に表示しない。	
再生時文字表示	**入**	再生時に画面に文字表示が出る。	—
	切	液晶画面での再生時にデータコード以外の画面の文字を消す。 ・再生ズーム中とデジタルエフェクト実行中は、表示します。 ・操作中は表示が出て、操作が終わると2秒後に消えます。 液晶画面のデータコード以外の文字を消すと、一部の警告文をのぞき、接続しているテレビの画面上の文字も消えます。	
日付オート表示	入	テープの再生を始めたとき、または再生中に日付／エリアが変わったときに約6秒間日付を表示する。 ・「再生時文字表示」が「切」になっていても、日付は約6秒間表示します。	—
	切	(約6秒間の)日付表示をしない。	
データコード	**日時**	データコードボタンを押すと、日時のみ表示する。	71
	カメラデータ	カメラデータを表示する。	
	日時＆カメラデータ	日時とカメラデータを表示する。	
日時選択	日付	「データコード」で「日時」を選択したとき、日付を表示する。	71
	時刻	「データコード」で「日時」を選択したとき、時刻を表示する。	
	日付＆時刻	「データコード」で「日時」を選択したとき、日付と時刻を表示する。	

サブメニュー項目	設定内容	意味	📖
表示設定/			
言語		画面に表示する言語を選ぶ。 DEUTSCH（ドイツ語）、ENGLISH（英語）、ESPAÑOL（スペイン語）、FRANÇAIS（フランス語）、ITALIANO（イタリア語）、РУССКИЙ（ロシア語）、中文（簡体中国語）、**日本語**	–
日時スタイル		日時の表示（印刷時を含む）のしかたを選ぶ。 例）**2004. 1. 1 AM12:00**、 1.JAN. 2004 12:00 AM、 JAN. 1,2004 12:00 AM	–
システム設定			
リモコンコード	**1**	リモコンコードが「1」に設定されたリモコンの操作を受け付ける。	77
	2	リモコンコードが「2」に設定されたリモコンの操作を受け付ける。	
	切	リモコンの信号を受け付けない。	
おしらせ音	**入**	電源を入れたとき、スタート/ストップボタンを押したとき、セルフタイマーで撮影するとき、カードカメラモードで静止画を撮影するときのシャッター音、結露などの警告を知らせるとき、などに音が鳴る。	–
	切	おしらせ音をすべて鳴らないようにする。	
エリア/サマータイム		世界時計のエリアを設定する。	25
日時設定		日時を設定する。	26
マイカメラ設定			
起動音	切、**初期設定**、ユーザー設定	起動音を選ぶ。	76
シャッター音		シャッター音を選ぶ。	
操作音		操作音を選ぶ。	
セルフタイマー音		セルフタイマー音を選ぶ。	

カードカメラメニュー（電源スイッチ：カメラ、テープ/カード切換スイッチ：□）

サブメニュー項目	設定内容	意味	📖
カメラ設定			
シャッター	**オート**	シャッタースピードを自動で調整する。	56
	オート以外	シャッタースピードを手動で設定する。	
オートスローシャッター	**入**	□（全自動）モードとオートモードでシャッターがオートのとき、1/15までのスローシャッターを使う。 ・暗めの室内など明るさが不足する場所で、明るく撮影できます。 ・動きのある被写体を撮影すると、尾を引いたような残像が出ることがあります	–
	切	スローシャッターを使わない。 画面に（手ブレ警告）が表示された場合は、三脚などでカメラを固定してください。	
デジタルズーム	**切**	デジタルズームの設定を選ぶ。	33
	72×		
ホワイトバランス	**オート**	色合いを自動で調整する。	54
	オート以外	色合いの調整を撮影する状況に合わせて設定する。	
フラッシュ*	**オート**	別売のビデオフラッシュライトVFL-1のフラッシュ設定を選ぶ。	78
	赤目緩和オート		
	強制発光		
	発行禁止		
AF補助光*	**オート**	AF補助光（白色LED）を周囲の明るさに合わせて自動的に点灯させる。	80
	切	AF補助光を使わない。	
フォーカス優先	**入**	フォーカス優先にする。	108
	切	フォーカス優先にしない。	
ND	**オート**	NDフィルターを自動で入れる。	–
	切	NDフィルターを入れない。	
ナイトモード	ナイト	暗いところで明るく撮影できる。ナイト＋では、補助光（白色LED）は常時点灯し、スーパーナイトでは周囲の明るさによって自動的に点灯する。	47
	ナイト＋		
	スーパーナイト		
美肌	入	美肌モードを使う。	49
	切	美肌モードを使わない。	
静止画確認時間	切、**2秒**、4秒、6秒、8秒、10秒	カードに記録した静止画を、記録後に確認できる時間を選ぶ。	103
カード設定			
静止画像画質	スーパーファイン	カードに最高画質で記録する。	95
	ファイン	カードに高画質で記録する。	
	ノーマル	カードに標準画質で記録する。	

* 別売のビデオフラッシュライトVFL-1を接続して、電源スイッチを ONにしたときにメニューに表示されます。

サブメニュー項目	設定内容	意味	📖
カード設定			
静止画像サイズ	**1280×960**	カードに記録する静止画の画像サイズを選ぶ。	96
	640×480		
動画画像サイズ	**320×240**	カードに記録する動画の画像サイズを選ぶ。	96
	160×120		
番号リセット	する	ファイル番号をリセットする。	97
	しない	ファイル番号をリセットしない。	
VTR設定			
AV/ヘッドホン🎧	**AV**	映像/音声端子を使って、映像と音声を入出力する。	40
	ヘッドホン🎧	ヘッドホンを使う。	39
オーディオ設定			
ウィンドカット	**オート**	内蔵マイクを使用時に風の音などがあると検出して、風の影響を自動的に低減する。	60
	切	風音などを低減しない。	
🎧音量		ヘッドホンの音量を調整する。	39
表示設定/💬			
LCDあかるさ調整		液晶画面の明るさを調整する。設定ボタンを上／下に押す。 ・液晶画面上の画像が暗すぎたり、明るすぎたりしたときに調整します。 ・画面の明るさの調整は、撮影する画像の明るさとは関係ありません。また、ファインダーの明るさは変わりません。	–
LCD対面ミラー	**入**	対面撮影するときに、液晶画面に映る映像が左右逆になり、鏡を見ているような映像になる。 ・液晶画面には、カードの動作表示、セルフタイマー以外の表示は出ません(ファインダーには、通常の表示が出ます。)	–
	切	ビデオカメラが撮っているそのままの画面になり、画面上の文字などを読むことができる。	
オンスクリーン	**入**	画面の情報を本機に接続したテレビ画面に表示する。 ・モニターテレビで情報を確認しながら撮影するときに使います。 ・リモコンのオンスクリーンボタンを押しても操作できます。	–
	切	画面の情報を本機に接続したテレビ画面に表示しない。	

その他

サブメニュー項目	設定内容	意味	📖
表示設定/			
日時表示	入	撮影中にも日時を表示する。	27
	切	撮影中に日時を表示しない。	
言語		画面に表示する言語を選ぶ。 DEUTSCH（ドイツ語）、ENGLISH（英語）、ESPAÑOL（スペイン語）、FRANÇAIS（フランス語）、ITALIANO（イタリア語）、РУССКИЙ（ロシア語）、中文（簡体中国語）、**日本語**	－
日時スタイル		日時の表示（印刷時を含む）のしかたを選ぶ。 例）**2004. 1. 1 AM12:00**、 1.JAN. 2004 12:00 AM、 JAN. 1,2004 12:00 AM	－
デモモード	**入**	デモンストレーション（機能紹介）を行う。 ・カセットとカードを入れずに「入」に設定してメニューを閉じたとき、またはカセットとカードが入っていない状態で電源スイッチを「カメラ」にして5分が過ぎると、自動的に機能紹介が始まります。 ・デモモードを終了するには、 いずれかの操作ボタンを押す／電源を切る／カセットまたはカードを入れます。	－
	切	デモンストレーションを行わない。	
システム設定			
リモコンコード	**1**	リモコンコードが「1」に設定されたリモコンの操作を受け付ける。	77
	2	リモコンコードが「2」に設定されたリモコンの操作を受け付ける。	
	切	リモコンの信号を受け付けない。	
おしらせ音	**入**	電源を入れたとき、スタート/ストップボタンを押したとき、セルフタイマーで撮影するとき、カードカメラモードで静止画を撮影するときのシャッター音、結露などの警告を知らせるとき、などに音が鳴る。	－
	切	おしらせ音をすべて鳴らないようにする。	
エリア/サマータイム		世界時計のエリアを設定する。	25
日時設定		日時を設定する。	26
マイカメラ設定			
起動音	切、**初期設定**、ユーザー設定	起動音を選ぶ。	76
シャッター音		シャッター音を選ぶ。	
操作音		操作音を選ぶ。	
セルフタイマー音		セルフタイマー音を選ぶ。	

カード再生メニュー（電源スイッチ：再生（VTR）、テープ/カード切換スイッチ：□）

サブメニュー項目	設定内容	意味	📖
カード実行（画像を1枚表示しているとき）			
プリント指定全消去	**いいえ**	プリント指定の消去を行わない。	139
	はい	プリント指定をすべて消去する。	
送信指定全消去	**いいえ**	送信指定の消去を行わない。	148
	はい	送信指定をすべて消去する。	
画像消去	**キャンセル**	画像の消去を行わない。	118
	一枚消去	1枚の画像を消去する。	
	全消去	カードにあるすべての画像を消去する（プロテクト設定したものを除く）。	
フォーマット	**キャンセル**	カードをフォーマット（初期化）しない。	124
	実行	カードをフォーマット（初期化）する。	
カード実行（インデックス画面を表示しているとき）			
➡画像プロテクト		画像プロテクト設定画面へ	116
➡プリント指定		プリント指定設定画面へ	138
➡送信指定		送信指定設定画面へ	147
VTR設定			
AV/ヘッドホン	**AV**	映像/音声端子を使って、映像と音声を入出力する。	40
	ヘッドホン	ヘッドホンを使う。	39
表示設定/			
LCDあかるさ調整		液晶画面の明るさを調整する。設定ボタンを上／下に押す。 ・液晶画面上の画像が暗すぎたり、明るすぎたりしたときに調整します。 ・画面の明るさの調整は、再生する画像の明るさとは関係ありません。また、ファインダーの明るさは変わりません。	–
オンスクリーン	入	画面の情報を本機に接続したテレビ画面に表示する。 ・モニターテレビで情報を確認しながら撮影するときに使います。 ・リモコンのオンスクリーンボタンを押しても操作できます。	–
	切	画面の情報を本機に接続したテレビ画面に表示しない。	

その他

サブメニュー項目	設定内容	意味	
表示設定/			
再生時文字表示	**入**	再生時に画面に文字表示が出る。	–
	切	液晶画面で再生時にデータコード以外の画面の文字を消す。 ・再生ズーム中は、表示します。 ・操作中は表示が出て、操作が終わると2秒後に消えます。ただし、インデックス画面のときは、表示は消えません。 液晶画面のデータコード以外の文字を消すと、一部の警告文をのぞき、接続しているテレビの画面上の文字も消えます。	
日時選択	日付	日付を表示する。	71
	時刻	時刻を表示する。	
	日付＆時刻	日付と時刻を表示する。	
言語		画面に表示する言語を選ぶ。 DEUTSCH（ドイツ語）、ENGLISH（英語）、ESPAÑOL（スペイン語）、FRANÇAIS（フランス語）、ITALIANO（イタリア語）、РУССКИЙ（ロシア語）、中文（簡体中国語）、**日本語**	–
日時スタイル		日時の表示（印刷時を含む）のしかたを選ぶ。 例）**2004. 1. 1 AM12:00**、 1.JAN. 2004 12:00 AM、 JAN. 1,2004 12:00 AM	–
システム設定			
リモコンコード	**1**	リモコンコードが「1」に設定されたリモコンの操作を受け付ける。	77
	2	リモコンコードが「2」に設定されたリモコンの操作を受け付ける。	
	切	リモコンの信号を受け付けない。	
おしらせ音	**入**	電源を入れたとき、スタート/ストップボタンを押したとき、セルフタイマーで撮るとき、カードカメラモードで静止画を撮るときのシャッター音、結露などの警告を知らせるとき、などに音が鳴る。	–
	切	「入」で設定する音をすべて鳴らないようにする。	
エリア／サマータイム		世界時計のエリアを設定する。	25
日時設定		日時を設定する。	26

サブメニュー項目	設定内容	意味	📖
マイカメラ設定			
起動画面作成		「起動画面選択」の「ユーザー設定」に起動画面を登録する。	125
起動画面選択	切、 **CANON　ロゴ**、 ユーザー設定	起動画面を選ぶ。	76
起動音	切、**初期設定**、 ユーザー設定	起動音を選ぶ。	
シャッター音		シャッター音を選ぶ。	
操作音		操作音を選ぶ。	
セルフタイマー音		セルフタイマー音を選ぶ。	
➡ プリント			
別売のダイレクトプリント対応プリンターを接続したときに出ます。			140

その他

ネットワークモードについて(DV Messenger Version2)

付属のソフトDV Messenger (Windows XP専用)を使うと、パソコンからビデオカメラを操作できます。DV Messengerを使用するときは、本機を「ネットワークモード」にしてパソコンと接続します。
DV Messengerは、DV（IEEE1394）端子で使用できます。
DV Messengerについて、詳しくはDV Network Software使用説明書をご覧ください。

接続のしかた

1 パソコンを起動する

2 DV Messengerをインストールする

3 本機にコンパクトパワーアダプターを接続する

4 電源スイッチの左下のボタンを押しながら、電源スイッチを「ネットワーク」にする

5 DVケーブルで、本機とパソコンを接続する

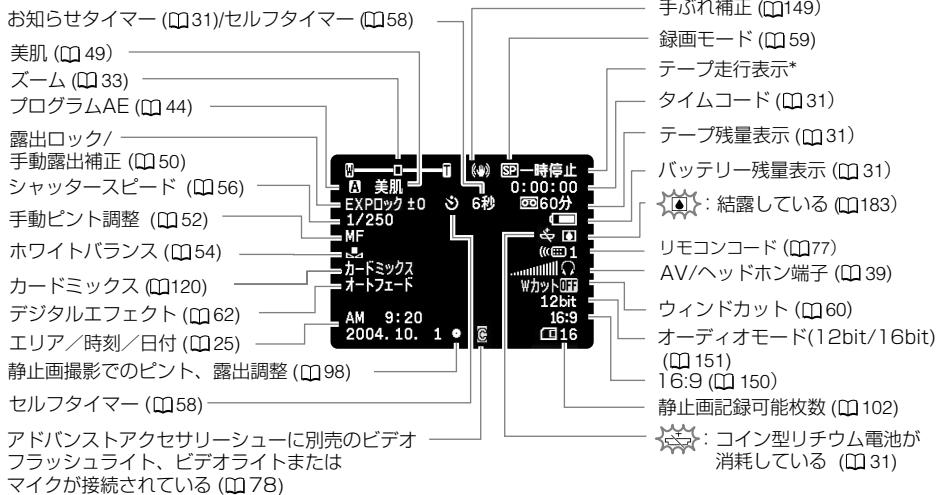
- 本機の画面に「ネットワークモード」が表示されます。

- 本機とパソコンを接続したら、DV Messengerを起動してください。パソコンのDV Messengerの画面を使って、ビデオカメラを操作できます。

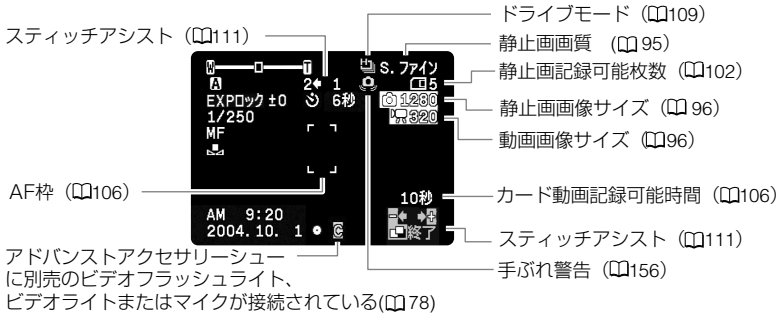
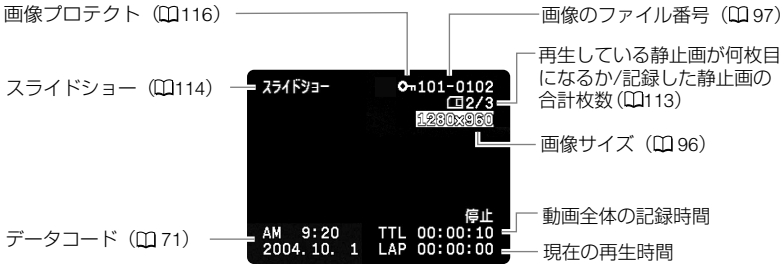
❍ DV Messengerが起動して使用可能な状態となると、本機で撮影している映像がパソコンの画面に表示されます。
❍ ネットワークモードでは、ビデオカメラをパソコンから操作しますので、一部の機能を除き、ビデオカメラ本体では操作できません。
ビデオカメラ本体で操作できる機能は、以下のとおりです。
DV Messengerでカメラ操作用パネルを表示している場合：
・ ズーム
・ ピント合わせ（DV Messengerで手動ピント合わせを設定しているとき）
DV MessengerでVTR操作用パネルを表示している場合：
・ 内蔵スピーカーの音量調整
以下の機能は、動作しません。
・ 手ぶれ補正
・ デジタルズーム
❍ リモコンでの操作はできません。

画面表示について

は点滅表示を示しています。

カメラモード

再生（VTR）モード

その他

カードカメラモード

カード再生モード

お知らせ表示(約4秒間表示されます)

エリア／日時を設定してください	世界時計のエリアまたは日時を設定していません。世界時計のエリアと日時を設定してください（🕮 25)。
バッテリーパックを取り替えてください	バッテリーパックが消耗しています。十分に充電されたバッテリーと交換してください（🕮 17)。
カセットの誤消去防止ツマミを確認してください	カセットが録画できない状態になっています。別のカセットと入れ換えるか、カセットの誤消去防止つまみをRECに切り換えてください（🕮 174)。
カセットを取り出してください	テープ保護のため、本機が動作を中止しました。カセットを取り出して最初から操作をやり直してください（🕮 20)。
DV入力を確認してください	ＤＶケーブルがＤＶ端子にきちんと接続されていない、または接続されたデジタルビデオ機器の電源が切れています。 ケーブルと端子、電源を確認してください（🕮 85)。
結露しています	ビデオカメラ内部に水滴がついています（🕮 183)。
テープ終了です	テープが最後まで巻かれています。カセットを巻戻す、または取り出してください（🕮 20、37)。
テープを確認してください [記録モード]	長時間録画モードで記録された部分です。アフレコできません（🕮 89)。
テープを確認してください [オーディオモード]	16bitまたは12bit 4チャンネルで記録された部分です。アフレコできません（🕮 89)。
テープを確認してください [録画していません]	記録されていない部分のため、アフレコできません（🕮 89)。
クリーニングカセットを使ってください [ヘッドよごれ]	録画を開始した直後、ビデオヘッドが汚れているときに表示されます。必ずビデオヘッドのクリーニングをしてください（🕮 176)。
カードがありません	カードがビデオカメラ本体に入っていません（🕮 94)。
カードの誤消去防止ツマミを確認してください	SDメモリーカードが記録（書き込み）ができない状態になっています。SDメモリーカードの誤消去防止のつまみを記録できる状態に切り換えてください（🕮 94)。
画像がありません	カードに再生する画像がありません。
カードエラーです	カードにエラーがあり、記録、再生できません。 一時的にカードエラーが起きる場合があります。「カードエラーです」の表示が4秒後に消えて□が赤色で点滅するときは、電源を切り、カードを出し入れしてください。□が緑色点灯すれば、そのまま記録、再生できます。
カードがいっぱいです	カードに空き容量がありません。別のカードと入れ換えるか、画像を消去してください。
ファイル名が作成できません	ファイル番号やフォルダー番号が最大になりました。
この画像は記録できません	アナログ入力した映像をカードに記録するときに、信号の状態によっては記録できないことがあります。
この画像は再生できません	再生できない画像フォーマット、互換性のないJPEG画像、またはデータが破壊されている画像を再生しようとしました。
この画像は起動画面にできません	本機以外、または異なるフォーマットで記録した静止画、またはパソコンに取り込んで加工した静止画を起動画面に設定しようとしました。

送信指定エラー	送信指定の設定可能な画像の枚数（200枚）を超えました（ 147）。
転送できません	動画は「 パソコンの背景」では転送できません。
静止画像が多すぎます USBをぬいてください	USBケーブルを抜いて、カードの静止画像が1800枚以下になるまで静止画を消去してから、USBケーブルを接続し直してください。OSの設定によっては画面が出る場合があります。このような場合は、画面を閉じてから、USBケーブルを接続し直してください。

著作権保護信号(約4秒間表示されます)

コピー禁止テープです 再生できません	(本機が再生側の場合) 著作権保護信号が記録されているテープを再生した場合、青い画面上に表示されます。この表示が出るテープは再生できません。
コピー禁止です	(本機が録画側の場合) 著作権保護信号が記録されているテープをダビング録画しようとした場合に、青い画面上に表示されます。この表示が出るテープは記録できません。また、アナログ入力時に、テレビやビデオから出力される信号が乱れている場合にも表示されることがあります（ 83、85)。 アナログ－デジタル変換時は、動作中、表示され続けます（ 87)。

ダイレクトプリント対応プリンターの接続時に出るお知らせ表示

本機とダイレクトプリント対応プリンターを接続時に、本機の画面に次のお知らせ表示が出ることがあります。対処方法については、プリンターの使用説明書をあわせてご覧ください。
キヤノンBubble Jet Direct対応プリンタ（操作パネル付き）の場合、操作パネルに表示されるエラー番号やエラーメッセージも、プリンタの使用説明書でご確認ください。

ペーパーエラー	ペーパーに異常があります。 印刷できないサイズのペーパーがプリンターに取り付けられているか、または指定されたペーパーで印刷できないインクが取り付けられています。
ペーパーがありません	プリンターにペーパーが正しく入っていない、またはペーパーがありません。
ペーパーが詰まりました	印刷中にペーパーが詰まりました。
ペーパーが変更されています	ペーパーを選んでから印刷を開始するまでの間に、ペーパーサイズが変わりました。
ペーパーの種類が違います	プリンターで使用できないペーパーを選んでいます。使用できるペーパーを選んでください。
指定外のペーパーです	本機で扱えないペーパーがプリンターに取り付けられました。
インクエラー	インクに異常があります。
インクがありません	インクが正しくセットされていない、またはインクがありません。
インクが残りわずかです	インクの交換時期です。
インクカセットが異常です	インクカセットに異常があります。
ペーパーとインクが不一致です	指定された用紙で使用できるインクではありません。

廃インクタンクが満杯です	廃インクタンク（廃インク吸収体）が満杯になりそうです。プリンターの使用説明書をご覧ください。
ファイルエラー	本機以外、または異なるフォーマットで記録した静止画、またはパソコンに取り込んで加工した静止画を印刷しようとしました。
プリントできない画像です	本機以外、または異なるフォーマットで記録した静止画、またはパソコンに取り込んで加工した静止画を印刷しようとしました。
プリントできない画像が＊枚ありました	本機以外、または異なるフォーマットで記録した静止画、またはパソコンに取り込んで加工した静止画を＊枚DPOF設定で印刷しようとしました。
プリント指定が必要です	プリント指定していない静止画を、カード再生メニューの「➡プリント」を使って印刷しようとしました。
プリント指定エラー	プリント指定の設定可能な静止画の枚数（200枚）を超えました（ 138)。
トリミングできない画像です	画像サイズが160×120の静止画をトリミングしようとしました。または、横、縦の比率が4：3から大きくずれた画像でトリミングしようとしました。
トリミングの再設定が必要です	トリミングの設定後に「スタイル」の設定を変更しました。
プリンタートラブル発生	[中止]を選んで印刷を中止し、プリンターの電源を切って、しばらくしてから電源を入れ直してください。プリンターの状態を確認してください。
プリントエラー	「中止」を選んで印刷を中止し、プリンターの電源を切って、しばらくしてから電源を入れ直してください。 プリンターの状態を確認してください。
ハードウェアエラー	[中止]を選んで印刷を中止し、プリンターの電源を切って、しばらくしてから電源を入れ直してください。 プリンターの状態を確認してください。
プリンターバッテリー切れです	プリンターの電池がなくなりました。
通信エラー	通信中にエラーが発生しました。「中止」を選んで印刷を中止し、USBケーブルをはずし、プリンターの電源を切ります。しばらくしてから、電源を入れ直して、USBケーブルを接続してください。 ボタンで印刷中は、印刷設定を確認してください。または、大量の画像が記録されたカードを使って印刷しようとしました。画像の枚数を減らしてください。
設定を確認してください	（イージーダイレクト）ボタンで印刷するときに、プリンターで対応していない設定になっている。
サイズを選びなおしてください	ビデオカメラとプリンターで用紙サイズの設定が異なっています。
	使用中です。プリンターの状態を確認してください。
プリンターは使用中です プリンターは準備中です	準備中です。しばらくして表示が消えない場合は、プリンターの状態を確認してください。
	紙間レバー位置を正しい位置に直してください。
紙間レバー位置が不正です	プリンターのカバーを閉じてください。
プリンターカバーが開いています プリンターヘッド未装着	プリントヘッドが取り付けられていないか、プリントヘッドの不良です。プリンターの使用説明書をご覧ください。

キヤノンビデオシステム

バッテリーパック
NB-2L、NB-2LH、
BP-2L12、BP-2L14

バッテリーチャージャー
CB-2LT

バッテリーパック
NB-2L、NB-2LH、
BP-2L12、BP-2L14

カーバッテリーチャージャー
CBC-NB2

コンパクト
パワーアダプター
CA-570

Sビデオケーブル S-150

ステレオビデオケーブルSTV-250N

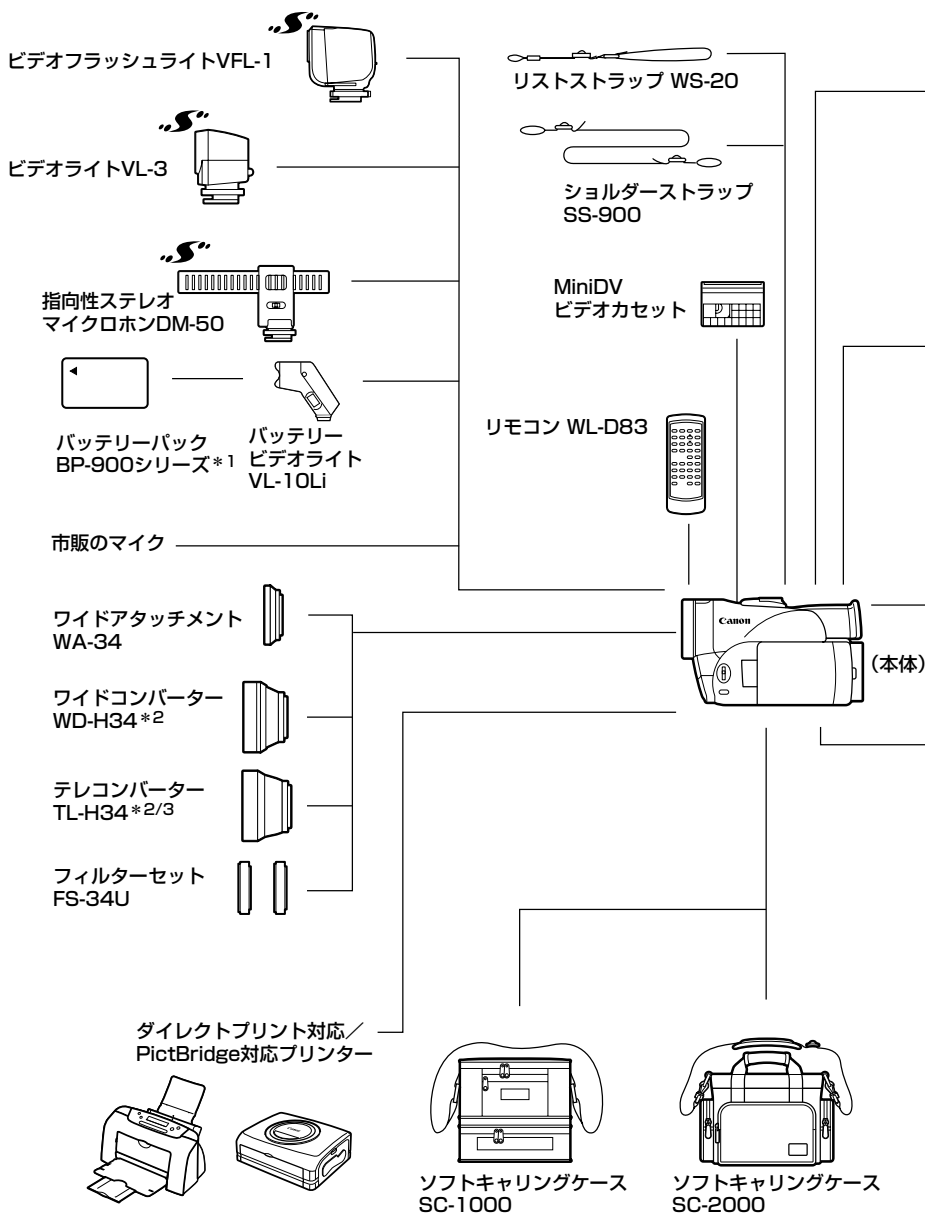
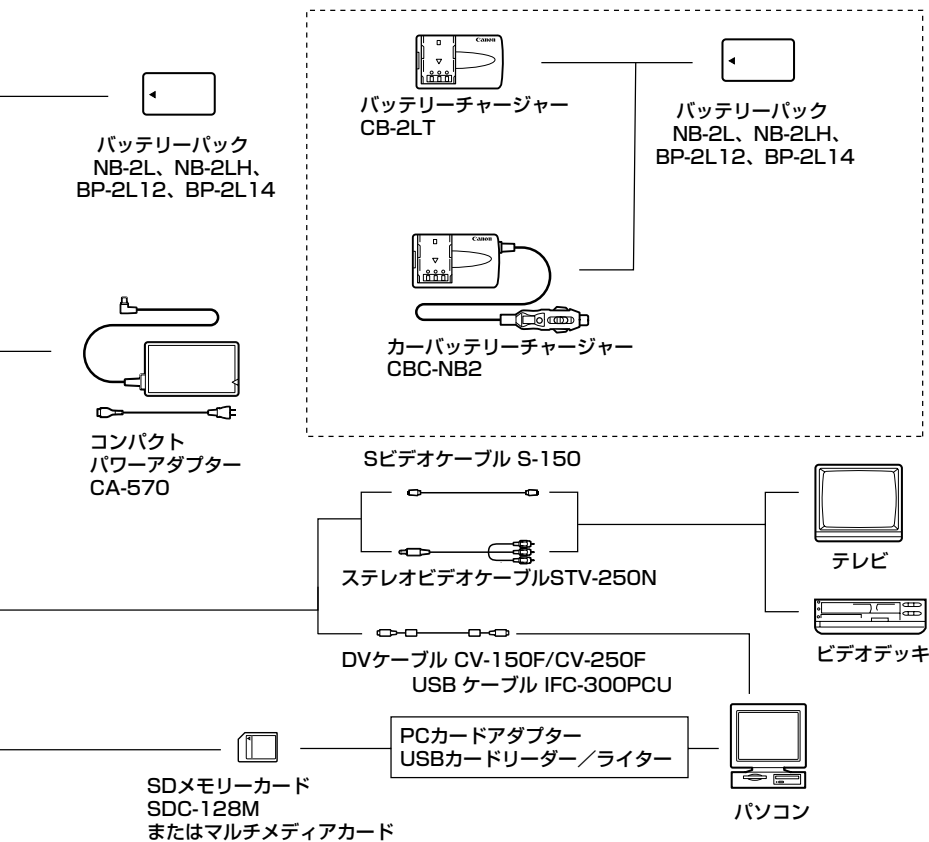
テレビ

ビデオデッキ

DVケーブル CV-150F/CV-250F
USB ケーブル IFC-300PCU

PCカードアダプター
USBカードリーダー／ライター

SDメモリーカード
SDC-128M
またはマルチメディアカード

パソコン

アクセサリーはキヤノン純正品のご使用をおすすめします。

本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリーと組み合わせて使用した場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので､キヤノン純正アクセサリーのご使用をおすすめいたします。なお、純正品以外のアクセサリーの不具合（例えばバッテリーパックの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

*[1] バッテリーパックBP-900シリーズを充電するときは、コンパクトパワーアダプターCA-920（別売）または、デュアルバッテリーチャージャー/ホルダーCH-910（別売）をお使いください。
*[2] 本機にワイドコンバーター、テレコンバーターを取り付けたとき、補助光（白色LED）やビデオフラッシュライトVFL-1のフラッシュやビデオライトを使用時に影が出ることがあります。
*[3] テレコンバーターを装着時は、ビデオカメラが被写体に近づける距離が変わります。
ズームのWの端：約2.5cm、Tの端：約2.5m

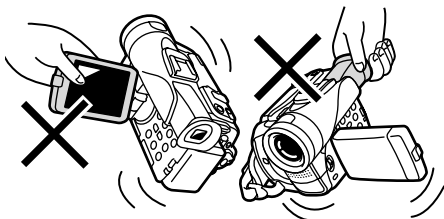
このマークは、キヤノンのビデオ関連商品の純正マークです。キヤノンのビデオ機器をお求めの際は、同じマークもしくはキヤノンビデオ関連商品をおすすめします。

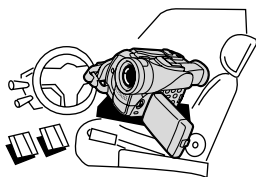
記載内容は、2004年3月現在のものです。

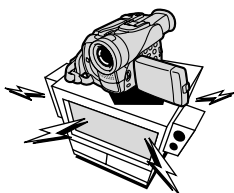
その他

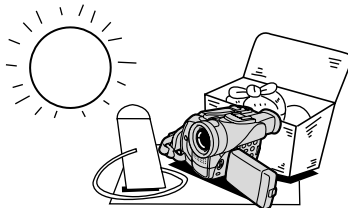
取り扱い上のご注意

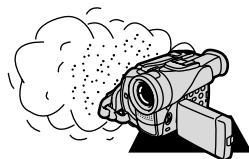
ビデオカメラについて

液晶画面やファインダーをつかんで、本機を持ち上げない

高温、多湿の場所に放置しない

炎天下の密閉された車内など、高温や多湿の場所に製品を放置しないでください。

強い磁気の発生する場所で使わない

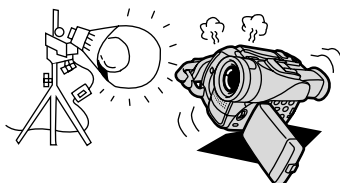
テレビの上、携帯電話の近くやテレビ塔の近くなど、強い電波や磁気を発生する場所での撮影や操作は避けてください。映像や音声が乱れたり、ノイズが入ることがあります。

太陽や強いライトにレンズやファインダーを向けない

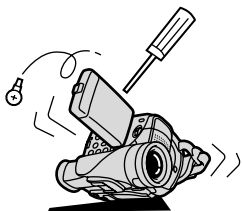
レンズやファインダーの接眼レンズは、絶対に太陽や強いライトに向けないでください。また輝度差の大きな被写体にカメラを向けたまま放置しないでください。

ホコリや砂の多い場所では使わない

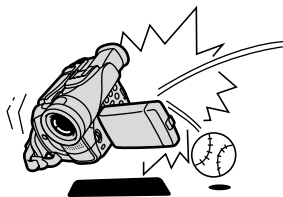
ホコリや砂のつきやすい場所での使用、保存は避けてください。砂が本機やビデオカセット内部に入ると故障の原因となることがあります。また、レンズにホコリや砂がつくのを防止するため、使用後は必ずレンズキャップを付けてください。

水や泥、塩分に注意する

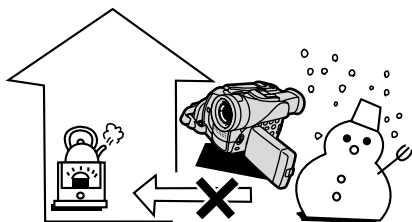
本機は防水構造になっていません。水や泥、塩分などが本機やビデオカセット内部に入ると故障の原因となることがあります。

照明器具に注意する

照明器具を使うときは、器具から発生する熱に十分注意してください。

分解しない

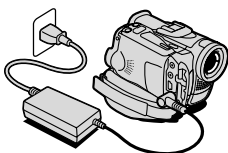
分解して内部に触れないでください。正常に作動しないときは、キヤノンサービスセンターにご相談ください。

振動や衝撃を与えない

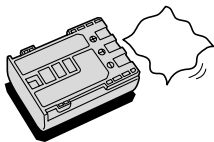
強い振動や衝撃は故障の原因になります。製品はていねいに取り扱ってください。

極端な温度差にさらさない

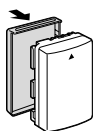
寒い場所で使った製品を急に暖かい室内に持ち込むと、製品内部に水滴（結露）が生じることがあります。温度差のある場所へ移動するときは、事前にカセットを本体から取り出してください。万一、結露が起きたときは、「結露について」（📖 183）の指示に従ってください。

バッテリーパックについて

このバッテリーパックは、リチウムイオン電池を使用しておりますので、充電する前に使い切ったり、放電する必要はありません。いつでも充電できます。

必ず充電してから使う

バッテリーパックは、出荷時に少し充電してありますので、ビデオカメラなどの動作確認ができます。長時間使用する場合や、動作確認ができない場合には、バッテリーを充電してから、お使いください。

端子はいつもきれいにしておく

バッテリーパック、充電器、ビデオカメラの⊕、⊖などの端子は常にきれいにしておいてください。使わないときは、ショート端子用カバーを取り付けてください。また、接触不良、ショート、破損の原因となりますので、端子の間に物が入り込まないようにしてください。

持ち運びや保存の際は、必ず付属のショート防止用端子カバーを取り付ける(図A)

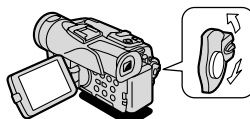
キーホルダーなどの金属で⊕と⊖の端子をショートさせると(図B)、バッテリーパックの破損の原因となることがあります。

(図A)

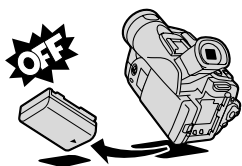
(図B)

充電は使用直前にする

充電しておいたバッテリーパックも内部の化学変化によって、少しずつ自然に放電してしまいます。使用する当日または前日に充電することをおすすめします。
充電完了まで充電した状態で保管するとバッテリーパックの寿命を縮めたり、性能の低下の原因となることがあります。
長い時間ビデオカメラを使用しないときは、画面に「バッテリーパックを取りかえてください」が出るまでバッテリーパックを使ってから、取りはずして保管することをおすすめします。

こまめに電源を切って使う

・ 撮影中はもちろん、撮影一時停止中でもバッテリーパックは消耗します。電源スイッチでこまめに電源を切ることが、使用時間を長くさせるコツです。
・ バッテリーパックは0℃～40℃の範囲で使用できますが、性能を十分に発揮させるためには10℃～30℃で使用することをおすすめします。スキー場などでは、バッテリーパックの性能が一時的に低下し、使用時間が短くなります。ポケットなどに入れて温めてから使用すると効果的です。

使用しないときは、ビデオカメラから取りはずす

ビデオカメラにバッテリーパックを取り付けたままにしておくと、電源が切れていても少しずつバッテリーを消耗します。長い間ビデオカメラを使用しないときは、必ずバッテリーパックを取りはずして、湿度の低い、室温30℃以下の場所で保管してください。

充電したのに、バッテリーパックの使用時間が極端に短いときは

常温で使用している場合は、寿命と考えられます。新しいバッテリーパックをお求めください。

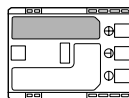
バッテリーパックを長時間使用しない場合でも、機能を維持するために、次のことをおすすめします

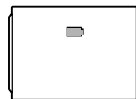
・ 湿度の低い室温で保管する。
・ 1年に1回程度、充電完了まで充電してから、ビデオカメラに取り付け、画面に「バッテリーを取りかえてください」が出るまでバッテリーパックを使う。複数のバッテリーパックをお持ちの場合、同時期に行う。

ショート防止用端子カバーについて

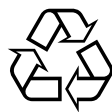
ショート防止用端子カバーには、「 」の穴があります。バッテリーパックに端子カバーを取り付けるときに「 」の位置を変えることで、充電済みのバッテリーパックを見分けるのに便利です。

例：充電したバッテリーパックの場合は、端子カバーをラベルの青が見えるように取り付ける

バッテリーパックの裏面

端子カバーの取り付け後

充電した場合

充電していない場合

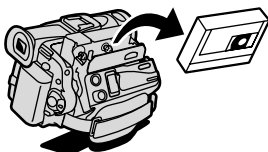
・ この製品には、リチウムイオン電池を使用しています。
・ リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
・ リチウムイオン電池の回収・リサイクルについては、下記のキヤノンホームページで確認できます。
　　キヤノン サポートページ　　http://canon.jp/support
・ 交換後不要になった電池は、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るか、個別にポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収BOXに入れてください。
・ リサイクル協力店のお問い合わせは、以下へお願いします。
　・ビデオカメラ、リチウムイオン電池をご購入いただいた販売店
　・(社)電池工業会　小形二次電池再資源化推進センター及び充電式電池リサイクル協力店くらぶ事務局*

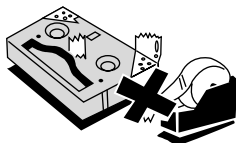
* (社)電池工業会　電話番号 03-3434-0261

ビデオカセットについて

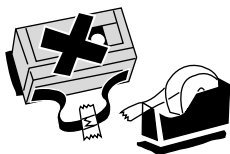
カセットは使用後、必ず巻戻す

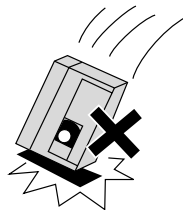
テープがたるんで傷み、テープに記録した映像や音声が劣化する原因となります。

カセットはケースに入れて、立てて保管する

カセットを本体に入れたまま放置しない

セロハンテープなどで、テープの穴をふさがない

カセットの裏面には、テープの種類などを検出する各種の穴があります。

テープをつなぎ合わせたカセットや規格外のカセットは使用しない

故障の原因となります。

カセットを落としたり、ぶつけたりして過度な衝撃を与えない

内部のテープがたるみ故障の原因となります。

カセットを長期間保管するときは、時々巻き直す

傷のついたテープは使用しない

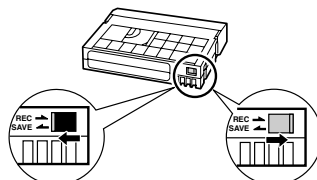
ヘッド汚れの原因となります。

金メッキ端子付きのカセットの場合は、カセットを十数回出し入れしたら、綿棒で金メッキ端子をきれいにする

本機は、カセットメモリー付きカセットのカセットメモリー機能には対応していません。

間違って消さないために

大切な映像を録画したカセットを誤って消去しないようにするには、カセットの背にある誤消去防止つまみを左に切り換え、SAVEにしてください。誤消去防止つまみを右に戻せば、再び録画できます。

・ カメラモードのときに、録画できない状態のカセットを本体に入れると、画面に「カセットの誤消去防止ツマミを確認してください」が4秒間点灯し、その後「⊘」が赤く点滅します。

SAVE (録画できない)　REC (録画できる)

コイン型リチウム電池について

プラス（＋）とマイナス（－）を確認して、正しく入れる

接触不良を防ぐため、電池を乾いた布で拭いてから入れる

金属のピンセットなどでつかまない

ショートします。

分解や加熱をしたり、水の中に入れたりしない

破裂する恐れがあります。また、捨てるときは、燃えないゴミとして、適宜処理してください（地域によって異なります）。

カードについて

新規にカードを購入した際には、本機でフォーマットを行う

パソコンなど本機以外でフォーマットしたカードは、正常に使えないことがあります。

カードに記録した画像などのデータは、パソコンでMOなどの外部記憶機器やハードディスクを使ってバックアップを取っておく

カードの故障、静電気などにより記録したデータが破損したり、消えることがあります。その場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。

カード動作ランプが点滅中は絶対にカードを出したり、ビデオカメラなどの電源を切ったり、ビデオカメラの電源を取りはずしたりしない

強い磁気の発生する場所で使わない

高温、多湿の場所に放置しない

分解しない

ぬらしたり、曲げたり、落としたり、強い衝撃を与えない

極端な温度差にさらさない

温度差のある場所へ急に移動するとカードの内部、表面に結露することがあります。結露したときは、そのまま使用せず、水滴が自然に消えるまで、常温で放置してください。

カードの裏にある端子部分にごみや水などの異物を付着させたり、手で触れたりしない

正しくない方向に無理に入れない

カードには表裏、前後の区別があり、破損の恐れがあります。

ラベルをはがしたり、他のシールなどを貼ったりしない

ビデオヘッドをクリーニングする

画面に「クリーニングカセットを使ってください［ヘッドよごれ］」と出ることがあります。また、テレビ番組はきれいに写るのに、ビデオでテープを再生すると画面がおかしくなったり、画像全体が青くなったりすることがあります。これは、ビデオヘッドの汚れが原因です。きれいな画像を撮影したり見たりするために、市販の乾式のヘッドクリーニングカセットを使って、こまめにビデオヘッドをきれいにしてください。

正常な画像

ビデオヘッドが汚れているときの画像

ヘッドクリーニングするときは

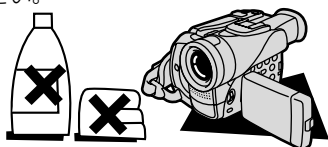
❍ 湿式のクリーニングカセットは使用しないでください。故障の原因となることがあります。

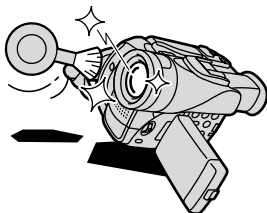
❍ ヘッドが汚れた状態で録画したテープは、ヘッドクリーニング後にも正常に再生できない場合があります。

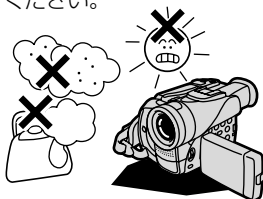
日常のお手入れ／保管上のご注意

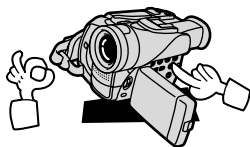
大切なビデオカメラやビデオカセット、カードをより長くお使いいただくために、日常のお手入れや保管方法には十分注意してください。

お手入れ

製品の汚れは乾いたやわらかい布で軽くふいてください。化学ぞうきんやシンナーなどの使用は、製品を傷めることがあるのでおやめください。

レンズはいつもきれいに

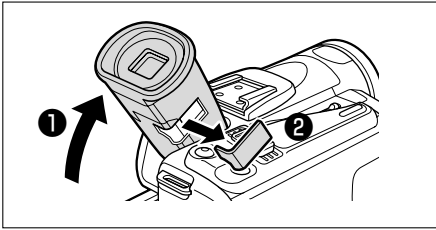
レンズの表面にホコリや汚れが付いていると、自動ピント合わせがうまく動作しないことがあります。レンズを常にきれいに保つようにしてください。最初にブロアーでレンズ表面のゴミ、ホコリを取り除き、それから汚れをふき取るようにしてください。

長期間使わないときは

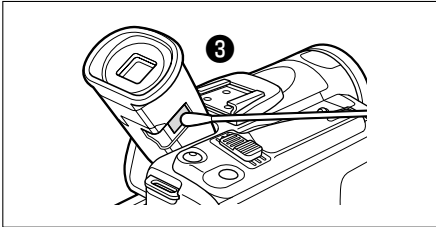
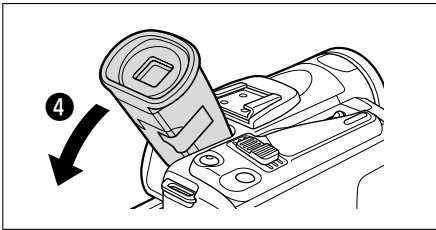
製品を長期間ご使用にならない場合は、ホコリが少なく、湿度の低い、30℃以下の場所に保管してください。

各部のチェック

長期間使わなかった後のご使用や、重要な撮影の前には、各部の動作をチェックしてください。

液晶画面について

- 汚れたときは市販の眼鏡クリーナー（布製）などで拭いてください。
- 温度差の激しいところでは、液晶画面に水滴がつくことがあります。柔らかい乾いた布で拭いてください。
- 寒冷地などで本機が冷え切っている場合は、電源を入れた直後は液晶画面が通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると、通常の明るさになります。

ファインダーのお手入れ

ファインダー内部のゴミを取り除く

❶ ファインダーを上げる

❷ ファインダーの側面にある保護カバーを取りはずす

❸ 綿棒を差し込み、ガラス部のゴミを取り除く

❹ 保護カバーを取り付けて、ファインダーを元の位置に戻す

ガラス部の表面は傷つきやすいので、ご注意ください。

こんなときは

故障かな？と思っても、修理に出す前にもう一度確認してください。
特にほかの機器と接続しているときは、ケーブルの接続も確認してください。点検しても直らないときは、ご購入の店、またはキヤノンサービスセンターにご相談ください。

	こんなときには	考えられる原因	どうするの？	参照ページ
電源	電源が入らない。	バッテリーパックが消耗している。	十分に充電したバッテリーパックと交換する。	17
		バッテリーパックが正しく装着されていない。	バッテリーパックを正しく装着し直す。	17
	途中で電源が切れる。	バッテリーパックが消耗している。	十分に充電したバッテリーパックと交換する。	17
		撮影一時停止状態が5分以上続いた。	もう一度電源を入れる。	30
	グリップカバーを開いてもカセット入れが動かない。	バッテリーパックが消耗している。	十分に充電したバッテリーパックと交換する。	17
		グリップカバーが完全に開いていない。	止まるまで開く。	20
	カセット入れが動作中に止まって動かない。	バッテリーパックが消耗している。	十分に充電したバッテリーパックと交換する。	17
		本機が故障している。	サービスセンターにご相談ください。	巻末
	画面がついたり消えたりをくり返す。	バッテリーパックが消耗している。	十分に充電したバッテリーパックと交換する。	17
	バッテリーパックが充電できない。	温度が0℃〜40℃以外では充電できません。	0℃〜40℃の温度で充電する。	19
		バッテリーパック使用直後はバッテリーの温度が高く、充電温度範囲外の場合があります。	バッテリーパックをしばらく放置して、温度が40℃以下になってから、充電を開始してください。	19
		バッテリーパックが故障している。	別のバッテリーパックを使う。	19
撮影時・再生時	操作ボタンを押しても動かない。	電源が入っていない。	電源を入れる。	29 36
		カセットが入っていない。	カセットを入れる。	20
	画面で「 」が点滅する。	カセットが入っていない。	カセットを入れる。	20
	画面で「 」が点滅する。	バッテリーパックが消耗している。	十分に充電したバッテリーパックと交換する。	17
	画面で「 」が点滅する。	ビデオカメラの内部に水滴が付いた。	結露の項目をご覧ください。	183
	画面で「カセットを取り出してください」が点滅する。	保護機能が働いている。	カセットを一度取り出して、入れ直す。	20

	こんなときには	考えられる原因	どうするの？	参照ページ
撮影時・再生時	リモコンが動作しない。	本機とリモコンのリモコンコードが異なるかメニューでリモコンセンサーを止めている（画面に「」が出ている）。	メニューでリモコンコードを「1」または「2」にする。	77
		リモコンの電池が消耗した。	新しい電池と交換する。	24
撮影時	画面に映像が映らない。	カメラモードになっていない。	カメラモードにする。	29
	「エリア／日時を設定してください」が表示される。	世界時計のエリアまたは日時が設定されていないか、コイン型リチウム電池が消耗している。	世界時計のエリアと日時を設定するか、新しいコイン型リチウム電池CR1616と交換し、日付／時刻を設定し直す。	21 25
	スタート／ストップボタンを押しても、録画しない。	電源が入っていない。	カメラモードにする。	29
		カセットが入っていない。	カセットを入れる。	20
		テープが終わっている（画面で「 END」が点灯している）。	テープを巻き戻すか、新しいカセットを入れる。	20 36
		カセットが録画できない状態になっている（画面で「」が点滅する）。	別のカセットと入れ換えるか、カセットを録画できる状態に切り換える。	20 174
		カメラモード以外になっている。	カメラモードにする。	29
	ピントが合わない。	ピントの自動調整が苦手な被写体である。	手動でピントを合わせる。	52
		ファインダーの視度が合っていない。	視度調整レバーで画像がはっきり見えるように調整する。	22
		レンズが汚れている。	最初にブロアーでレンズ表面のゴミ、ホコリを吹き除いた後で、レンズを傷付けないように、乾いた柔らかい布で軽く拭いて、汚れを取り除く（ティッシュペーパーは使わないでください）。	177
	音が歪んだり、実際より小さく記録される。	大きな音の近く（打ち上げ花火や太鼓、コンサートなど）で撮影すると、音が歪んだり、実際より小さく記録されることがあります。故障ではありません。	－	
	キラキラ光っていたり、極端に明るい被写体(一部に高輝度な部分がある被写体)を撮影すると、縦に帯が出る。	CCDのスミア現象で故障ではありません。	－	
	ファインダーの画像がはっきりしない。	視度調整レバーで調整していない。	視度調整レバーで調整する。	22

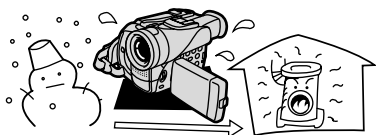
	こんなときには	考えられる原因	どうするの？	参照ページ
再生時	再生ボタンを押しても再生しない。	電源が入っていない、または再生（VTR）モード以外になっている。	再生（VTR）モードにする。	36
		カセットが入っていない。	カセットを入れる。	20
		テープが終わっている（画面で「📼 END」が点灯している）。	テープを巻き戻す。	36
	テレビに画像が出ない。	メニューで「AV/ヘッドホン」が「ヘッドホン🎧」になっている。	メニューで「AV/ヘッドホン」を「AV」にする。	40
		「AV入力→DV出力」が「入」になっている。	「AV入力→DV出力」を「切」にする。	87
	テープは回っているが、テレビに再生画像が出ない。	テレビのテレビ/ビデオ切換スイッチがビデオになっていない。	テレビ/ビデオ切換スイッチをビデオにする。	40
		ビデオヘッドが汚れている。	市販の乾式のヘッドクリーニングカセットでビデオヘッドをクリーニングする。	176
		コピー禁止テープを再生またはダビング録画しようとしている。	再生またはダビング録画を中止してください。	83 166
	再生画像は出るが、内蔵スピーカーから音が出ない。	スピーカーの音量調整が「切」になっている。	設定ボタンで調整する。	38
カード使用時	カードが入らない	カードの向きが正しくない。	正しい向きでカードを入れる。	94
	カードに記録できない。	すでにカードの容量いっぱいに記録してる。	不要な画像を消去してから撮影する。	118
		フォーマットされていないメモリーカードを使っている。	フォーマットしてからカードを使う。	124
		カードが入っていない。	カードを入れる。	94
		番号が最大になっている（ファイル名が作成できない）。	メニューで番号リセットを「する」に設定して、新しいカードを入れる。	97
		SDメモリーカードの場合、カードが記録できない状態になっている。	SDメモリーカードを記録できる状態に切り換える。	94
	カードの再生ができない。	カード再生モード以外になっている。	電源スイッチを「再生（VTR)」、テープ/カード切換スイッチを「🃏」にする。	113
		カードが入っていない。	カードを入れる。	94

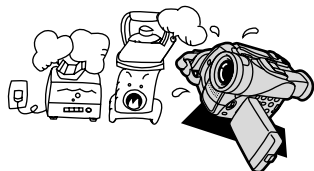
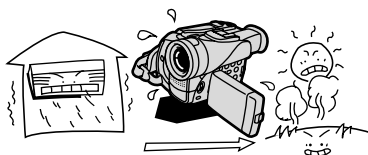
	こんなときには	考えられる原因	どうするの？	参照ページ
カード使用時	**画像を消去できない。**	画像がプロテクト設定されている。	プロテクト設定を解除する。	116
		SDメモリーカードの場合、カードが記録できない状態になっている。	SDメモリーカードを記録できる状態に切り換える。	94
	□が赤色で点滅する。	カードエラーになっている。	電源を切る。 カードを出し入れする。 それでも点滅が続く場合は、フォーマットする。	94 124
印刷時	**本機とプリンターが正しく接続されているのに、プリンターが動作しない。**	電源スイッチが「ネットワーク」になっている。	本機をカード再生モードにして、USBケーブルを抜き差しし、プリンターの電源を入れ直してください。	126

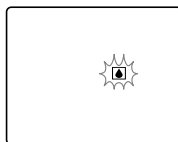
本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音やノイズ、静電気などにより液晶画面／ファインダーに通常でない文字が出たり、正常に動作しないことがあります。このような場合は、電源およびコイン型リチウム電池をいったん取りはずし、しばらくしてから取り付け直して、操作してください。

結露について

夏季、よく冷えたビールをコップに注ぐと、コップの表面に水滴がつくことがあります。この現象を結露といいます。ビデオカメラを結露した状態で使用すると故障の原因になりますので注意してください。

・ 寒い所から急に暖かい所に移動したとき

・ 寒い部屋を急に暖房したとき

・ 湿度の高い部屋の中

・ 夏季、冷房のきいた部屋から急に温度や湿度の高い所に移動したとき

結露したときは？

電源ランプが点滅して、本機は自動的に停止します。画面に「結露しています」が約4秒間表示され、が点滅します。カセットが入っている場合は、「結露しています」のあとで、「カセットを取り出してください」が表示され、が点滅します。

カセットが入っている場合は、すぐに取り出して、カセット入れを開いたまま乾燥した所に置いてください（結露したときは、電源スイッチとカセット取り出しスイッチのみ働きます）。カセットを中に入れたまま放置すると、テープを傷める可能性があります。また、結露したときは、カセットを本体に入れようとしても入りません。

結露を防ぐためには

温度差のある場所へ急に移動するときは、事前にカセットを取り出し、ビデオカメラをビニール袋に入れて密閉してから移動します。ビデオカメラが移動先の温度と同じになってから袋から取り出すと、結露を防ぐことができます。

使い始めるには

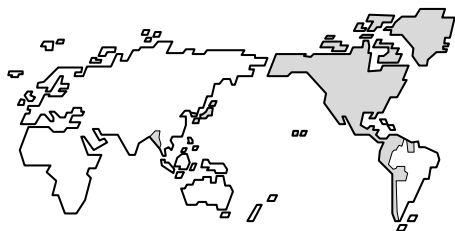
水滴が消えるまでの時間は、周囲の環境によって多少異なりますが、約1時間程度です。電源を入れて、画面のや電源ランプが点滅しなくなっても、念のためさらに1時間くらい放置してください。

海外で使うとき

本製品は、海外でもお使いになれますが、次のことにご注意ください。

テレビでの再生

録画したビデオカセットを現地のテレビでご覧になる場合、日本国内で採用しているNTSC方式（カラー受信方式の1つ）で、映像/音声入力端子のついたテレビが必要になります。

NTSC方式は以下の国／地域で採用されています。
日本放送出版協会発行「世界のラジオとテレビジョン1988」による

- ●アメリカ合衆国
- ●エクアドル
- ●カナダ
- ●キューバ
- ●グアム
- ●大韓民国
- ●チリ
- ●ドミニカ
- ●トリニダード・トバゴ
- ●ニカラグア
- ●バミューダ
- ●プエルトルコ
- ●ベネズエラ
- ●ペルー
- ●米領サモア
- ●ボリビア
- ●グァテマラ
- ●グリーンランド
- ●コスタリカ
- ●コロンビア
- ●スリナム
- ●セントルシア
- ●ハイチ
- ●パナマ
- ●バハマ
- ●バラバドス
- ●ミャンマー
- ●フィリピン
- ●ホンジュラス
- ●ミクロネシア
- ●メキシコ
- ●台湾

電源について

コンパクトパワーアダプターCA-570は、AC100～240V 50/60Hzまでの電源に接続できます。ただし、電源コンセントの形状が異なる国では、変換プラグアダプターが必要になります（1つの国／地域の中でも地域によってコンセントの形状が異なる場合があります）。
コンパクトパワーアダプターCA-570を海外旅行者用の電子式変圧器などに接続すると、故障のおそれがありますので、使用しないでください。

変換アダプターについては、旅行代理店などで確認の上、あらかじめご用意ください。

海外の電源コンセントの種類

タイプ	A	B	BF	C	S
コンセントの形状					
変換プラグ	不要です				

主な国名と使用するプラグの種類（参考資料）

●北米	
アメリカ合衆国	A
カナダ	A

●ヨーロッパ	
アイスランド	C
アイルランド	C
イギリス	B. BF
イタリア	C
オーストリア	C
オランダ	C
ギリシャ	C
スイス	C
スウェーデン	C
スペイン	A. C
デンマーク	C
ドイツ	C
ノルウェー	C
ハンガリー	C
フィンランド	C
フランス	C
ベルギー	C
ポーランド	B. C
ポルトガル	B. C
ルーマニア	C

●アジア	
インド	B. C. BF
インドネシア	C
シンガポール	B. BF
スリランカ	B. C. BF
タイ	A. BF. C
大韓民国	A. C
中華人民共和国	A. B. BF. C. S
ネパール	C
パキスタン	B. C
バングラデシュ	C
フィリピン	A. BF. S
ベトナム	A. C
香港特別行政区	B. BF
マカオ特別行政区	B. C
マレーシア	B. BF. C

●オセアニア	
オーストラリア	S
グアム	A
タヒチ	C
トンガ	S
ニュージーランド	S
フィジー	S

●中南米	
アルゼンチン	BF. C. S
コロンビア	A
ジャマイカ	A
チリ	B. C
ハイチ	A
パナマ	A
バハマ	A
プエルトリコ	A
ブラジル	A. C
ベネズエラ	A
ペルー	A. C
メキシコ	A

●中近東	
イスラエル	C
イラン	C
クウェート	B. C
ヨルダン	B. BF

●アフリカ	
アルジェリア	A. B.BF. C
エジプト	B. BF. C
カナリア諸島	C
ギニア	C
ケニア	B. C
ザンビア	B. BF
タンザニア	B. BF
南アフリカ共和国	B. C. BF
モザンビーク	C
モロッコ	C

保証書とアフターサービス

本機の保証は日本国内を対象としています。万一海外で故障した場合の現地でのアフターサービスはご容赦ください。

保証書

本体には保証書が添付されています。必要事項が記入されていることをお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

製品の保証について

1 本製品が万一故障したときは、本製品と保証書をご持参のうえ、ご購入いただいた販売店またはキヤノンサービスセンターにご相談ください。

2 保証期間内でも保証の対象にならない場合もあります。詳しくは保証書に記載されている保証内容のご案内をご覧ください。
保証期間はご購入日より1年間です。

3 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。なお、運賃等の諸経費は保証期間内でもお客様にご負担いただくことがあります。

4 本製品などの不具合により録画されなかった場合の付随的損害（録画、録音に要した諸費用および得べき利益の損失など）については、保証致しかねます。

修理を依頼されるときは

5 修理品をご持参いただくときは、不具合の見本となるビデオカセットを添付するなどしたうえ、不具合の内容／修理箇所を明確にご指示ください。

補修用性能部品について

6 ビデオカメラ補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造の打ち切り後8年です。従って期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、故障の原因や内容によっては、期間中でも修理が困難な場合と、期間後でも修理が可能な場合がありますので、その判断につきましてはご購入店、またはキヤノンサービスセンターにお問い合わせください。

修理料金について

7 修理料金は故障した製品を正常に修復するための技術料と修理に使用する部品代との合計金額からなります。

修理見積につきましては、窓口で現品を拝見させていただいてから概算をお知らせいたします。なお、お電話での修理見積依頼につきましては、おおよその仮見積になりますので、その旨ご承知おきください。

主な仕様

FV M100
システム

録画方式	回転2ヘッドヘリカルスキャン DV方式（民生用デジタルVCR SD方式）
映像記録方式：	デジタルコンポーネント記録
音声記録方式：	PCMデジタル記録　16bit (48kHz/2ch) 12bit (32kHz/4ch)
信号方式：	NTSC方式準拠
使用可能ビデオカセット：	Mini DVのついたミニDVカセット
テープ速度：	約18.81mm/秒（SPモード時） 約12.56mm/秒（LPモード時）
録画/再生時間：	80分（80分テープ使用時/SPモード時） 120分（80分テープ使用時/LPモード時）
早送り/巻き戻し時間：	約2分20秒（60分テープ使用時）
撮像素子：	1/4.5型CCD、総画素数133万画素 有効画素　カード*：123万画素　テープ：69万画素
液晶画面：	2.5型TFTカラー液晶（約12.3万画素）
ファインダー：	0.33型　TFTカラー液晶（約11.3万画素）
マイク：	ステレオエレクトレットコンデンサーマイク
レンズ：	f=3.5～63mm　F=1.8～3.4　電動18倍ズーム
レンズ構成：	8群10枚
フィルター径：	34mm
焦点調整：	TTL自動焦点、マニュアル調整可
最短撮影距離：	ワイド端1cm、ズーム全域1m
色温度切り換え：	フルオート（セット、屋内、屋外付）
最低被写体照度：	1.8ルクス（ナイトモード時）
推奨被写体照度：	100ルクス以上
手ぶれ補正機能：	電子式
記録カード：	SDメモリーカード、マルチメディアカード
カード記録画素数：	静止画：1280×960、640×480画素（ピクセル） 動画：320×240、160×120画素（ピクセル）（15フレーム/秒）
カード記録フォーマット：	DCF準拠、Exif 2.2準拠、DPOF対応
画像圧縮方法：	静止画：JPEG（スーパーファイン、ファイン、ノーマル） 動画：AVI（画像データ：Motion JPEG／音声データ：WAVE （モノラル））

FV M100は、DCFに準拠しています。DCFは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で主として、デジタルカメラ等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。
FV M100は、Exif 2.2（愛称「Exif Print」）に対応しています。Exif Printは、ビデオカメラとプリンターの連携を強化した規格です。Exif Print対応のプリンターと連携することで、撮影時のカメラ情報を活かし、それを最適化して、よりきれいなプリント出力が得られます。

入・出力端子（レベル／インピーダンス）

映像/音声端子*：	φ3.5mm　4極ミニジャック、1Vp-p/75Ω 出力時：-10dBV (47kΩ負荷時)/3ｋΩ以下 入力時：-10dBV /40kΩ以上
S-映像端子：	4ピン　DIN 輝度信号：1Vp-p/75Ω　色信号：0.286Vp-p/75Ω
USB端子：	mini-B
DV端子：	マルチコネクター、IEEE1394準拠
外部マイク端子：	φ3.5mm ステレオミニジャック、-57dBV（600Ωマイク使用時）/5kΩ以上
ヘッドホン端子*：	φ3.5mm ステレオミニジャック

* 映像/音声端子は、ヘッドホン端子と兼用です。

電源その他

電源電圧：	DC7.4V
消費電力：	ファインダー使用時：約2.6W（録画中、AF合焦時） 液晶画面使用時：約3.3W（録画中、AF合焦時）
動作温度：	0℃～+40℃
外形寸法：	74×78×130mm （幅×高さ×奥行き）（最大突起部を含まず）
撮影時総質量：	約560g （バッテリーパックNB-2LH、レンズキャップ、コイン型リチウム電池、ビデオカセット30分用、SDメモリーカードSDC-8M含む）
本体質量：	約500g

コンパクトパワーアダプター　CA-570

電源：	AC 100V-240V、50/60Hz
出力／消費電力：	公称DC8.4V、1.5A/29VA（100V)～39VA（240V）
使用温度：	0℃～+40℃
外形寸法（幅×高さ×奥行き）：	約52×29×90mm
本体質量：	約135g

バッテリーパック　NB-2LH

使用電池：	リチウムイオン
使用温度：	0℃～+40℃
公称電圧：	DC7.4V
容量：	720mAh
外形寸法（幅×高さ×奥行き）：	約33.3×16.2×45.2mm
質量：	約43g

SDメモリーカード　SDC-8M

記憶容量：	8MB
使用温度：	0℃～+40℃
外形寸法：	約32×24×2.1mm
質量：	約2g

※仕様および外観は予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

索引

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

その他

Canon

キヤノン株式会社
キヤノン販売株式会社

〒108-8011　東京都港区港南2-16-6

（2004年3月1日現在）

製品の取り扱い方法に関する相談窓口

製品名	お問い合わせ
FV M100	キヤノン販売　お客様相談センター

（全国共通番号）　ナビダイヤル 0570-01-9000　該当番号 66

受付時間：平日 9:00～20:00　土・日・祝日 10:00～17:00
（1月1日～1月3日を除く）
お電話がつながりましたら音声ガイダンスに従ってデジタルビデオカメラの
該当番号<66>をお話しください。音声認識後、商品担当者におつなぎします。

全国64ヶ所にある最寄りのアクセスポイントまでの通話料金でご利用になれます。
なお、PHS・海外からの電話をご使用の方は、03-3455-9353をご利用ください。

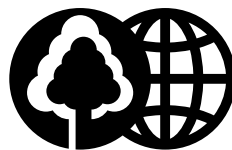
※ 音声応答システム・受付時間・該当番号は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。
※ 電話回線の状態等によっては、正しく音声認識できない場合があります。
その場合でもオペレーターにおつなぎいたしますので、そのまま電話を切らずにお待ちください。

キヤノンデジタルビデオカメラホームページのご案内

キヤノンデジタルビデオカメラのホームページを開設しています。最新の情報が掲載されておりますので、インターネットをご利用の方は、ぜひお立ち寄りください。

デジタルビデオカメラ製品情報	http://canon.jp/dv
キヤノン サポートページ	http://canon.jp/support
CANON iMAGE GATEWAY	http://www.imagegateway.net/

保証書別添付　保証書は必ず「購入店・購入日」等の記入を確かめて、購入店よりお受け取りください。

Li-ion
リチウムイオン電池のリサイクル
にご協力ください。

この使用説明書は100%再生紙
を使用しています。

PUB. DIJ-166
0000A/Ni0.0

DY8-9010-120-000
PRINTED IN JAPAN